

令和4年度

上田市社会福祉協議会事業報告

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

社会福祉法人 上田市社会福祉協議会



- 目次 -

令和4年度 総括 . . . . . 1～2

No.	事業名	ページ
1	組織図	3
2	職員構成	4
3	法人運営	5～14
4	善意銀行	15～27
5	企画・広報	27～28
6	希望の旅事業	28～29
7	上田市ファミリー・サポート・センター事業	29～30
8	福祉推進事業	30～34
9	点字・声の広報発行事業	34～35
10	日常生活自立支援事業	35～36
11	地域ふれあい事業	36～38
12	上小圏域成年後見支援センター事業	38～43
13	“まいさぼ上田”上田市生活就労支援センター事業	43～45
14	有償在宅福祉サービス事業	45～48
15	心配ごと相談事業	49
16	結婚相談事業	50～51
17	たすけあい資金貸付事業	51～53
18	ボランティア地域活動センター事業	53～61
19	地域子育て支援拠点事業	61～62
20	上田市高齢者福祉センター管理事業	63～64
21	上田市丸子老人福祉センター設置管理事業	65
22	上田市真田老人福祉センター管理事業	65～66
23	真田ふれあいバス運行事業	66～67
24	上田市ふれあい福祉センター管理事業	67～68
25	上田市真田総合福祉センター管理事業	68～69
26	上市長瀬市民センター管理事業	69～70
27	共同募金配分金事業	70～78
28	地域包括支援センター事業	78～86
29	通所介護事業	86～89
30	居宅介護支援事業	89～93
31	児童館・児童センター事業	93～97
32	その他の事業	98～102

## 令和4年度 総括

長引く新型コロナウイルス感染症は、日常生活、社会経済活動のあらゆる場面に影響を及ぼし続けてきました。少しずつ地域福祉活動が再開され、地域のつながりへの支援活動も組み込まれてきました。

上田市社会福祉協議会では、多様な関係機関、団体等との連携・協働のもと事業計画に掲げた事項を中心に、新型コロナウイルス感染予防対策に取り組みつつ、さまざまな事業活動を展開しました。令和4年度は、フードドライブ事業として、地域へ出向いての食糧配布会や企業との連携による食品ロス削減など新たな取組を始めました。

令和3年度に引き続き、大変厳しい社会情勢ではありましたが、「あったかい 心あふれる 協働のまち」を行動指針に「笑顔 花咲く 上田市社協」を目指し、住民の皆様が誰もが安心して暮らせる社会に向け、事業を実施してまいりました。

### ○ 令和4年度重点施策の実施状況

#### 1 住民参加と協働による地域福祉活動

地区社協住民会議では、高齢者が抱える身近な問題や防災に関する内容など、さまざまなテーマのもと、地区ごと工夫を凝らした取組が行われました。

令和3年度に比べ、住民支え合いマップの更新作業を行う自治会は減少しましたが、近年の災害増加に伴い、要援護者に対する避難誘導の意識が高まり、災害時だけでなく、日常の見守りや声かけなど、支援活動の一環として、新たに取組まれた自治会が増えました。

#### 2 生活困窮者への重層的な支援

新型コロナウイルス感染症の影響から、失業や休業等による生活困窮者への経済的支援として実施されている「緊急小口資金」、「総合支援資金」の特例貸付期間が延長され、令和3年度に引き続き、貸付相談を行いました。

また、フードドライブ事業の実施により、ご家庭で使いきれない多くの食品を、市民の皆さんに持ち寄っていただき、コロナ禍でアルバイト収入が減少した学生や、生活に困っている世帯へ配布をしました。

新規事業では、会場まで来られない高齢者や学生への取組として、自治会の集会所や大学へ出向き食糧配布支援を行いました。

#### 3 資源循環型サービスによる持続可能な地域づくりの推進

団体や学校、自治会などでもフードドライブを実施するなど食品ロス削減の取組が広がっています。

令和4年度もひとり親世帯への支援として、企業から寄附していただいた消費期限前のパンをお渡しする事業「パンたべよ」に取り組みました。

子ども服のリユース事業「ふくふくひろば」については、他団体が行うリユース事業への参加や、児童館・児童センターにちらしや子ども服の受付箱を設置することで、事業周知につなげ、市報や県社協報などでも取り上げていただきました。

#### 4 ボランティア地域活動センターの充実とボランティア育成の推進

令和4年度は、ボランティアグループの活動再開に向けて、各種ボランティア講座を開催し、既存グループのスキルアップと新たなボランティアの育成に取り組みました。

福祉教育の推進としては、障がい者への理解を深めることを目的に、ユニバーサルスポーツ体験（ポッチャ、モルック）を取り入れ、一般向けの講習会の他、小・中学校や高等学校に出向き実施しました。

## 5 介護保険事業の経営改善と包括的な支援

居宅支援事業では、利用者の個別ニーズに対し、包括支援センターなど社協内の各課との連携を図り、介護保険サービスの提供にとどまらない包括的な支援が行えるよう努めました。

デイサービスセンター事業では、引き続き新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、利用者が安心して楽しい雰囲気でも過ごせるよう取り組むとともに、経営安定に向けた各種の加算取得を目指した体制整備を図りました。

また、両事業に共通して、必要な研修を受講し、自己研鑽に努めました。毎年継続して実施している利用者及び家族へのアンケート結果を踏まえ、サービスの向上・改善を図りました。

## 6 地域で安心して生活できる子育て支援事業の推進

児童館・児童センターは、児童の放課後等の居場所としての必要性が高まり、児童の登録者数も増加傾向にありました。引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、保護者の理解と協力を得ながら、安全を確保し開館をしました。

子育てひろばでは、状況に応じて電話での相談や人数等を調整し利用につなげ、親子の居場所のとして子育ての不安を和らげました。

また、上田市ファミリー・サポート・センターでは、日常的な子育ての支援を行うだけでなく、出張登録や交流会を開催し、地域や家庭で安心して子育てができるよう支援を行いました。

## 7 社協運営の基盤強化

職員研修計画に基づき各種研修会を実施し、メンタルヘルス・ハラスメント等について学びました。実施に際してはオンラインを併用して行い職場間の移動効率化が図られ、多くの職員が参加することができました。

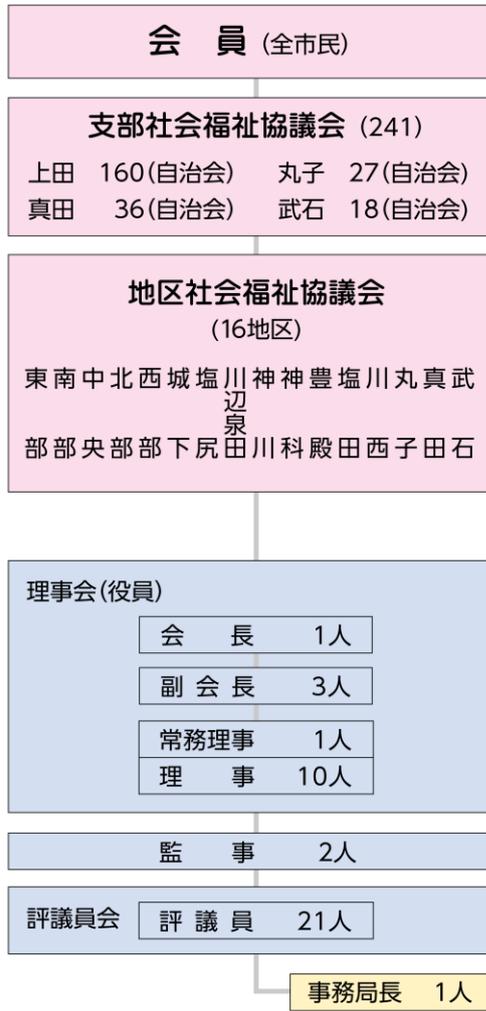
定期的に行っている会議についてもオンラインを活用し実施しました。

個人情報保護に関する法律の改正に対応するため、職員研修の実施の他、各種書類の見直しを行いました。

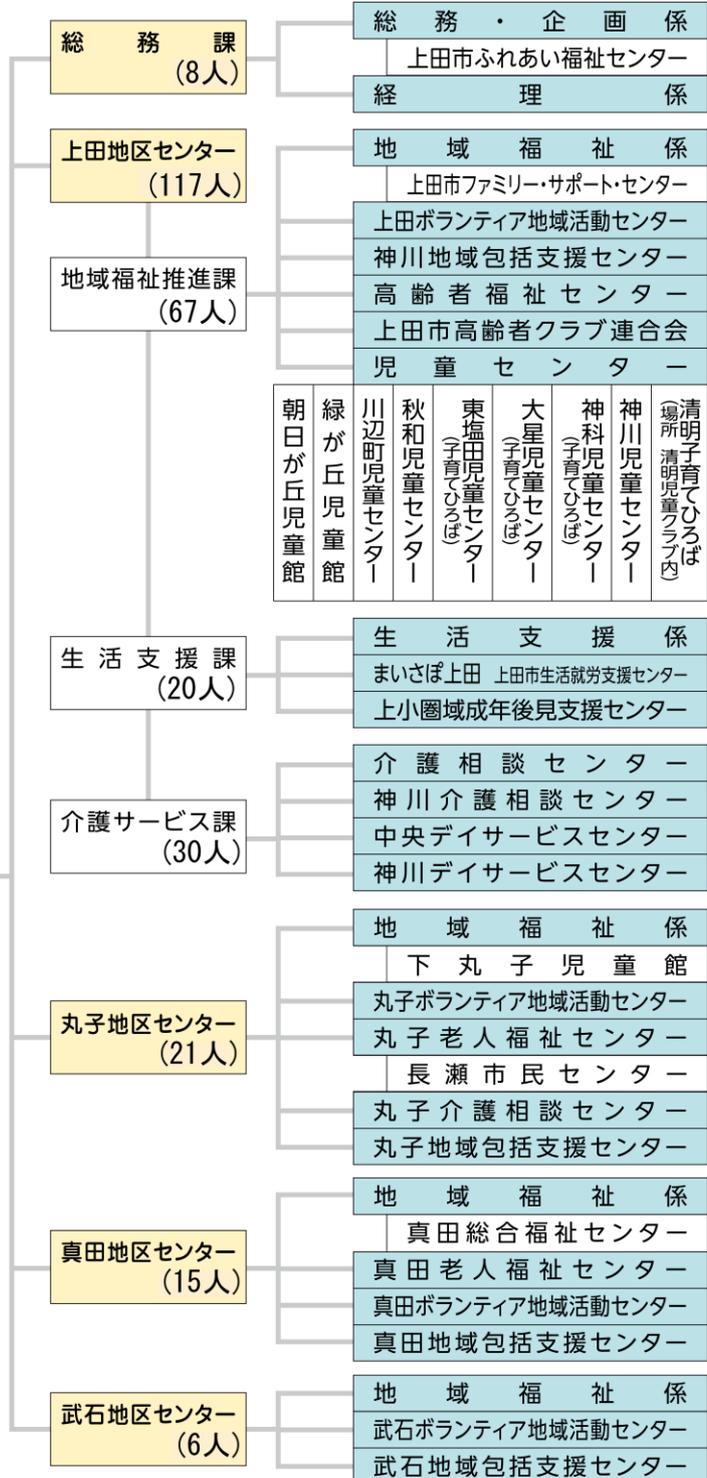
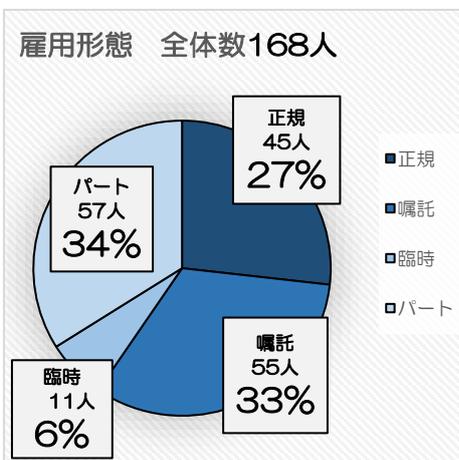
# 1 組織図

## 上田市社会福祉協議会組織図

令和5年3月31日現在



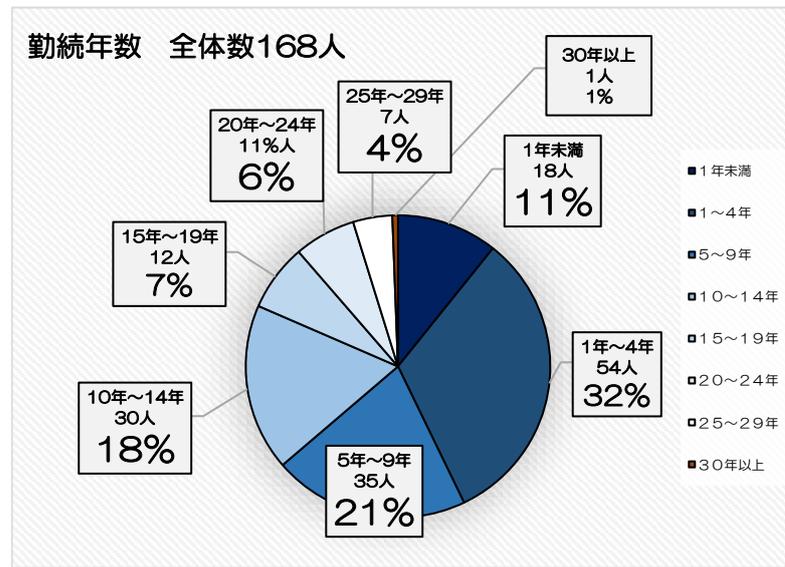
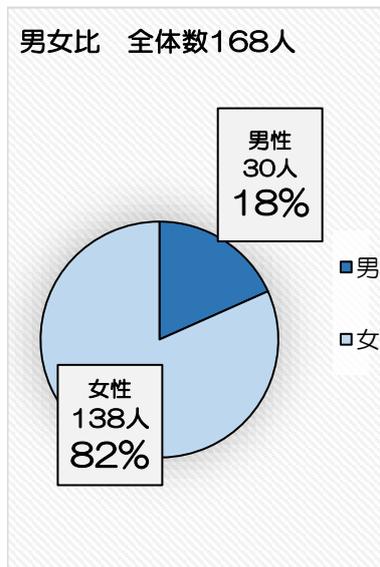
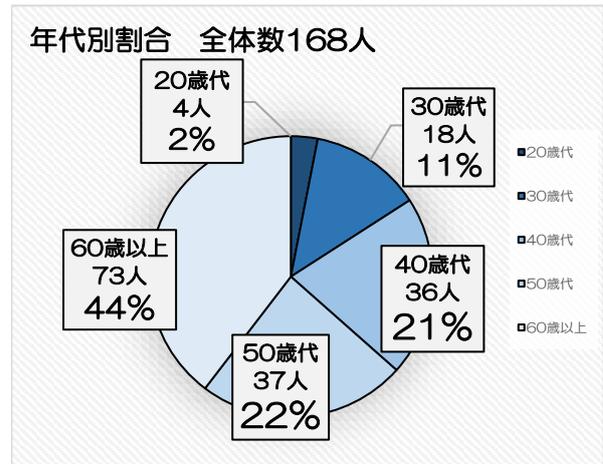
職員数 168人



## 2 職員構成 (令和5年3月31日現在)

平均年齢(単位:歳)

	平均年齢
全職員	54.0
正規職員	44.4
非正規職員	57.8



有資格者数(単位:人)

資格種類	人数
社会福祉士	37
精神保健福祉士	9
介護福祉士	32
主任介護支援専門員・介護支援専門員	33
保健師・看護師	7
保育士	36
幼稚園教諭	32
小学校、中学校、高等学校教諭	25

### 3 法人運営

【令和4年度事業費】 286,957千円

#### 法人運営

事業実績		
(1) 理事会・評議員会		
理事会	第73回理事会 令和4年6月8日(水)	<b>【議案内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告及び社会福祉事業決算について</li> <li>・令和4年度社会福祉事業第1次補正予算(案)について</li> <li>・選出団体の役員改選に伴う理事候補者の推薦について</li> <li>・選出団体の役員改選に伴う評議員候補者の推薦について</li> <li>・個人情報保護規程の一部改正について</li> <li>・第44回評議員会の開催について</li> </ul>
	第74回理事会 令和4年7月1日(金)	<b>【議案内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選出団体の役員改選に伴う評議員候補者の推薦について</li> </ul> ※ 上記の議案について、書面による決議を行った。
	第75回理事会 令和4年10月4日(火)	<b>【議案内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度社会福祉事業第2次補正予算(案)について</li> </ul>
	第76回理事会 令和5年2月27日(月)	<b>【議案内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事選出団体の役員改選に伴う理事4人の推薦について</li> <li>・評議員選出団体の役員改選に伴う評議員3人の推薦について</li> </ul> ※ 上記の議案について、書面による決議を行った。
	第77回理事会 令和5年3月17日(金)	<b>【議案内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副会長の選定について</li> <li>・令和4年度社会福祉事業第3次補正予算(案)について</li> <li>・令和5年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)について</li> <li>・任期満了に伴う理事、監事の選出について</li> <li>・任期満了に伴う苦情解決第三者委員の選任について</li> <li>・正規職員以外の職員就業規則の一部改正について</li> <li>・経理規程の一部改正について</li> <li>・役員等賠償責任保険契約について</li> <li>・第46回評議員会の開催について</li> </ul>
評議員会	第44回評議員会 令和4年6月22日(水)	<b>【議案内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告及び社会福祉事業決算について</li> <li>・令和4年度社会福祉事業第1次補正予算(案)について</li> <li>・選出団体の役員改選に伴う理事の選任について</li> </ul>
	第45回評議員会 令和5年3月7日(火)	<b>【議案内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事4人の選任について</li> </ul> ※ 上記の議案について、書面による決議を行った。
	第46回評議員会	<b>【議案内容】</b>

令和5年3月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度社会福祉事業第2次補正予算(案)及び第3次補正予算(案)について</li> <li>・令和5年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)について</li> <li>・任期満了に伴う理事・監事の選出について</li> </ul>
--------------	--

(2) 会長業務執行状況

月 日	内 容
4月 1日	辞令交付式
6日	第252回課長会議(オンライン会議)
	寄附贈呈式(家庭倫理の会)
14日	上田市高齢者学園入学式 ※欠席
17日	豊殿地区社会福祉協議会総会 ※中止
20日	西部地区社会福祉協議会総会 ※中止
21日	丸子地域高齢者クラブ連合会総会 ※中止
22日	令和4年度上田市遺族会役員総会 ※欠席
23日	令和4年度小河滋次郎博士顕彰会定期総会
27日	南部地区社会福祉協議会総会
28日	上小圏域成年後見支援センター第30回運営委員会
5月 11日	第253回課長会議(オンライン会議)
17日	地区社協会長会
19日	社会福祉法人別所清明会長寿園監査
	武石地区社会福祉協議会総会
22日	北部地区まちづく協議会定期総会・防災講演会 ※荻原課長代理出席
27日	令和3年度上田市社会福祉協議会事業監査
30日	社会福祉法人別所清明会長寿園理事会
31日	第59回正副会長会
6月 1日	福祉推進委員連絡協議会地区会長会
	上田市民生委員推薦会 ※欠席
3日	第254回課長会議(オンライン会議)
3日	令和4年度上田地域福寿クラブ連合会第38回定期大会
7日	上田地区共同募金委員会運営委員会
8日	第73回理事会
9日	上田市地域振興事業団評議員選定委員会
16日	信州上田医療センター地域医療諮問委員会
17日	社会福祉法人別所清明会長寿園評議員会
18日	信州国際音楽村開村35周年記念「信州ルネッサンス2022」
20日	原峠保養園視察
22日	第44回評議員会
24日	苦情解決第三者委員会
	長野県社会福祉協議会第144回評議員会
28日	令和4年度長野県共同募金会上田市共同募金委員会

7月	1日	第2回上田市民生委員推薦会
	6日	福祉推進委員全体研修会
	13日	第255回課長会議（オンライン会議）
	25日	令和4年度上田市身体障害者福祉協会マレットゴルフ大会 ※欠席
8月	5日	信州上田大花火大会
	8日	第256回課長会議（オンライン会議）
	10日	上田市議会厚生委員会との懇談会
	25日	「小さな親切」運動上田支部理事会・定期総会 ※中村常務代理出席
9月	5日	上田市社会福祉大会表彰審査委員会
	7日	結婚相談員委嘱書交付式 地域福祉推進フォーラム
	12日	第257回課長会議（オンライン会議）
	14日	信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	16日	長野県社会福祉協議会評議員会
	27日	上小ブロック社協役職員研修会
10月	3日	第258回課長会議（オンライン会議）
	4日	第75回理事会・第16回上田市社会福祉大会運営委員会
	12日	寄附贈呈式（生命保険協会長野県協会）
	13日	人権を考える市民のつどい
	14日	塩尻地区社会福祉協議会住民会議
	21日	西部地区社会福祉協議会住民会議
	24日	第16回上田市社会福祉大会打ち合わせ
	27日	上田市人権尊重のまちづくり審議会 南部地区社会福祉協議会住民会議
11月	2日	第16回上田市社会福祉大会
	3日	第39回砥石米山城まつり
	4日	長和町社協会長来訪
	5日	真田地区社会福祉協議会住民会議
	6日	第40回上田真田まつり
		第259回課長会議（オンライン会議）
	7日	令和4年度上田市功労者表彰式 川西地区社会福祉協議会住民会議
	9日	丸子地区社会福祉協議会住民会議
	11日	塩田地区住民福祉大会
	12日	武石地区社会福祉協議会住民会議
	16日	生活困窮者支援推進セミナー
	17日	城下地区社会福祉協議会研修会
	22日	東部地区社会福祉協議会住民会議（中止）
	23日	北部地区社会福祉協議会住民会議

	24日	上田地区民生委員・児童委員慰労会
	25日	中央地区社会福祉協議会住民会議
	26日	上小ブロック社協ボランティアフォーラム
	30日	上田市特別職報酬等審議会 令和4年度上田市戦没者追悼式・第65回上田市戦没者遺族大会
12月	6日	寄附贈呈式（長野県理容生活衛生同業組合上小支部）
	7日	令和4年度中間決算報告会
	8日	社会福祉法人別所清明会臨時理事会
	9日	第260回課長会議（オンライン会議）
	12日	上田市民生委員・児童委員委嘱書伝達式
	13日	福祉推進委員連絡協議会地区会長会
	15日	信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	16日	寄附贈呈式（「小さな親切」運動上田支部） 社会福祉法人別所清明会臨時評議員会
	23日	上田市退任民生委員・児童委員感謝状贈呈式
	28日	仕事納めの式
1月	4日	仕事始めの式 新年あいさつ回り
	5日	年始来訪者対応
	6日	上田商工会議所新春賀詞交換会
	11日	第261回課長会議（オンライン会議）
	24日	上田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会
	27日	寄附贈呈式（上田情報ビジネス専門学校）
	31日	辞令交付
2月	1日	神科地区社会福祉協議会役員来訪
	6日	福祉推進委員委嘱式
	8日	第262回課長会議（オンライン会議）
	20日	南部まちづくり協議会設立代議員会
3月	8日	社会福祉法人別所清明会理事会
	10日	第263回課長会議（オンライン会議）
	11日	真田福祉推進委員・福祉委員合同研修会
	13日	第60回正副会長会
	14日	上田市高齢者学園卒業式 上田ライオンズクラブ（車いす贈呈）例会
	16日	信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	17日	第77回理事会
	20日	社協うえだ100号記念誌写真表彰式
	23日	長野県社会福祉協議会第146回評議員会
	24日	第46回評議員会

25日	丸子レオクラブ結成50周年&丸子ライオンズクラブ結成60周年記念式典
28日	上田市防災会議
29日	社会福祉法人別所清明会評議員会
31日	退職職員辞令交付式

※ その他内部用務

事業運営指導、渉外業務、事務処理 等

(2) 表彰審査委員会

9月5日(月) 第16回上田市社会福祉協議会 表彰審査委員会

(3) 苦情解決第三者委員

6月24日(金)

令和3年度苦情状況：苦情件数 9件 ヒヤリハット 57件

(4) 上田市社協職員衛生委員会

ア 第13回 4月1日(金) 委嘱について

イ 第14回 5月30日(月) 安全衛生年間計画書について、4S運動について、熱中症について

ウ 第15回 6月20日(月) 神科児童センターの巡視について

エ 第16回 7月20日(水) 神科児童センター指摘事項改善報告について、職場復帰支援プログラムについて

オ 第17回 8月31日(水) 川辺児童センターの巡視について

カ 第18回 9月29日(木) 川辺児童センター指摘事項改善報告について、ハラスメント対策について

キ 第19回 10月26日(水) ストレスチェック実施報告、4S運動強化旬間の結果について

ク 第20回 1月23日(月) 東塩田児童センターの巡視について

ケ 第21回 2月20日(月) 東塩田児童センター指摘事項改善報告について、4S運動強化旬間の結果について

コ 第22回 3月20日(月) 安全衛生年間計画について

(5) ブロック会議

6月29日(水) 上小ブロック社協連絡会議

9月27日(火) 上小ブロック役職員研修

(6) 福祉人材の育成

長野大学 社会福祉士実習生受入れ 夏季3人 春季2人

フィールドワーク 7人

佐久大学 社会福祉士実習生受入れ 春季1人

信州上田医療センター附属看護学校 看護師実習生受入れ 10人

上田看護専門学校 17人

長野県社会福祉協議会 小中学校教員免許志願者に対する介護等体験 3人

信州大学医学部 6人

信州スポーツ医療福祉専門学校 4人

## 社協会費

### 【事業概要】

社協の会員会費制度は、市民一人ひとりが福祉に関心を持ち、積極的に地域の福祉活動に参加していただくことを目的としている。

会員になることが、福祉活動に参加することと同じ意味を持っており、財政面だけでなく、地域福祉を支える大きな力になる。地域福祉の主役である市民と、それを推進する社協が一体となり、福祉のまちづくりを行うために欠かせない仕組みとして、会員会費制を取り入れている。

事業実績			
(1) 社協会費納入実績・推移 (単位：円)			
	令和2年度 (令和3年3月31日現在)	令和3年度 (令和4年3月31日現在)	令和4年度 (令和5年3月31日現在)
普通会費	23,468,351	23,614,694	23,246,102
特別会費	1,631,000	1,497,000	1,420,000
法人会費	2,311,000	2,717,560	2,520,000
団体会費	167,000	168,000	171,000
	27,577,351	27,997,254	27,357,102
評価・課題			
それぞれの会費において、予算を超えて納入いただいたが、今後は減少が見込まれるため、大きな課題となっている。令和5年度は会員会費制の理解を深める活動や、社協事業の見える化を図り、市民の意見を取り入れた事業運営を行っていくために、自治会との連携を深める。			

## 社会福祉大会

### 【事業概要】

市内の社会福祉功労者や優良団体の表彰とその時代の福祉課題に対する講演会等を開催し、市内の自治会長や民生委員・児童委員、福祉推進委員や福祉委員、市民などが参加している。

事業実績	
(1) 上田市社会福祉大会 ※ 人数調整のため、参加者を限定し実施 11月2日(水) サントミュージゼ大ホール 参加者 約469人	
ア 内容	
(ア) 記念撮影	
(イ) 式典 … 表彰者 70人、7団体	
(ウ) アトラクション 健康体操 宮本 恵美 氏 (総合型地域スポーツクラブ NPO 法人さなだスポーツクラブ マネージャー)	

<p>(エ) 講演会          講演：『食品ロスゼロを考えよう          ～持続可能な社会を目指して“今”“できること～』          講師：井出 留美 氏 株式会社office3.11 代表取締役/食品ロス問題ジャーナリスト</p> <p>(2) 長野県社会福祉大会 ※ 信州ふっころフェスティバル 2022 と併催          11月12日(土) オンライン開催(希望者のみ会場参加)</p> <p>ア 内容          (ア) 地域共生シンポジウム、ケアコンテスト2022、表彰 等          (イ) 表彰者(上田市のみ)          ○長野県社会福祉協議会会長表彰          ・ボランティア団体表彰：一匹でも犬・ねこを救う会</p>
評価・課題
<p>3年振りに通常開催に戻し、記念撮影、式典とアトラクション、講演会を行った。          その年の福祉課題に合わせた講演やプログラムを行い、社会福祉の発展に尽力している市民や団体を広く表彰するよう対応していく。</p>

## 人材育成

### 【事業概要】

専門性を高めるとともに視野を広げ、スキルアップを図るための研修会への積極的な参加を進めている。

事業実績	
(1)新規採用職員研修	講師：笠原総務課長、滝澤総務課長補佐、関本総務・企画係長 日時：4月1日(金) 午前9時30分～午前10時30分 会場：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室 参加人数：9人
(2)ビジネスマナー研修会	講師：洋服の青山 上田住吉支店 店長 濱村 建治氏 副店長 二木 真一氏 日時：4月4日(月) 午後1時30分～午後3時 会場：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室 参加人数：4人
(3)文章事務研修会	講師：中村常務理事 <b>【1回目】</b> 日時：4月25日(月) 午前10時～午前11時 会場：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室 参加人数：11人 <b>【2回目】</b> 日時：4月26日(火) 午前10時～午前11時 会場：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室 参加人数：10人

(4)個人情報の保護に関する法律説明会 講 師：中村常務理事

【1回目】

日 時：5月17日（火）午前10時～午前11時  
会 場：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室  
参加人数：11人

【2回目】

日 時：5月18日（水）午前10時～午前11時  
会 場：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室  
参加人数：11人

【3回目】

日 時：10月18日（火）午後1時30分～午後2時30分  
会 場：丸子ふれあいステーション3階 大会議室  
参加人数：18人

【4回目】

日 時：10月19日（水）午後1時30分～午後2時30分  
会 場：丸子ふれあいステーション3階 大会議室  
参加人数：7人

【5回目】

日 時：10月20日（木）午前10時～午前11時  
会 場：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室  
参加人数：24人

【6回目】

日 時：10月24日（月）午前10時～午前11時  
会 場：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室  
参加人数：20人

【7回目】

日 時：12月7日（水）午後4時30分～午後5時30分  
会 場：神川デイサービス  
参加人数：9人

【8回目】

日 時：12月8日（木）午後4時30分～午後5時30分  
会 場：中央デイサービス  
参加人数：8人

(5)交通安全講習会

講 師：上田警察署 交通課 規制免許係 特務  
長野県巡查 今井 俊文氏

【1回目】

日 時：8月2日（火）午前10時～午後11時  
会 場：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室  
参加人数：50人

【2回目】

日 時：8月5日（金）午前10時～午後11時  
会 場：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室  
参加人数：33人

(6)メンタルヘルス研修会	<p>講師：スペース聴 公認心理士・精神保健福祉士 滝澤 利江氏</p> <p>日時：11月17日(火) 午前10時～午前11時</p> <p>会場：オンライン開催</p> <p>参加人数：45人</p>
(7)社協事業研修会	<p>【日常生活自立支援事業・上小圏域成年後見支援センター事業】</p> <p>講師：生活支援課 生活支援係 神馬主任 上小圏域成年後見支援センター 横山主事</p> <p>日時：12月21日(水) 午後1時30分～午後2時30分</p> <p>会場：オンライン開催</p> <p>参加人数：57人</p> <p>【上田市生活就労支援センター“まいさぼ上田”事業】</p> <p>講師：上田市生活就労支援センター“まいさぼ上田” 小井土主事</p> <p>日時：令和5年1月20日(金)午前10時30分～午前11時</p> <p>会場：オンライン開催</p> <p>参加人数：56人</p> <p>【ご用聞きサービス事業、福祉移送サービス事業】</p> <p>講師：地域福祉推進課 地域福祉係 太田主事 地域福祉推進課 地域福祉係 永井主任</p> <p>日時：2月15日(水)午後1時30分～午後2時30分</p> <p>会場：オンライン開催</p> <p>参加人数：47人</p>

担当業務に関する外部での研修については、必要に応じて個々に参加した。

#### 評価・課題

現在の職務の専門知識の向上を図るとともに、視野をひろげるための研修、階層ごとの体系立てた研修、事務処理能力の向上のための研修等によりスキルアップを図るため、職員研修計画を作成し、職員研修を計画的に実施した。

参集式やオンラインなど、研修会の開催方法を工夫し、多くの職員が参加することができ、スキルアップ向上を図ることができた。

担当業務外の事業内容を職員一人ひとりが把握するため、社協事業研修会を開催したが、事業内容の説明だけでなく、今後の事業展開や方針等、各担当からの意見や課題等を集約するなど、開催方法の検討が必要である。

職員が参加しやすい開催時期、開催時間、開催方法など検討を重ね、職員全員を対象にスキルの向上に取り組んでいきたい。

## 出前講座

### 【事業概要】

依頼に基づき、社協職員が、自治会、企業、団体等に出向き、各種講座を無料で行っている。

事業実績		
次の自治会や団体等から依頼があり、社協職員が講師として出向いた。		
講座名	回数	主催者
上田市社協の事業説明等	2回	(株)ニチイ学館、シナノケンシ株式会社本社
障がいがある人の理解と体験	3回	JR 東日本 上田駅、小泉社会福祉協議会 (株)ニチイ学館
高齢者疑似体験	3回	染屋自治会 (株)ニチイ学館 (2回)
いきいき体操	12回	北部地区福祉推進委員、中央地区福祉推進委員、千曲町民生委員、下原福祉委員、大日向自治会、諏訪形社会福祉協議会、鎌原福祉推進委員、上紺屋自治会、大畑自治会、上長瀬自治会、沢田自治会、下和子自治会
エンディングノートについて	2回	染屋自治会、諏訪形社会福祉協議会
ボッチャ・モルック体験	12回	まるこ福祉会、北部地区福祉推進委員、上長瀬自治会、染屋自治会、三好町自治会、上紺屋自治会、ガールスカウト長野県第25団、山口自治会、城南公民館中村分館、神川地区福祉推進委員、上青木福祉推進委員、丸子地域高齢者クラブ連合会
タオル犬作り	3回	下塚区福祉推進委員 荒井自治会福祉委員会 中央地区福祉推進委員
ペットボトルキャップを使った物づくり	1回	中央地区福祉推進委員
合計 38回実施		
評価・課題		
<p>令和3年度の実績14件に対し、令和4年度は38件と増加した。</p> <p>出前講座は、社協職員が、地域の人たちとの交流が持てる良いきっかけとなっている。</p> <p>令和5年度は引き続き多くの地域の人たちに利用していただくために、内容を見直し、参加型の講座や工作講座の内容を充実させる。</p>		

## 4 善意銀行

【令和4年度事業費】 2,689千円

### ふくふくひろば

#### 【事業概要】

「まだ着られる服を捨ててしまうのはもったいない」「必要としている方に届けて欲しい」そんな声を受けて、ふく（服）とふく（福）がつながって、皆さまが笑顔になれるお手伝いができたらと考え、令和2年7月から子ども服のリユース事業を開始した。上田市ふれあい福祉センターに新たに展示スペースを設けた。

・開設時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

事業実績		
(1) 頒布会開催		
日	時	9月17日(土) 午前10時～正午
来場者数：56組117人		
持ち帰り点数：444点		
(2) 実績（令和4年4月1日～令和5年3月31日）		
寄附点数（単位：点）	持ち帰り点数（単位：点）	利用者数（単位：組）
7,348	6,203	885
評価・課題		
年々、利用者数が増加しており、広く周知ができている。 常設の会場が狭く、時期に合わせて春夏、秋冬物を入れ替えているが、利用者から季節ごとの洋服を選べると良いとの意見があった。 オールシーズンの洋服を選んでもらえるよう、広いスペースの確保が課題である。		

### 善意銀行

#### 【事業概要】

市民の皆様や企業・団体から寄せられた金品を必要とされている方や学校、施設等へ受け渡す「橋渡し」を行っている。

令和4年度事業報告にある評価・課題			
多くの市民から寄附の申出を受け入れることができた。 寄附金品については、ふくふくひろばやフードドライブ事業、また必要としている個人・団体に受け渡しをすることができた。			
令和4年4月～令和5年3月までの取組・事業実績			
(1) 金銭寄附（単位：円）		(敬称略)	
月日	金額	氏名	備考
4月6日	1,000,000	匿名	
4月27日	5,000	匿名	

4月27日	50,000	匿名	丸子地域子育て支援へ
5月23日	5,332	匿名	丸子地域へ
5月26日	5,414	匿名	
7月5日	50,000	エンゼル様	福祉のために
10月13日	9,223	匿名	
11月4日	11,120	井上 里子 他5名様	
11月9日	100,000	匿名	丸子地域へ
12月6日	33,500	長野県理容生活衛生同業組合 上小支部様	
12月21日	31,548	柳澤 政次様	
12月26日	1	かがやき21上田様	
1月18日	9,545	匿名	
1月27日	17,500	上田情報ビジネス専門学校経理科 ビジネス・プロコース2年様	上小手話サークル様へ
2月3日	11,515	上田友の会様	上小圏内へ
2月7日	5,884	匿名	
3月3日	22,000	匿名	
3月17日	10,000	匿名	
3月18日	50,000	成澤 秀敏様	
3月18日	20,000	匿名	

(2) 物品寄附

(敬称略)

月日	物品	氏名	備考
4月4日	マスク 8,500枚	匿名	
4月6日	(1) タオル 200枚 (2) 手ぬぐい 100枚	家庭倫理の会佐久平上田支部様	
4月6日	(1) 衣類 10点 (2) 靴下 4点 (3) 下着 6点 (4) 介護シューズ 1点	匿名	
4月7日	マスク 200枚	匿名	丸子地域へ
4月7日	タオル 31枚	匿名	丸子地域へ
4月8日	フリースマフラー 110点	みなハウスわっこ様	
4月8日	(1) 介護用下着 9点 (2) 介護用シューズ 1点 (3) マスク 50枚 (4) 介護用シーツ 2点	匿名	
4月12日	使用済み切手 1.74kg	上田間税会女性部様	
4月12日	マスク 100枚	匿名	
4月14日	使用済み切手 133g	アザレアンさなだ デイサービスセンター 一同様	
4月18日	ルーペ 3点	匿名	

4月19日	(1) 手作りマスク 140 枚 (2) 手作りマスクケース 2 枚 (3) 手作りメガネケース 8 枚	福澤梅子 様	
4月21日	電動ベッド 1 台	小林直文 様	
4月22日	使用済み切手 240 g	NPO 法人ぼけっと 様	
4月26日	子ども服 26 点	匿名	
4月26日	(1) ハンカチ、手ぬぐい 12 枚 (2) ふろしき 1 枚	幸福の科学上田支部 様	
4月26日	使用済み切手 1.26kg	上田材木町郵便局 様	
4月27日	子ども服 2 点	匿名	
4月27日	(1) 毛糸 1 kg (2) 子ども服 35 点	匿名	ボランティア グループ、ふ くふく広場へ
4月28日	使用済み切手 860 g	上田三好町郵便局 様	
4月28日	食品 17 点	からだ元気治療院上田店 様	
5月2日	子ども服 5 点	匿名	
5月2日	子ども服 1 点	匿名	
5月2日	タオル 113 枚	(株) 細井建設 様	
5月6日	使用済み切手 45 g	匿名	上田地域へ
5月10日	電動ベッド 1 台	匿名	
5月11日	子ども服 56 点	匿名	上田地域へ
5月12日	(1) タオル 37 枚 (2) 軍手 42 組 (3) 使用済み切手 140 g (4) 書き損じはがき 86 枚	退職公務員連盟上小支部 様	
5月18日	シンプルフードジャー 2 点	匿名	
5月19日	(1) 食品 17 点 (2) マスク 510 枚	匿名	
5月19日	(1) 子ども服 31 点 (2) ベビー用品 40 点	小柳産業 (株) 様	
5月25日	(1) 子ども服 295 点 (2) 靴 7 点 (3) 母乳パット 1 点 (4) 雑貨 10 点	さらしなの里ぼっこ 様	
5月26日	食品 18 点	からだ元気治療院上田店 様	
6月1日	使用済み切手 520 g	退職公務員連盟上小支部 様	
6月8日	(1) シーツ 7 枚 (2) タオル 4 枚 (3) 肌掛け布団 1 枚	(有) 細谷工業所 様	
6月8日	(1) 子ども服 77 点 (2) 雑貨 10 点 (3) 食品 8 点	日置電機 (株) 日置フォレストプラザ (株) 様	
6月9日	(1) 尿取りパッド 4 袋 (2) 紙パンツ 4 袋 (3) 紙オムツ 3 袋	遠藤美樹 様	

6月9日	手縫い雑巾 67枚	匿名	
6月16日	毛糸 14.3kg	匿名	丸子モチーフの会様へ
6月16日	毛糸 4.5kg	岩本節子 様	
6月22日	食品 18点	からだ元気治療院上田店 様	
6月23日	タオル 62枚	匿名	丸子地域へ
6月24日	(1) ふろしき 10枚 (2) ハンカチ 13枚 (3) ガーゼタオル 1枚 (4) 手ぬぐい 4枚	匿名	
6月30日	(1) バスタオル 1枚 (2) 柔軟剤 1点 (3) ティッシュペーパー 4箱 (4) ホットピロー 1点	幸福の科学上田支部 様	
7月4日	児童書 25冊	匿名	
7月4日	毛糸 13.1kg	匿名	
7月4日	(1) 尿取りパッド 1点 (2) 使い捨てエプロン 1箱	中村麻弓 様	
7月6日	(1) 手作りシューズケース 2点 (2) 手作りレッスンバッグ 10点 (3) 手作り体操着入れ 4点 (4) 手作りコップ袋 21点	Luna Azul 様	
7月11日	使用済み切手 2kg	匿名	
7月4日	(1) 手作り足ふきマット 11枚 (2) 塗り絵 52冊	上田地区更生保護女性会 武石支部 様	武石保育園様、デイサービス武石様、依田窪福祉会特別養護老人ホームともしび様へ
7月13日	包丁 43点	匿名	
7月13日	使用済み切手 250g	匿名	丸子地域へ
7月14日	テレホンカード 500円 8枚	匿名	丸子地域へ
7月14日	使用済み切手 60g	第一生命丸子営業オフィス様	
7月15日	(1) 尿取りパッド 4袋 (2) リハビリパンツ 2袋 (3) ペット用トイレシート 5袋	匿名	介護施設等へ
7月19日	(1) 哺乳瓶用洗剤 1点 (2) 哺乳瓶用消毒液 1点 (3) 乳児用 1点	匿名	
7月20日	はがき 60枚	匿名	
7月20日	未使用切手 185枚	匿名	
7月25日	食品 23点	からだ元気治療院上田店 様	
7月25日	児童書・コミック 67冊	(株)バリューブックス 様	朝日が丘児童館へ
7月29日	じゃがいも 25kg	匿名	丸子地域へ

8月1日	白米 10 kg	匿名	丸子地域へ
8月4日	(1) じゃがいも約 100kg (2) キャベツ約 30 個	美し信州建設 (株) 様	市内子ども食堂へ
8月4日	(1) 子ども服 2 点 (2) 文房具 29 点 (3) 白米 8 kg (4) 食品 29 点	長野県労働金庫 丸子支店運営委員会 様	
8月8日	(1) 年賀はがき 10 枚 (2) 糸 300g	匿名	丸子地域へ
8月12日	食品 42 点	匿名	
8月18日	使用済み切手 40 g	竹内幸子 様	
8月18日	秋の壁飾り 20 点	匿名	敬老園様へ
8月22日	(1) 脳トレパズル 1 点 (2) 使用済みテレホンカード 17 枚	匿名	
8月22日	タオル 80 枚	匿名	丸子地域へ
8月23日	(1) 子ども服 46 点 (2) 雑貨 6 点	匿名	
8月24日	使用済み切手 2.58kg	丸子郵便局 様	
8月26日	(1) 介護用防水シート 1 袋 (2) 介護用紙パンツ 11 点	匿名	
8月29日	(1) タオル 30 枚 (2) タオルケット 5 枚 (3) 綿毛布 1 枚 (4) 肌掛け布団 1 枚 (5) フラットシート 2 枚	匿名	真田地域へ
8月30日	マスク 510 枚	匿名	
8月30日	絵本 118 冊	認定こども園 芙蓉園 様	
8月31日	(1) バスタオル 1 枚 (2) タオルセット 4 箱 (3) タオル 3 枚 (4) エコバック 2 点 (5) 便座カバー 4 点	幸福の科学上田支部 様	
9月1日	白米 10 kg	匿名	丸子地域へ
9月2日	食品 23 点	からだ元気治療院上田店 様	母子世帯へ
9月5日	マスク 350 枚	匿名	真田地域へ
9月7日	使用済み切手 1.8kg	塩川郵便局 様	
9月7日	使用済み切手 100 g	(有) 坂田電気商会 様	
9月9日	使用済み切手 160 g	(株) エイティ 様	
9月12日	使用済み切手 165 g	丸子地域自治センター 様	
9月13日	(1) 白米 10 kg (2) 食品 24 点	JA 信州うえだ女性部 様	
9月14日	子ども服 1 点	匿名	
9月15日	ハンドメイド品 75 点	Luna Azul 様	
9月21日	使用済み切手 60 g	匿名	

9月22日	白米 30 kg	匿名	丸子地域へ
9月22日	タオル 154 枚	匿名	丸子地域へ
9月27日	使用済み切手 110 g	NPO 法人ぼけっと	
9月28日	タオル 45 枚	匿名	
9月28日	(1) 電動ベッド 2 台 (2) 介護用テーブル 1 台	匿名	
9月28日	食品 16 点	からだ元気治療院上田店 様	
10月3日	米 10 k g	匿名	丸子地域へ
10月3日	(1) お座敷ワゴン (2) 多用盆お椀セット (3) タッパーセット (4) オーブントースター (5) マスク 1,050 枚	匿名	
10月4日	使用済み切手 35 g	小野山みどり(S ネット)様	
10月5日	米 130 k g	匿名	
10月5日	(1) 使用済み切手 48 g (2) 使用済みはがき 19 枚 (3) 未使用切手 5 枚 (4) 未使用はがき 75 枚	匿名	真田地域へ
10月12日	介助用車いす 5 台	(一社) 生命保険協会長野 県協会 様	
10月12日	(1) リハビリパンツ 6 袋 (2) 尿取りパッド 6 袋 (3) 尿取りパッド夜用 12 袋	匿名	
10月13日	子ども服 6 点	匿名	
10月13日	(1) リハビリパンツ 6 袋 (2) 尿取りパッド夜用 1 袋 (3) 使い捨て防水シート 1 袋 (4) 使い捨て手袋 1 箱	匿名	
10月17日	お米 60 k g	匿名	
10月18日	(1) 子ども服 17 点 (2) 雑貨 (抱っこ紐、チェアベルト) 2 点 (3) 子ども用紙オムツ 1 袋 (4) 子ども用紙パンツ 1 袋 (5) 子ども用水遊びパンツ 1 袋	チャイルドラインうえだ 様	
10月24日	使用済み切手 126 g	匿名	
10月24日	(1) 書き損じはがき 15 枚 (2) 使用済み切手 1.15 k g	学校法人渋沢学園 いずみ幼稚園 様	
10月26日	(1) 未使用はがき 79 枚 (2) 使用済みはがき 20 枚	匿名	
10月26日	フェイスタオル 37 枚	石坂滋章 様	

10月28日	封筒2箱	竹内紀子様	
10月28日	(1) 毛糸34玉 (2) 鉛筆12本 (3) シーツ3枚 (4) 寝巻1着	匿名	真田地域へ
10月31日	(1) タオルセット2箱 (2) ふきんセット1箱 (3) フェイスタオル11枚	幸福の科学上田支部様	
10月31日	使用済み切手115g	明治安田生命保険相互会社 上田営業部様	
11月1日	米10kg	匿名	丸子地域へ
11月4日	歩行器	匿名	
11月7日	使用済み切手480g	上田材木町郵便局様	
11月7日	(1) 石鹸139個 (2) フェイスタオル38枚 (3) スポンジ2個 (4) ボディーソープ2個 (5) シャンプー3個 (6) コンディショナー1個 (7) 入浴剤1個 (8) シャンプーブラシ1個	匿名	
11月7日	(1) 子供服45点 (2) 靴1点 (3) 雨具1点	匿名	
11月7日	使用済み切手128g	匿名	
11月9日	不織布マスク7,400枚	東京特殊電線株式会社様	社協活動へ
11月9日	米30kg	匿名	丸子地域へ
11月11日	使用済み切手1.68kg	上田緑が丘郵便局様	
11月11日	子ども服199点	さらしなの里 自然保育ほ っこ様	ふくふくひろ ばへ
11月15日	米150kg	(有) 坊乃家様	
11月16日	食品22点	からだ元気治療院上田店様	
11月18日	毛糸3.25kg	匿名	丸子モチーフ の会様へ
11月20日	(1) ポストカード12枚 (2) 食品18点	グラフィッククラブ@うえ だ様	もぐもぐサポ ーターへ
11月21日	お米60kg	豊染英神社様	
11月22日	モルックコート用収納袋8枚	竹の会様	上田市社協へ
11月24日	(1) ハンドメイド品65点 (2) ニッティングヤーン (手芸材料)18点	Luna azul様	
11月22日	お米30kg	匿名	丸子地域へ

11月25日	使用済み切手 90 g	匿名	真田地域へ
11月28日	使用済み切手 12 g	匿名	
11月30日	食品 71 点	明治安田生命保険相互会社 上田営業部 様	
12月1日	ハンドメイド品 46 点	Luna azul 様	
12月1日	お米 10 k g	匿名	丸子地域へ
12月5日	(1) 食品 107 点 (2) お米 120 k g (3) 子ども用紙オムツ 2 袋 (4) 子ども服 21 点 (5) 大人衣類 5 点	国分自治会 様	
12月5日	子ども服 20 点	匿名	
12月5日	(1) フェイスタオル 24 枚 (2) バスタオル 2 枚	匿名	真田地域へ
12月6日	タオル 150 枚	長野県理容生活衛生同業組 合上小支部 様	
12月7日	クリスマス飾り 24 点	上田東高校 JRC 班 様	上田市内高齢 者施設へ
12月8日	衣類 15 点	匿名	
12月12日	(1) 掛け布団カバー 4 点 (2) プチマフラー 1 点	匿名	
12月12日	子ども服 12 点	匿名	
12月14日	お米 120 k g	生島足島神社 様	
12月16日	車いす 2 台	「小さな親切」運動 上田 支部 様	
12月16日	書き損じはがき 113 枚	匿名	
12月16日	使用済み切手 205 g	匿名	
12月20日	お米 20 k g	匿名	丸子地域へ
12月21日	使用済み切手 32 g	豊殿まちづくり協議会 様	
12月22日	布マスク 300 枚	匿名	真田地域へ
12月23日	お米 10 k g	匿名	丸子地域へ
12月26日	(1) 未使用切手 68 枚 (2) 未使用はがき 225 枚 (3) 使用済み切手 2,96kg (4) 書き損じはがき 503 枚	かがやき 21 上田 様	
12月26日	未使用はがき 42 枚	匿名	真田地域へ
12月28日	(1) 毛糸 240 g (2) バスタオル 4 枚 (3) シーツ 2 枚	幸福の科学上田支部 様	
1月4日	ハンドメイド品 36 点	Luna azul 様	
1月5日	子ども服 14 点	明治安田生命保険相互会社 上田営業部 様	

1月10日	お米 55kg	匿名	丸子地域へ
1月18日	食品 12点	からだ元気治療院上田店 様	
1月18日	(1) 使用済み切手 340g (2) フェイスタオル 30枚 (3) 不織布マスク 200枚 (4) ボディークリーナー 11点 (5) 食品 15点	(株) 関根商店 様	
1月19日	(1) 子ども服 86点 (2) 雑貨 15点	匿名	ふくふくひろばへ
1月23日	(1) 尿取りパッド 5袋 (2) 入れ歯安定剤 16個 (3) トロミ粉 1袋 (4) 使い捨て手袋 1箱 (5) カット綿 2袋 (6) 口腔ケアスポンジ 50本	匿名	
1月23日	一輪車 3台	匿名	神科児童センターへ
1月24日	使用済み切手 1.8kg	殿城郵便局 様	
1月25日	使用済み切手 1.5kg	青木郵便局 様	
1月27日	ポータブルトイレ 1点	匿名	
1月31日	(1) 未使用はがき 20枚 (2) 未使用切手 72枚 (3) テレホンカード 1枚	匿名	
2月1日	お米 10kg	匿名	丸子地域へ
2月3日	食品類 33点	明治安田生命保険相互会社 上田営業部 様	
2月3日	白髪用カラートリートメント 3点	匿名	
2月6日	(1) 電動自転車 1台 (2) ファンヒーター 1台	匿名	
2月7日	使用済み切手 2.2kg	上田常入郵便局 様	
2月7日	尿取りパッド 4袋	匿名	
2月8日	未使用毛糸 66玉	匿名	
2月8日	未使用はがき 155枚	匿名	
2月8日	衣類 21点	匿名	
2月9日	使用済み切手 1.92kg	上田市役所内郵便局 様	
2月9日	(1) 未使用はがき 31枚 (2) 未使用切手 38枚 (3) 書き損じはがき 15枚 (4) 往復はがき 2枚 (5) 使用済み切手 0.2kg (6) ベルマーク 0.02kg (7) 使用済みテレホンカード 14枚	竹の会 様	

2月9日	(1) 未使用はがき 85 枚 (2) 未使用切手 48 枚	金子良男 様	
2月10日	手指の消毒 15 本	守成クラブうえだ バンバン ン広場実行委員会 様	
2月10日	食品 260 点	清明小学校 ボランティア委員会 様	フードドライ ブへ
2月10日	手縫い雑巾 50 枚	匿名	
2月10日	(1) 子ども服 335 点 (2) 帽子他 14 点	第一生命丸子、上田、上田 第2オフィス 様	
2月15日	(1) 使用済み切手 37 g (2) 書き損じはがき 8 枚 (3) 未使用郵便書簡 3 枚	田中孝子 様	
2月16日	衣類 8 点	匿名	
2月16日	使用済み切手 84g	匿名	
2月17日	落語 CD428 枚	匿名	
2月17日	布 1.38 k g	匿名	
2月17日	使用済み切手 600g	リハつぼみの会 様	
2月21日	(1) 未使用切手 8 枚 (2) 使用済み切手 984 g (3) 未使用タオル 30 枚	匿名	
2月21日	(1) 子ども服 426 点 (2) 雑貨 48 点	匿名	
2月22日	(1) 手作り半纏袖あり 6 点 (2) 手作り半纏袖なし 10 点	匿名	
2月24日	タオル 157 枚	匿名	
2月24日	タオル 11 枚	匿名	
2月27日	トイレットペーパー50 点	匿名	
2月28日	毛糸 4.8 k g	匿名	
3月1日	米 10kg	匿名	
3月1日	子ども服 19 点	明治安田生命保険相互会社 上田営業部 様	
3月1日	使用済み切手 1.24 kg	豊里郵便局 様	
3月1日	(1) 米 20 kg (2) 餅 1 袋 (3) あんこ 2 袋	匿名	
3月2日	毛糸 90 玉	匿名	
3月2日	(1) 使用済み切手 1.78 k g (2) 書き損じはがき 365 枚	上田市立第二中学校 様	
3月2日	未使用フェイスタオル 45 枚	匿名	
3月3日	毛糸 45 玉	匿名	
3月3日	モチーフ編みブランケット 1 枚	匿名	

3月3日	食品 26点	ろうきん丸子支店運営委員会様	
3月3日	(1) 布地 15.3kg (2) バッグ 3点 (3) バッグ備品 3点	匿名	
3月3日	玄米 30kg	匿名	
3月6日	使用済み切手 4.5 k g	上田市立東小学校 様	
3月8日	糸 134 玉	匿名	
3月9日	未使用タオル 128 枚	匿名	
3月10日	(1) 使用済み切手 40 g (2) 使用済みテレホンカード 1枚	上田市赤十字奉仕団 様	
3月10日	使用済み切手 2 kg	信濃国分郵便局 様	
3月14日	車いす 1 台	上田ライオンズクラブ 様	
3月16日	(1) 使用済み切手 136 g (2) 食品 49点	八十二銀行上田東支店 様	
3月17日	(1) 下着 36点 (2) タオル 10枚	匿名	
3月17日	使用済み切手 1.658kg	匿名	
3月20日	(1) タオル 5枚 (2) 使用済み切手 0.56 kg (3) 未使用・書き損じはがき 40枚 (4) 往復はがき 45枚	上田商工会議所 女性会 様	
3月25日	車いす 2 台	丸子ライオンズクラブ 様	
3月28日	(1) 紙おむつ薄型パンツ 5袋 (2) 紙おむつはくパンツ 7袋 (3) パッド 3袋	匿名	
3月29日	(1) 文具ノート国語 26冊 (2) 算数 7冊 (3) 理科 49冊 (4) 作文帳 62冊 (5) ポケットノート 72冊 (6) マグネット 4箱	認定こども園 芙蓉園 様	
3月29日	白米 120 k g	匿名	
3月30日	使用済み切手 100 g	第一生命保険(株)丸子営業オフィス 様	
3月31日	使用済み切手 1.5 k g	川辺郵便局 様	
金銭寄附合計		1,447,582 円	
物品寄附合計 (金額換算)		1,241,455 円	
<b>寄附合計</b>		<b>2,689,037 円</b>	

## 評価・課題

多くの市民から寄附の申出を受け入れることができた。

コロナ禍や物価高騰の影響で生活に困っている方宛の寄附を、多くの市民からお寄せいただき、必要としている個人・団体に受け渡しをすることができた。

## フードドライブ事業

### 【事業概要】

令和3年7月から上田市社協が主体となり、食品ロスと食糧支援を結びつける活動として、家庭などにある使い切れない食品を募っている。寄附していただいた食品は、地域の福祉団体や子ども食堂など、必要としている団体や個人に届けられている。

【開催概要】 上田市ひとまちげんき健康プラザ 原則毎月第一土曜日 午前10時～午前11時30分

### 事業実績

#### (1) フードドライブ事業

- ア 開設日数 12日
- イ 提供者数 延べ651人
- ウ 受入個数 14,839品
- エ 受入総量 8,246kg
- オ 払出先数 247件
- カ 払出個数 17,201品
- キ 払出総量 10,190kg

#### (2) 食糧配布会

- ア 配布日 7月24日(日)、12月27日(火)、2月7日(火)3回開催
- イ 配布場所 上田市ふれあい福祉センター、長野大学
- ウ 参加者 延べ377人

#### (3) フードドライブ・<sup>マイ</sup>米・CAR

- ア 配布日 4月19日(火)、5月19日(木)2回開催
- イ 配布場所 緑が丘会館、千曲町集会室
- ウ 参加者 延べ214人

#### (4) もぐもぐサポーター (通称：もぐサポ)

フードドライブ事業で、住民の皆さまから提供いただいた食品を、月に一回ひとり親世帯の方々へお渡しする事業。親子でもぐもぐ食べて、食品ロス削減サポーター「もぐもぐサポーター (通称：もぐサポ)」になっていただき、食品ロス削減に協力していただいている。

- ア 登録者数 133人
- イ 提供回数 899回
- ウ 払出個数 1,651品
- エ 払出総量 873kg

(5) パンたべよ

企業から賞味期限前の余ったパンをご寄附いただき、もぐサポ会員に届ける活動

ア 受入個数 462 個

イ 払出個数 462 個

評価・課題

社協で行うフードドライブ事業が定着してきたため、令和3年度に引き続き多くの個人や企業等に御協力をいただき、多くの食糧を寄附していただいた。

一方、物価高の影響もあり、全体的な受入個数、受入総量ともに減少となった。

令和4年度は、会場まで来られない高齢者や学生等への取組として、自治会の集会所や大学へ出向き食糧配布支援を行った。

今後は、食糧配布会やもぐサポを通じて、ひとり親世帯や学生、生活に困っている方等へ定期的に食糧配布を行いながら、必要に応じて他制度へつなげていけるような支援に努めていきたい。

また、もぐサポ会員が増加したことにより、提供できる食糧が枯渇する場面が多くなってきているため、食糧の安定的な確保が課題となってきているため、あらたな協力先も含めて検討していきたい。

## 5 企画・広報

【令和4年度事業費】 1,238 千円

### 【事業概要】

事業や福祉推進に関する企画に向けた調査・研究を行うとともに、福祉関係情報の収集及びその広報PRを行っている。

### 事業実績

(1) 新たな事業の企画に向けた調査・研究

自治会訪問時に要望の聞き取りや、社協活動の中で出てきた市民からの意見をもとに、社協の特性を活かした出前講座の内容検討や新たな事業の企画等を行った。

(2) 広報紙「社協うえだ」の発行

社協のPRや福祉に関する情報源として、講座、イベント、各地域で行われている福祉活動の様子などを掲載し、偶数月に市内全世帯、学校関係や社協法人会員の皆さまへ配布し、お知らせをした。

また、さまざまな人の意見を反映するため、市民で構成する広報委員会を実施し、広報紙に関する内容の検討を行った。

広報紙「社協うえだ」創刊100号（令和5年4月号）を迎えるに当たり、市民から表紙を飾る「笑顔」写真を募集し、各地区センター等に掲示し投票を行った。

(3) 「社協ホームページ」の活用

社協が行う各種福祉サービスをはじめ、ボランティア情報、社協職員の募集等、さまざまな情報を発信し、市民に分かりやすいページ作りを心掛けた。

(4) 社協オリジナル軍手ィの製作及び販売

若い世代にもっと社協を知ってもらいたいとの思いから、社協を身近に感じてもらうために、信州大学繊維学部による「ハナサカ軍手ィプロジェクト」とコラボし、社協オリジナル軍手ィを製作し窓口での販売を始めた。販売数：131 双（製作数 150 双）

(5) エンディングノート「絆」の販売

窓口での販売及び市内書店に依頼し、店頭での販売を行った。

販売数：89 冊（うち書店販売数 24 冊）

(6) レクリエーション備品の貸出し

ア 輪投げ	6 件
イ 的当て	4 件
ウ ボッチャ	8 件
エ モルック	2 件



「モルック」



社協オリジナル「軍手ィ」

評価・課題

広報委員会から意見をいただき、市民の声を反映させた広報紙づくりに努めた。今後は SNS を活用し、ホームページについても、必要な情報がすぐに見つけられるよう整理し、親しみやすいページ作りを進めていく。

若い世代に社協を知ってもらうため、信州大学や上田西高校と連携し「社協オリジナル軍手ィ」を製作して販売した。令和 5 年度は市内の他の高校とも連携し、周知活動を行うとともに、ニーズをくみ上げ、新たな事業の企画に向けて調査する。

## 6 希望の旅事業

【令和 4 年度事業費】 24 千円

【事業概要】

日ごろ、旅行をする機会が少ない在宅の重度障がい者の方に、社会交流の場とレクリエーションの機会を作り、その体験を通じて、より生きがいを高めることを目的に、一泊二日または、日帰りの旅行を行っている。

事業実績

11 月下旬に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、県内日帰り旅行として、長野市、小布施町方面への旅行を実施した。

- (1) 期 日 11 月 22 日
- (2) 場 所 長野市、小布施町方面
- (3) 参加者 8 人（障がい者 4 人、介護者 4 人）

## 評価・課題

令和4年度は11月下旬に、4組8人で長野市、小布施町方面へ日帰り旅行をした。訪れた観光地の道が悪く、観光客とのすれ違い等が難しい場面があったため、施設だけではなく、見学地のバリアフリーの情報も事前に詳しく調べておく必要がある。

また、アンケートにて、「母親と旅行に来ることができるなんて思ってもなかった。」といった回答もあり、参加者に大変好評であった。

一方、例年参加者が固定化されてきているため、更なる周知と、新規希望者が増えるような企画が必要である。

## 7 上田市ファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）

【令和4年度事業費】 4,750千円

### 【事業概要】

子育ての手助けをして欲しい人と、子育てのお手伝いをしたい人が会員として登録し、子育ての相互援助を有償で行う会員組織。日常的な子育てのお手伝いのほか、子育てに関する講習会や会員相互の交流を深めるための交流会等を開催している。

### 事業実績

- (1) 前期講習会  
5月26日(木)、27日(金)、30日(月)、31日(火) 延べ54人
- (2) 後期講習会  
10月14日(金)、17日(月)、18日(火)、19日(水) 延べ52人
- (3) 第1回会員交流会 9月9日(金) 参加者 24人  
内容「体組成測定と安眠ヨガ」
- (4) 第2回会員交流会 11月9日(水) 参加者 13人  
内容「保湿力バツグン！シアバターたっぷりクリーム作り」
- (5) フォローアップ研修会 6月17日(木) 参加者 14人  
内容「不登校の理解と子どもへのかかわり方」
- (6) ファミサポひろば「登録会、親子で遊ぼう」 7月7日(水)  
4組10人の親子が参加
- (7) 提供・両方会員情報交換会「ファミサポカフェ」 3月3日(金) 参加者 24人
- (8) 上田市社協（上田市ふれあい福祉センターファミサポ託児スペース、2階和室、3階訓練室）でのお預かり  
ア 日数 43日  
イ 利用者 延べ50人  
ウ 提供会員 延べ48人  
エ 時間 122時間

別表							
(1) 年間事業実績							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
活動回数(回)	111	145	228	144	132	187	
活動時間(時間)	85	113.5	174	113	89	163.5	
利用会員数(人)	29	27	34	33	31	32	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数(回)	161	149	149	136	138	121	1,801
活動時間(時間)	138	127.5	130	133	145	147.5	1,559
利用会員数(人)	31	29	29	33	29	35	372
(2) 活動実績の推移							
	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
活動回数(回)	1,331	1,507	1,801				
活動時間(時間)	1,305.5	1,371.5	1,559				
利用会員数(人)	279	320	372				
(3) 会員数の推移							
	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
依頼会員(人)	435	447	425				
提供会員(人)	285	286	283				
両方会員(人)	54	55	48				
評価・課題							
<p>依頼会員、提供会員ともに、自宅での預かりに不安を感じる人が増え、公共施設での預かりを希望する人が多くなってきた。令和4年度から子育てひろばや児童センターと連携し、公共施設での預かりも数件行ってきた。安全で、おもちゃがたくさんある環境での預かりは好評で、今後も、依頼が増えていくことが予想される。</p> <p>令和4年度に初めて提供会員、両方会員による「情報交換会」を行った。普段サポートをされていて感じることを話し合い、情報を共有した。これからも、会員同士の横のつながりを強化していきたい。</p> <p>また、ここ数年増加している困難な状況下（育児不安、不登校、発達障がい等）にある親子の相談や依頼については、提供会員の負担が大きくなりすぎないよう他の機関とも連携し、ファミリー・サポート・センターとしてできる範囲でサポートを行っていきたい。</p>							

## 8 福祉推進事業

【令和4年度事業費】 4,009千円

### 社協お結びサポーター事業

#### 【事業概要】

住民同士によるふれあい、支え合いの仕組みづくりをお手伝いするために、平成28年度から丸子・真田・武石の3地区をモデル地区として「社協お結びサポーター」を配置した。

現在は、7地区(8人)に配置している。地域の福祉ニーズは何か、どんな福祉サービスが必要かをいっしょに考え、人と人を結ぶ、人と地域を結ぶ、人と機関を結びつけるお手伝いを行う。

事業実績	
<p>現在、城下・神科・豊殿・川辺-泉田・丸子・真田・武石の7地区8人のお結びサポーターを配置しており、自治会行事へ訪問しての活動調査や地区福祉推進委員協議会活動への参加等の活動を行っている。</p>	
(1)	お結びサポーター連絡会議 3月30日(木)
(2)	上田地区センター ア 自治会への訪問 8自治会 イ 活動回数 延べ 60回
(3)	丸子地区センター ア 自治会への訪問 1自治会 イ 活動回数 延べ 27回 ウ 子育て支援事業への参加 10回
(4)	真田地区センター ア 自治会への訪問 3自治会 イ 活動回数 延べ 5回
(5)	武石地区センター ア 自治会への訪問 1自治会 イ 活動回数 延べ 29回
評価・課題	
<p>令和4年度は、積極的に活動を再開している地区と活動を自粛している地区があり、活動に差異が生じている。社協地区担当職員が福祉推進委員や地区社協、民生委員・児童委員等との関わりを深め、お結びサポーターの活動の機会を増やしていきたい。また、実施したアンケート結果を踏まえ、今後のあり方を検討し方向性を示していきたい。</p>	

## 地区社協住民会議

### 【事業概要】

地域住民が主体となってさまざまな問題を協議し、住民が相互に地域福祉に関心と理解を深め、福祉のまちづくりを目指すため、全16地区社協で開催されている。

事業実績	
(1)	東部地区 コロナ禍のため中止
(2)	南部地区 10月27日(木) 大手町会館 26人 講演「南部地区の住民自治組織について」
(3)	中央地区 11月25日(金) 海野町会館 16人 講演「始まっています。上田市のスマートシティ化」
(4)	北部地区 11月23日(日) 魚よし 51人 講演「小河滋二郎博士の民生児童委員制度に尽くした業績について」
(5)	西部地区 10月21日(金) 西部公民館 25人 講演「オレンジカフェ『〇〇カフェ やすらぎ』の取り組みについて」

(6) 城下地区 11月17日(木) 城下地区防災センター 20人 講演「フードドライブの取り組みについて」
(7) 塩尻地区 10月14日(金) 塩尻地区公民館 38人 講演「防災対策について」
(8) 川辺・泉田地区 10月5日(水) 川辺泉田防災センター 31人 地域の防災力をアップしよう！(マイ・タイムラインをつくる)
(9) 神川地区 10月15日(土) 神川公民館 50人 地域の防災力をアップしよう！(マイ・タイムラインをつくる)
(10) 神科地区 コロナ禍のため中止
(11) 豊殿地区 コロナ禍のため中止
(12) 塩田地区 11月11日(金) 塩田公民館 70人 講演「超高齢化社会到来！人とのつながりと地域のあり方」
(13) 川西地区 11月7日(月) 川西公民館 30人 講演「自分の健康状態を知ろう」
(15) 丸子地区 11月9日(水) 上田市丸子文化会館 57人 講演「電話でお金詐欺の現状と対策について」
(16) 真田地区 11月5日(土) 真田中央公民館 80人 講演「認知症を支える真田のまちづくり」
(17) 武石地区 11月12日(土) 上田市武石地域総合センター 29人 講演「上田地域(武石地域)の自然災害を地形や地質・ハザードマップなどに学ぶ」
<b>評価・課題</b>
<p>高齢者が抱える身近な問題や防災に関する内容など、さまざまなテーマで住民会議を行った。講演を聴くだけでなく、個人ワークを取り入れる住民会議もあり、地区ごと工夫を凝らした取組が行われた。</p> <p>今後も講演だけでなく、個人ワークやグループワークも取り入れながら、地区担当職員も積極的に企画に参画し、連携しながら行っていきたい。</p>

## 住民支え合いマップづくり

### 【事業概要】

地図上に高齢者や障がい者などで支援が必要となる「要援護者」や、要援護者を支援する「支援者」、避難所などの地域の資源情報を記載することにより、日ごろの地域での支え合い活動、共助の仕組みづくりに活用するもので、「いざ」という時の災害時の避難行動等につなげていく。

事業実績			
(1) 住民支え合いマップ作成実施自治会状況			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
協定書締結自治会数	5	6	0
完成自治会数	6	13	4
ア 協定書締結自治会数	合計 182 自治会		
イ 住民支え合いマップ完成自治会数	合計 228 自治会		
ウ 住民支え合いマップ更新自治会数	92 自治会		

評価・課題

住民支え合いマップは、近年の自然災害増加に伴い、災害時の備えとしての声は高いが、日常の支え合い活動のつながりが、災害時の支援にもつながってくる。そのため、今後も作成や更新も含め、地域内での支え合い活動と住民支え合いマップを一体的に行えるよう取り組んでいきたい。

また、更新が滞っている自治会については地区担当職員から、他の自治会の取組を周知し更新を促していきたい。

更に、住宅地図にハザードマップを取り入れることを検討し、日常の見守り活動の対象者が、災害時の避難検討にも役立つようなシステムを検討していきたい。

## 車いす、特殊寝台貸出事業

### 【事業概要】

#### (1) 車いす貸出し事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が通院、外出等で必要な場合、1か月を目途に無料で貸し出している。

#### (2) 特殊寝台貸与事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が一時的に日常生活を営むことが困難になった場合、3か月を目途に無料で貸し出している。

### 事業実績

#### (1) 車いす貸出し事業 貸出件数

地区	上田	丸子	真田	武石	合計
令和2年度(件)	141	40	8	1	190
令和3年度(件)	113	33	9	1	156
令和4年度(件)	126	36	21	3	186
令和4年度保有台数(台)	56	29	19	3	107

※ 上田地区保有台数 貸出用36台、体験用20台

※ 丸子地区保有台数 貸出用20台、体験用9台

※ 真田地区保有台数 貸出用8台、体験用11台

#### (2) 特殊寝台貸与事業 貸出件数

地区	上田	丸子	真田	武石	合計
令和2年度(件)	12	3	1	8	24
令和3年度(件)	8	2	0	1	11
令和4年度(件)	4	1	0	4	9
令和4年度保有台数(台)	3	2	1	3	9

## その他(高齢者福祉事業)

事業実績
<p>(1) 真田地区センター</p> <p>ア 一人暮らし高齢者親睦会の開催</p> <p>(ア) 役員会 5月26日(木)開催 令和3年度事業報告、令和4年度事業計画案について</p> <p>(イ) ふれあいの旅 10月13日(木)開催 バスで巡る「道の駅あおき、きのこ料理、生島足島神社の旅」 参加者17人</p> <p>(ウ) 秋の親睦会 11月17日(木) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>(エ) 春の親睦会 3月3日(金)開催 おとぎの会による人形劇・マジックショー及び交流会 参加者20人</p> <p>(2) 武石地区センター</p> <p>ア 高齢者サロン事業 高齢者サロン(楽しい会)は、コロナ禍のため休止した。介護予防体操を20回実施 参加者：延べ653人</p> <p>イ 武石地域敬老会事業 武石地域の65歳以上の方を対象に敬老会を計画したが、コロナ禍のため中止した。</p>
評価・課題
<p>(1) 真田地区センター</p> <p>真田地域一人暮らし高齢者親睦会では、新型コロナウイルス感染警戒レベルの状況をみながら参加人数を制限して「ふれあいの旅」と「親睦会」を開催することができた。3年ぶりの開催となったことから待ちかねていた会員には大変喜ばれた。</p> <p>一方で運転免許証返納等により交通手段がない会員も増えており、会場までの送迎も含め開催方法の見直しも今後の課題となっている。</p> <p>また、ボランティアから寄附された絵手紙を一人暮らしの高齢者に送り好評であった。</p> <p>引き続き、親睦会などを通じた会員の安否確認やつながれる方法を工夫していきたい。</p> <p>(2) 武石地区センター</p> <p>高齢者サロン(楽しい会)はコロナ禍により休止したが、介護予防体操は実施した。武石地域敬老会はできる範囲で工夫をしながら行っていきたい。</p> <p>また、高齢者サロンはあり方を市ととともに検討したい。</p>

## 9 点字・声の広報発行事業(市受託事業)

【令和4年度事業費】 273千円

### 【事業概要】

広報うえだ、議会だより、社協うえだの内容を点訳やテープへの録音により、視覚障がい者へ情報提供を行う事業

事業実績			
(1) 点字広報			
ア	広報うえだ (月1回発行)	利用者	12人
イ	議会だより (年4回発行)	利用者	8人
ウ	社協うえだ (隔月発行)	利用者	17人
エ	丸子自治センターだより	利用者	5人
(2) 声の広報			
ア	広報うえだ (月1回発行)	CD利用者	10人
		カセット利用者	6人
イ	議会だより (年4回発行)	CD利用者	8人
		カセット利用者	7人
ウ	社協うえだ (隔月発行)	CD利用者	10人
		カセット利用者	7人
エ	丸子自治センターだより	CD利用者	5人
		カセット利用者	3人
評価・課題			
ボランティア団体に御協力いただき、点訳・音訳した広報を発行することができた。			
課題は、転居や死亡等により利用者が減少している。今後も必要としている人に情報を届けられるよう、市や関係団体と連携して対象者の把握を行い、事業の周知に努める。			

## 10 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

【令和4年度事業費】 4,056千円

### 【事業概要】

認知症の高齢者、知的または精神に障がいのある方で、判断能力が十分でない方が、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用などに関わる相談や援助、日常的な金銭管理のお手伝いをし、自立生活の支援を行う。

事業実績			
(1) 日常生活自立支援事業			
※ 別表参照			
(2) 金銭管理・財産保全サービス			
ア	契約件数	0件	
別表			
(1) 相談内容(単位:件)			
	内 容	令和2年度	令和3年度
	認知症のお年寄りに関する相談	1,124	1,002
	知的に障がいのある方に関する相談	3,526	3,916
	精神に障がいのある方に関する相談	3,206	3,727
	その他(成年後見制度に関する問い合わせ等)	32	83
	合 計	7,888	8,728
		令和4年度	10,100

(2) 方法(単位：回)

内 容	令和2年度	令和3年度	令和4年度
専門員訪問調査回数	287	246	195
生活支援員援助回数	1,643	1,670	1,803

(3) 契約状況(単位：件)

内 容	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規契約数	8	8	10
解約件数	10	14	10
事業開始からの契約件数	232	240	250
事業開始からの解約件数	155	169	179
現在の利用者数	77	71	71

評価・課題

事業の利用を必要としている方が多く、新規契約数も多かったが、契約者の死亡による解約のほか、成年後見制度への移行や、長和町社協などへの移管による解約もあり、全体的な件数に大きな変化はなかった。令和4年度は、長和町社協へ2件のケースを移管し、残りについても令和5年度中に移管予定である。青木村社協についても、今後、町村社協内で地域の住民は地域で守る体制を構築できるよう調整していきたい。

一方で、本事業を利用することにより、今まで関わってきた支援者との関わりが薄くなり、社協だけの支援になってしまうケースもある。社協だけの支援にならないよう、利用者及び支援者との信頼関係の構築や関係者との情報共有に努めたい。

また、金銭管理ができないという理由だけで当事業を利用したいという関係機関からの相談が多く、行政含め関係機関への事業周知が今後の課題となる。

金銭管理・財産保全サービスについては、日常生活自立支援事業で補完できるため、廃止の方向で検討している。

## 1 1 地域ふれあい事業

【令和4年度事業費】 32,372千円

### 地域ふれあい事業（市補助事業）

#### 【事業概要】

地域のさまざまな人々がお互いに助け合い交流することにより、住民の連帯感を高め、それぞれの地域の特性に応じた福祉サービスを住民参加により自主的に推進し、明るく活力ある福祉社会を創造し、近隣のつながりを補うことを目的として事業を実施している。

この事業は、「ふれあいのまちづくり事業」として平成3年度から平成7年度までの5年間は、国の指定を受けて事業を進めた。指定終了後も、市の補助事業となり、平成15年度からは「敬老行事自治会委託事業」と統合され、名称が「地域ふれあい事業」となり、現在に至っている。

事業実績				
	(数字は自治会数)			
実施内容	上田地区センター	丸子地区センター	真田地区センター	武石地区センター
世代間交流に関する事業	64	36	7	11
生きがいづくり事業 (茶話会、会食会、健康体操を含む)	87	23	13	6
マップ作り・更新	30	3	0	9
広報・啓発活動	14	1	2	0
学習講座	24	3	2	0
訪問活動(配食含む)	124	28	34	14
敬老会	13	12	2	0
ボランティア活動	17	3	0	0
環境整備事業	46	17	1	7
子育て支援に関する事業	40	28	2	0
その他	18	11	2	0
評価・課題				
<p>地域ふれあい事業は、自治会ごとに、地域の特性を生かしたさまざまな活動が行われている。コロナ禍で、訪問事業へ切り替える自治会が多くあったが、花鉢に子どもたちからのメッセージを添えて高齢者へお渡しするなど、さまざまな工夫を凝らしていた。</p> <p>自治会によって、ふれあいの会役員の構成人員に違いがあり、活動にも差異がみられる。今後の活動に役立てられるよう、社協地区担当職員が福祉推進委員等と連携を取り、広報紙等を活用しながら、他の自治会の活動状況などを提供していきたい。</p>				

## 福祉推進委員

### 【事業概要】

地域における福祉の推進を図るため、各自治会から推薦いただき、社協会長が委嘱している。自治会役員、民生委員・児童委員とともに地域の実情に応じたさまざまな福祉活動を行っている。

事業実績	
(1)	福祉推進委員連絡協議会 6月1日(水)、12月13日(火)
(2)	福祉推進委員全体研修会 7月6日(水) サントミュージゼ 参加者 170人 内 容：講演「医療側から見たコロナ禍でも地域活動を止めない活動について」 講 師：諏訪中央病院副委員長 兼 在宅・地域ケアセンター長 高木 宏明氏
(3)	福祉推進委員講習会 7月13日(水) 上田市丸子ふれあいステーション 参加者 22人 8月 3日(水) 上田市ふれあい福祉センター コロナ禍のため中止 8月 5日(金) 上田市真田総合福祉センター コロナ禍のため中止 8月20日(土) 上田市ふれあい福祉センター コロナ禍のため中止 8月31日(水) 上田武石地域総合センター コロナ禍のため中止

## 評価・課題

福祉推進委員全体研修会、福祉推進委員講習会への参加を促した。講習会はコロナ禍のためほとんど中止になったものの、全体研修会には多くの方に参加していただいた。

地域における福祉の推進を図るために委嘱されているが、自治会の中での立場もあいまいなため、活動できていない方もいる。地域の担い手が不足し、受け手がいない中で、福祉推進委員を引き受けざるを得ない実態や福祉推進委員と自治会の中での関係性が不明瞭な場合がある。今後のあり方について、関係者間で検討していく必要がある。

## 1 2 上小圏域成年後見支援センター事業(上田市・東御市・長和町・青木村受託事業)

【令和4年度事業費】 26,395千円

### 【事業概要】

上小圏域（上田市、東御市、長和町、青木村）において、認知症、精神障がい、知的障がい等の理由により判断能力の不十分な住民が安心して地域で生活ができるように、成年後見制度の利用及び権利擁護を支援するセンターの運営と、国の基本計画で示されている中核機関の役割を上小圏域内市町村とともに担い、成年後見制度利用支援体制の構築及び成年後見制度の利用促進を図り、住民の権利擁護を推進することを目的としている。

### 事業実績

#### (1) 広報業務

ア 成年後見制度等の普及及び啓発に関すること。

実施回数 3回、参加者合計 61人

#### (2) 相談業務

ア 支援対象者及びその関係者からの成年後見制度等に関する相談対応

イ 地域における相談体制の強化を図るための研修会の開催

実施回数 3回、参加者合計 102人

#### (3) 利用促進業務

ア 行政職員等からの市町村長申立支援に関すること。

上田市 8件（高齢者 5件、障がい者 3件）

このうち、3件については法人後見として受任した。

イ 成年後見、保佐及び補助の申立支援に関すること。

新規相談 111人、継続相談 259人：合計 370人

ウ 第三者後見人の紹介に関すること。

後見人交流会の開催

日時：令和4年11月18日（金）

内容：家庭裁判所の職員によるプチ講座、交流会

参加人数：12人

エ 後見人等候補者の推薦に関すること（受任調整に関すること。）

適切な後見人等候補者推薦を行う小委員会を 10 回開催した。

検討事案件数 16 件

依頼先別件数

弁護士会 1 件、司法書士会 3 件、税理士会 0 件、行政書士会 0 件、社会福祉士会 6 件、法人後見 6 件

オ 法人後見に関すること。

後見報酬が見込めない方や、第三者後見人が引き受けることが困難な方に対して、上田市社会福祉協議会が法人として後見業務を引き受けた。

令和 4 年度新規受任件数 5 件（平成 25 年度からの 累計 95 件）

継続受任件数 66 件

カ 市民後見人の養成、受任調整及び監督業務に関すること。

市民後見人 7 人（平成 31 年度からの 累計 9 人）

(4) 後見人等支援業務

ア 親族後見人、第三者後見人等からの成年後見制度に関する手続支援に関すること。

イ 親族後見人、第三者後見人等への相談支援に関すること。

(5) 地域連携ネットワークの構築に関すること。

地域連携ネットワーク協議会準備会の開催

日 程：令和 4 年 8 月 25 日（木）

令和 4 年 10 月 27 日（木）

令和 5 年 3 月 16 日（木）

参加者：運営委員

(6) 権利擁護の促進に必要な事業に関すること。

(7) その他、センターの運営に関し、必要な事務に関すること。

運営委員会 3 回、小委員会 10 回、市民後見推進委員会 1 回、会議参加 7 回、研修会参加 12 回

### 別表

(1) 相談件数及び相談者の状況

ア 相談件数(単位：件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
新規相談	11	7	10	10	7	8	
継続相談	33	23	22	27	14	21	
相談業務合計	44	30	32	37	21	29	
法人後見業務総件数	594	553	741	633	658	613	
総計	638	583	773	670	679	642	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
新規相談	9	9	9	9	13	9	111
継続相談	15	14	17	34	28	11	259
相談業務合計	24	23	26	43	41	20	370
法人後見業務総件数	552	744	661	666	613	665	7,693
総計	576	767	687	709	654	685	8,063

イ 方法別(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
来所	6	5	3	4	4	4	
電話	28	22	19	28	14	19	
訪問	7	2	6	4	2	5	
ケース会議	1	0	3	1	1	1	
その他	2	1	1	0	0	0	
合計	44	30	32	37	21	29	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	7	6	4	5	13	3	64
電話	11	8	13	30	17	10	219
訪問	5	6	7	3	7	7	61
ケース会議	1	2	0	1	2	0	13
その他	0	1	2	4	2	0	13
合計	24	23	26	43	41	20	370

ウ 対象者別(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
認知症高齢者	8	6	7	13	7	6	
知的障がい者	3	3	3	3	1	0	
精神障がい者	26	15	15	12	8	17	
身体障がい者	1	0	0	1	0	1	
複合	2	0	0	1	0	1	
任意後見	0	1	2	0	3	2	
その他	4	5	5	7	2	2	
合計	44	30	32	37	21	29	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症高齢者	12	8	8	15	19	12	121
知的障がい者	1	3	0	3	0	0	20
精神障がい者	6	6	6	21	13	4	149
身体障がい者	1	0	4	0	0	0	8
複合	0	4	5	0	2	3	18
任意後見	3	2	1	4	4	1	23
その他	1	0	2	0	3	0	31
合計	24	23	26	43	41	20	370

エ 相談件数の推移(単位：件)

	新規相談	継続相談	法人後見業務	合計
令和2年度	88	523	9,472	10,083
令和3年度	62	237	6,876	7,175
令和4年度	111	259	7,693	8,063

オ 方法別の推移(単位：件)

	来所	電話	訪問	ケース会議	その他	合計
令和2年度	56	415	106	25	9	611
令和3年度	33	176	70	13	7	299
令和4年度	64	219	61	13	13	370

カ 対象者別の推移(単位：人)

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	身体障がい者	複合	任意後見	その他
令和2年度	261	60	196	10	42	7	35
令和3年度	119	21	92	3	25	14	25
令和4年度	121	20	149	8	18	23	31

(2) 法人後見業務 相談件数及び相談者の状況

ア 類型(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
後見	255	229	282	295	302	307	
保佐	305	288	415	316	342	280	
補助	34	36	44	22	14	26	
合計	594	553	741	633	658	613	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
後見	259	329	336	274	257	286	3,411
保佐	250	356	294	364	324	344	3,878
補助	43	59	31	28	32	35	404
合計	552	744	661	666	613	665	7,693

イ 方法別(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
来所	65	53	47	33	50	41	
電話	272	265	391	305	308	314	
訪問	243	218	258	267	283	234	
ケース会議	5	1	12	11	4	8	
その他	9	16	33	17	13	16	
合計	594	553	741	633	658	613	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	45	48	43	26	28	33	512
電話	262	386	321	333	284	334	3,775
訪問	213	259	243	276	264	267	3,025
ケース会議	11	5	9	1	8	8	83
その他	21	46	45	30	29	23	298
合計	552	744	661	666	613	665	7,693

ウ 対象者別(単位：件)							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
認知症高齢者	178	150	201	141	169	149	
知的障がい者	213	239	299	248	306	279	
精神障がい者	165	144	221	217	160	158	
身体障がい者	0	0	0	0	0	0	
複合	38	20	20	27	23	27	
その他	0	0	0	0	0	0	
合計	594	553	741	633	658	613	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症高齢者	125	157	151	127	134	132	1,814
知的障がい者	250	311	273	291	238	256	3,203
精神障がい者	159	250	202	217	217	243	2,353
身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0
複合	18	26	35	31	24	34	323
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	552	744	661	666	613	665	7,693

エ 市町村別(単位：件)							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
上田市	436	432	600	478	486	466	
東御市	72	38	63	54	46	72	
長和町	81	80	77	90	117	70	
青木村	5	3	1	11	9	5	
その他	0	0	0	0	0	0	
合計	594	553	741	633	658	613	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上田市	413	583	507	529	519	553	6,002
東御市	53	76	65	56	39	44	678
長和町	81	79	85	78	51	63	952
青木村	5	6	4	3	4	5	61
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	552	744	661	666	613	665	7,693

オ 類型の推移(単位：件)				
	後見	保佐	補助	合計
令和2年度	3,186	6,175	111	9,472
令和3年度	2,817	3,834	225	6,876
令和4年度	3,411	3,878	404	7,693

カ 方法別の推移(単位：件)						
	来所	電話	訪問	ケース会議	その他	合計
令和2年度	684	5,213	3,089	77	409	9,472
令和3年度	644	3,353	2,561	72	246	6,876
令和4年度	512	3,775	3,025	83	298	7,693

キ 対象者別の推移(単位：人)						
	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	身体障がい者	複合	その他
令和2年度	1,287	4,150	2,306	4	1,604	121
令和3年度	1,654	2,500	1,728	0	989	5
令和4年度	1,814	3,203	2,353	0	323	0
評価・課題						
<p>成年後見制度セミナーを開催し、81人が参加した。講談師の神田織音氏を講師に招き、講談を交え地域住民に楽しく成年後見制度を学んでもらう機会となった。</p> <p>また、地域連携ネットワーク協議会準備会を3回行い、委員や所掌事項、委嘱期間等の検討、要綱の整備といった地域連携ネットワーク協議会設置のための体制整備を行った。令和5年度からは具体的に上小圏域内の権利擁護課題について委員とともに検討を行っていききたい。</p> <p>更に、地域の相談力強化のため、成年後見制度勉強会を3回開催した。行政と協働で開催し、連携を図ることができたが、内容が難しすぎたという意見も聞かれたため、今後の課題としていききたい。今後も定期的に勉強会を開催し、地域の相談力強化を図っていききたいと考えている。</p>						

### 13 “まいさぼ上田” 上田市生活就労支援センター事業(市受託事業)

【令和4年度事業費】	生活困窮者自立相談支援事業	22,850千円
	生活困窮者家計改善支援事業	3,805千円
	生活困窮者就労準備支援事業	3,989千円

#### 【事業概要】

主任相談支援員を兼ねた所長1人と相談就労支援員4人及び家計改善支援員1人、就労準備支援員1人を配置して生活困窮者に対する包括的な相談・支援を行っている。

#### (1) 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者等が困窮状態から早期に脱却するため、支援対象者の自立と尊厳を確保しつつ、その状況に応じて包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における早期把握のためのネットワークを構築し、支援対象者の自立・就労支援を促進する。

#### (2) 生活困窮者家計改善支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者等のうち、家計収支の均衡が取れていないなど、家計の問題を抱えている支援対象者に対して、家計の視点から包括的かつ継続的な支援により、生活の改善を図ることで家計収支の改善や家計管理能力の向上を図る。

#### (3) 生活困窮者就労準備支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者等のうち、直ちに就労することが難しい者に対して、一般就労に向けた準備として必要な生活習慣の形成、社会的能力の習得、就労体験の提供等の支援を実施し、一般就労に向けた基礎的な能力を身につける。

事業実績

(1) 相談者数及び相談件数

※ 別表参照

(2) 各種講座の開催

ア ペアレント・トレーニング講座 (全 10 回)

ひきこもり当事者家族を対象に開催 延べ参加人数 54 人

イ ペアトレ\*ぷらす講座 (6 回)

ひきこもりやニートの若者といっしょに生活をしている家族向けの内容で開催

延べ参加者数 68 人

ウ ボランティア活動 (毎月 1 回程度)

社会参加をするきっかけづくりとしてボランティア活動を実施

延べ参加人数 74 人

エ 体操くらぶ (毎月 1 回)

主にひきこもり当事者を対象に開催 延べ参加人数 23 人

オ YOLO'S 勉強会 (全 10 回)

e スポーツ等を取り入れ、コミュニケーション力向上を目指す講座を開催

延べ参加人数 50 人

カ My ふおと倶楽部 (全 6 回)

ひきこもり当事者を対象に、趣味を切り口とした講座を開催 延べ参加人数 28 人

別表

(1) 相談件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
新規相談者数(人)	35	36	21	27	47	40	
延べ継続相談者数(人)	175	176	175	146	176	186	
延べ相談件数(件)	549	656	603	526	539	666	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
新規相談者数(人)	21	33	19	18	21	31	349
延べ継続相談者数(人)	161	181	178	152	152	188	2,046
延べ相談件数(件)	576	638	634	626	547	654	7,214

(2) 相談者数及び相談件数の推移

ア 新規相談者数(単位：人)

	相談者数
令和 2 年度	948
令和 3 年度	584
令和 4 年度	349

イ 延べ継続相談者数(単位：人)

	相談者数
令和 2 年度	2,056
令和 3 年度	2,270
令和 4 年度	2,046

ウ 延べ相談件数(単位：件)			
	相談件数		
令和2年度	9,208		
令和3年度	7,933		
令和4年度	7,214		

(3) 住居確保給付金申請状況

	新規申請者数 (単位：人)	延べ申請件数 (単位：件)	支給総額 (単位：円)
令和2年度	63	111	10,257,300
令和3年度	27	84	8,736,400
令和4年度	17	40	5,359,500

**評価・課題**

継続的に開催をしている講座に加えて、新たな支援メニューを増やすことができた。講座を継続的に行うことで参加者同士の関係性の構築、講座への参加をきっかけとした新規相談につながっている。

相談件数や住居確保給付金の申請件数は例年と比べて減少傾向となっているが、相談者の生活課題が重複しており、単一の機関だけでは、対応が困難なケース、長期的に支援が必要なケースが増えている。関係機関との連携による支援体制の構築、連携強化を行っていく必要がある。

自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業を一体的に実施することで相談の間口を広げることができている。複雑化した課題がある相談者に寄り添えるよう、職員が計画的に研修等へ参加をし、相談力の強化をしていくことが取組課題となる。

また、社会資源の把握、開発等に努めるとともに、相談者の状況に合わせた柔軟な対応ができるよう、支援メニューの見直しや拡充に取り組んでいきたい。

## 14 有償在宅福祉サービス事業

【令和4年度事業費】 2,364千円

### 福祉移送サービス事業

#### 【事業概要】

通常バス、タクシー等の公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障がい者等（車いす利用者を含む。）の外出の利便を図り、社会参加の促進及び社会福祉の向上に寄与するため福祉車両で移送サービスを行っている。

事業実績			
(1) 上田地区センター			
ア 登録者数 (単位：人)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用会員数	103	63	70
協力会員数	7	6	6

イ 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用回数(回)	48	51	51	49	60	46	
利用会員数(人)	16	13	12	14	14	15	
協力会員数(人)	5	5	5	5	5	5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(回)	58	52	64	49	39	27	594
利用会員数(人)	19	16	19	15	14	11	178
協力会員数(人)	5	6	7	7	6	6	67

ウ 上田福祉移送サービスの推移

利用回数(単位：回)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ	640	587	594
月平均	53.3	48.9	49.5

利用会員数(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ	174	180	178
月平均	14.5	15.0	14.8

協力会員数(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ	46	58	49
月平均	3.8	4.8	4.1

(2) 丸子地区センター

ア 登録者数(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用会員数	31	31	33
協力会員数	10	10	8

イ 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用回数(回)	38	44	49	35	53	53	
利用会員数(人)	15	12	19	16	13	16	
協力会員数(人)	5	6	5	4	4	5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(回)	49	47	55	43	36	39	541
利用会員数(人)	14	13	17	15	13	13	176
協力会員数(人)	5	5	7	7	6	6	65

ウ 丸子福祉移送サービスの推移

利用回数(単位：回)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ	457	677	541
月平均	38.1	56.4	45.1

利用会員数(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ	141	189	176
月平均	11.8	15.8	14.7

協力会員数(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ	58	58	65
月平均	4.8	4.8	5.4

(3) 真田地区センター

ア 登録者数(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用会員数	11	10	11
協力会員数	11	8	8

イ 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用回数(回)	2	2	3	1	1	1	
利用会員数(人)	1	1	1	1	1	1	
協力会員数(人)	1	1	1	1	1	1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(回)	1	1	6	0	1	2	21
利用会員数(人)	1	1	2	0	1	1	12
協力会員数(人)	1	1	1	0	1	1	11

ウ 真田福祉移送サービスの推移

利用回数(単位：回)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ	41	33	21
月平均	3.4	2.8	1.8

利用会員数(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ	16	11	12
月平均	1.3	0.9	1.0

協力会員数(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ	18	16	11
月平均	1.5	1.3	0.9

評価・課題

(1) 上田地区センター

協力員と個々に情報交換を行うことで、利用者に寄り添った安全な送迎活動ができた。

協力員によって安全やマナーに対する意識に差がでないように、外部から講師を招き安心で安全な送迎を行うための講習会を開催した。

現在、送迎できる範囲が「上田市内及び隣接する市町村」としているが、片道の距離で設定することで利用の幅が広がる可能性があるため検討したい。

(2) 丸子地区センター

丸子地区は協力員の多くが仕事を持ちながら活動しており、安定して依頼できる方が少ない。  
また、最近の利用登録者の傾向として、本人、家族とも高齢化により健康状態が悪化し、通院が困難になり移送を依頼するケースが増えており、協力員への負担も増している。今後も継続して事業を実施していくためには、継続的な協力員の募集と定着が課題である。

(3) 真田地区センター

サービスの利用会員数は1件増となったが、協力員数の減少と高齢化が進んでいることから協力員の確保も課題である。今後も、感染症対策に配慮した運行に努める。

## ご用聞きサービス事業

### 【事業概要】

上田市にお住まいの高齢者世帯及び障がい者世帯を対象に、日常生活を送る上で困っていることなどをご近所の助け合いや支え合いにより支援することを目的とした有償福祉サービスである。現在、利用会員と協力会員とのマッチングを行い、協力会員の方に協力をいただき活動を行っている。

事業実績			
令和4年度	利用会員数	101人	
	利用回数	97件	
	協力会員数	48人	
【活動内容の内訳】			
買物代行	2件	ゴミ出し	69件
		草取り	8件
雪かき	9件	蛍光灯・電球の交換	2件
		その他(剪定等)	7件
(2) 推移			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用会員数(人)	98	102	101
利用回数(件)	199	157	97
協力会員数(人)	47	49	48

### 評価・課題

令和4年度は、定期利用していた利用会員が入院や転居をされ、利用回数が減少しているが、新規で単発の利用が数回あった。

事業の周知に当たり、広報紙「社協うえだ」に協力会員の募集記事を掲載したり、豊殿地区では、豊殿まちづくり協議会福祉部会が発行した「暮らしのお手伝い」のリーフレット及び川辺・泉田地区の川辺泉田まちづくり協議会福祉部会が発行した「かわせんシニアくらしの便利情報」にご用聞きサービス事業を掲載してもらった。

一方、相談があっても協力会員がいない地区では、すぐに活動に結びつかないなどマッチングの難しさがある。更に、他の事業者や地域包括支援センター、民生委員・児童委員などの関係機関と連携し、相談者の困りごとに対応していく必要がある。

## 15 心配ごと相談事業

【令和4年度事業費】 323 千円

### 【事業概要】

どんな悩みでも、誰でも、いつでも、気軽に相談できる安心のネットワークの一環として、秘密厳守、相談はすべて無料で相談者とともに考え、良い解決方法を見出すため実施している。

#### (1) 心配ごと相談事業

全市民を対象にさまざまな相談（介護、福祉サービス、家庭内の問題等）に応じ、関係機関と連絡を密にして、問題の解決に努める。

#### (2) 法律相談事業

弁護士によるさまざまな法的な悩みを解決する無料の法律相談（予約制）

事業実績	
1	心配ごと相談
(1)	相談員：各地区センター1人
(2)	相談日：毎週月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
(3)	相談件数：70件
(4)	相談内容：借金、生活困窮、相続、子どもの就労、家族内トラブル、友人関係、住宅、健康医療など
2	法律相談
(1)	上田地区センター
ア	相談員：弁護士1人（上田在住会からの派遣で毎月異なった弁護士が対応）
イ	相談日：毎週第3土曜日 午前10時～正午
ウ	開設日数：11日
エ	相談件数：57件
オ	相談内容：離婚、相続、金銭トラブル、不動産問題、労働問題、近隣トラブル、医療費請求、連帯保証人など
(2)	丸子地区センター
ア	相談員：弁護士1人
イ	相談日：2か月に1回を目安に実施 午後1時30分～午後3時30分
ウ	開設日数：6日
エ	相談件数：16件
オ	相談内容：離婚、相続、土地の売却トラブルなど
評価・課題	
心配ごと相談は、地域の住民の方の身近な相談窓口として、相談者の気持ちに寄り添った対応に努めた。相談内容によっては専門機関と連携を図りながら、相談者が問題解決の糸口を見つけることができるよう対応した。	
また、法律相談については、広報紙による呼びかけ他、民生委員・児童委員の地区定例会において積極的に周知活動を行った。	

## 16 結婚相談事業

【令和4年度事業費】 1,446千円

### 【事業概要】

独身男女の出会いを提供するお手伝いとして、結婚相談や、婚活パーティーなどを行っている。  
上田地区と丸子地区で相談を行っており、どちらの窓口でも登録を受け付けている。登録・相談いずれも無料で行っている。

また、県内広域での紹介を希望する方は「ながのマッチングシステム」への登録も受け付けている。

#### [上田地区]

上田市ふれあい福祉センター

毎週水曜日 午前10時～午後3時

毎週第2土曜日 午前10時～午後3時

#### [丸子地区]

丸子ふれあいステーション

毎週第4土曜日 午前10時～午後3時

### 事業実績

#### (1) 結婚相談事業

ア 相談員：4人

イ 開設日数：74日

ウ 相談件数：1,490件 来所者数（延べ）515人

エ 登録者：男性455人 女性179人 計634人

オ 成立組数：見合い49組 結婚4組

#### (2) ながの結婚マッチングシステム

自分のスマートフォンを使って、県内全域から相手を検索、スマートフォンから気になった相手に申し込みをして、日程調整を直接行い1対1でお見合いができるシステム

ア 登録者数 男性 22人 女性 7人

イ 相談来所者数 延べ25人

#### (3) お見合企画

ア 社協の婚活企画 ～パラスポーツポチャを通じて愛を育もう～

開催日時：7月10日（日） 午後1時30分～午後4時30分

開催場所：塩田の里交流館 愛称「とっこ館」

参加者：男性24人 女性13人 計37人（25～39歳以下対象）

カップル成立数：5組

提供：ふれあいカフェ武石（アイスコーヒー・ホットコーヒー）

開催日時：10月1日（土） 午後1時30分～午後4時30分

※40代男女を対象としていたが、コロナ禍のため中止

イ 自分発見の魅力アップセミナー

開催日時：12月4日（日） 男性セミナー：午前10時～正午

女性セミナー：午後1時30分～午後3時30分

参加者：男性15人 女性4人

講師：新潟県「あなたの婚活」応援プロジェクトイベントアドバイザー

NPO法人新潟婚活応援団カクーン理事長 田原 洋子 氏

講演内容：「婚活のやり方、間違っていない!？」

～あなたの魅力をもっと引き出す術を身につけよう～

<p>ウ 「アロマ de クリスマスパティー」～気持ちも身体もほっこり♡バスボムを作ろう～  開催日時：12月18日（日）  前半の部：午前9時30分～午後零時30分  おおむね27～39歳までの独身の方が対象  参加者：男性9人 女性8人  後半の部：午後2時～午後5時  おおむね37～49歳までの独身の方が対象  参加者：男性14人 女性15人  バスボム作り、アロマレッスン講師：城間 友子 氏  司会：新潟県「あなたの婚活」応援プロジェクトイベントアドバイザー  NPO 法人新潟婚活応援団カクーン理事長 田原 洋子 氏</p>
<p>評価・課題</p>
<p>地域の方に気軽に相談利用していただけるよう、広報紙による周知に加え、民生委員・児童委員の地区定例会での呼びかけを随時行った。</p> <p>相談員が相談者の希望を理解し、気持ちに寄り添い適切なアドバイスを行ったことが、結婚の成立につながっているため、今後も相談員のスキルアップに努めていきたい。</p> <p>婚活イベントについては、7月はユニバーサルスポーツ「ボッチャ」を通じた交流会を実施した。体を動かす活発な交流は、参加者の距離を自然に縮め、非常に好評であった。</p> <p>また、12月はセミナーとパーティーを実施し、講師から婚活における第一印象アップの方法や、効果的なプロフィールの書き方の指導を受けた。婚活の現場での事例を沢山盛り込んだもので、理解しやすい内容であった。</p> <p>パーティーでは、セミナーの効果を実感できるとの声も多く、ニックネームOKのカップリングなしとしたことで、安心して参加できるとの声が多く聞かれた。</p> <p>今後も相談者を積極的に支援できるよう、相談員と職員のスキルアップや、ニーズに沿った企画の充実に努めたい。</p>

## 17 たすけあい資金貸付事業

【令和4年度事業費】 1,569千円

生活再建に向け世帯厚生を促進を図り、地域社会の福祉増進を図ることを目的に実施している。

### たすけあい資金

#### 【事業概要】

要保護世帯またはこれに準ずる世帯に対し、応急的に貸し付ける制度で、貸付限度額は5万円まで、無利子である。

事業実績
<p>低所得者、高齢者、障がい者を対象に資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、世帯の自立と更生に努めた。指導を行うことにより、世帯の自立と更生に努めた。</p>

(1) たすけあい資金貸付状況		
相談件数(件)	貸付件数(件)	貸付額(円)
93	42	1,522,460
評価・課題		
貸付後も生活再建されることなく、慢性的な困窮状態に陥っている方が多いため、長期滞納者に対して、状況確認や生活相談を行い、適切な償還指導や関係機関へのつなぎを行っていく。返済が難しい方や所在不明者は償還免除等を検討していく。		

## 生活福祉資金(県社協受託事業)

### 【事業概要】

#### (1) 総合支援資金

失業等により生計の維持が困難になった世帯に対して、再就職までの生活資金とした貸付である。

#### (2) 福祉資金

低所得世帯等に対し自立生活を送る上で一時的に必要であると認められた場合の貸付である。

#### (3) 教育支援資金

低所得世帯に対し高校、短大、大学または高等専門学校に就学するために必要な経費を対象とした貸付けである。

事業実績			
(1) 生活福祉資金貸付状況			
資金種類	相談件数(件)	貸付件数(件)	貸付額(円)
総合支援資金	156	52	22,380,000
福祉資金	426	84	13,595,000
教育支援資金	14	1	358,000
合計	596	137	36,333,000
別表			
(1) 生活福祉資金貸付状況の推移			
ア 相談件数(単位:件)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総合支援資金	798	1,091	156
福祉資金	2,251	767	426
教育支援資金	6	8	14
合計	3,055	1,866	596
イ 貸付件数(単位:件)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総合支援資金	480	385	52
福祉資金	749	209	84
教育支援資金	2	4	1
合計	1,231	598	137

ウ 貸付額（単位：円）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総合支援資金	238,150,000	167,350,000	22,380,000
福祉資金	118,792,000	29,816,000	13,595,000
教育支援資金	1,019,000	2,211,000	358,000
合計	357,961,000	199,377,000	36,333,000

評価・課題

生活福祉資金特例貸付が9月末で終了し、相談件数は減少傾向にあるものの、令和5年1月から特例貸付の償還が順次開始されたことに伴い、返済できずに、償還猶予の相談や、更なる貸付相談につながるケースは増えてきている。

今後も、相談時に本人の生活状況や家計状況を把握し、必要に応じてまいさぼ上田の家計改善事業支援員と連携し、家計の改善を図り、生活再建を行っていく必要がある。

## 18 ボランティア地域活動センター事業

【令和4年度事業費】 1,001千円

【事業概要】

地域住民のボランティア活動に関する理解を深めるとともに、あらゆるボランティアとの協働による育成援助とボランティア活動の推進を図ることを目的とする事業

事業実績

(1) 上田ボランティア地域活動センター

ア ニーズの把握

(ア) 相談活動によるニーズの把握

(イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握

イ 広報、啓発

(ア) 情報提供

ボランティアコーナー掲示板・社協ホームページでのボランティア情報提供、「社協うえだ」（偶数月の年6回全戸配布）へボランティア情報の掲載

(イ) 新聞等報道機関の活用

(ウ) 収集活動

使用済み切手整理後、海外支援団体（日本キリスト教海外医療協力会）及び国内NPO法人（誕生日ありがとう運動本部・世界の子どもにワクチンを日本委員会）へ29.96kg送付

(エ) ボランティア保険等の普及、保険への加入促進

・ボランティア活動保険 181件 2,696人

・ボランティア行事用保険 120件 2,885人

・上田市福祉ボランティア保険掛金補助金交付制度代理事務による補助 1,182人

## ウ 養成研修、組織化

### (ア) 各種講座の開催

- ・ユニバーサルスポーツ体験 モルック (2月17日) 1回開催
- ・傾聴講座 (9月13日、9月14日) 2回開催

### (イ) 上田ボランティア連絡協議会の活動支援

平成25年度から、事務局を上田ボランティア地域活動センターに設置し、事業の充実に向けて取り組んだ。新規会員を増やすため、より魅力のある活動を目指して会員同士の情報交換会や交流会を頻繁に行った。

- ・情報交換会 (6月15日、9月21日、10月19日、2月15日) 4回開催
- ・交流会 (5月18日、7月20日、11月16日、1月18日) 4回開催
- ・上小ブロックボランティアフォーラムへの参加 (11月26日)
- ・4地区合同交流会 (12月21日)
- ・上田市災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練への参加 (3月11日)

## エ 社会資源活用、ネットワーク促進

### (ア) ひざ掛の配布

製作：モチーフの会

対象者：高齢者及び重度障がい者

配布地区 神科地区 131枚 (配布地区は上田地区内を毎年順番に回している。)

### (イ) おうちでボランティア

コロナ禍でも行えるボランティア活動として、手紙や作品等を募集し、届いた作品を施設へ配布し、つながり作りを行った。

作成者：延べ2団体

作品：壁面飾り等 43点

届け先：市内福祉施設2か所

## オ 福祉教育の推進

### (ア) 社会福祉普及校の指定

内容： 児童・生徒が体験を通じて、社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助、社会連帯の思想を浸透させることを目的に、小・中学校及び高等学校を対象に、社会福祉の普及を推進する。普及校1校に対し活動費上限50,000円の補助を行い、それぞれ地域の実情に合わせ、特性を生かした活動を展開した。

指定校：小学校16校、中学校5校、高校5校 計26校

社会福祉普及校連絡会議 コロナ禍のため中止

個別に学校を訪問し、担当教員への事業説明のほか、意見交換を行った。

### (イ) 出前福祉体験事業

内容： 福祉体験を目的とした活動について、資材貸出、講師紹介及びハンディキャップ体験(車いす、高齢者擬似体験など)を学校等に出向いて行った。

対象： 小学校2件、中学校5件、企業2件

計9件 対象者669人

### (ウ) 福祉体験プログラムの展開

○サマーチャレンジボランティア (対象 上田地区の中学生・高校生)

- ・ユニバーサルデザイン勉強会とボッチャ体験 (7月27日) 参加者：31人
- ・児童センターボランティア (7月28日～8月12日) 参加者：14人

○スプリングチャレンジボランティア (対象 上田地区の中学生・高校生)

- ・上田市街エリアのゴミ拾い (3月18日、3月20日、3月23日) 参加者101人

カ 災害時の訓練、協力（上田地区）

（ア）災害救援ボランティア

災害救援ボランティア登録数 個人 67人 団体 22団体

災害救援ボランティア訓練及び研修

上田市の総合防災訓練、合同での実施は中止

社協職員、ボランティア連絡協議会会員のみでの実施

3月11日 上田市ふれあい福祉センター 2階 大会議室

内容：職員参集訓練、上田市災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練、非常食の持ち帰り

参加者：社協職員 34人、上田ボランティア連絡協議会会員 20人

キ 上田ボランティア地域活動センター運営委員会

（ア）運営委員会の開催

第19回上田市ボランティア地域活動センター運営委員会 6月20日（月）

第20回上田市ボランティア地域活動センター運営委員会 2月27日（月）

(2) 丸子ボランティア地域活動センター

ア ニーズの把握

（ア）相談活動によるニーズの把握

（イ）社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握

（ウ）企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

（ア）新聞等報道機関の活用

（イ）「鈴木クラジ文庫」による大型絵本等の貸出（31件 60冊）

（ウ）収集活動

使用済み切手整理中

（エ）ボランティア保険等の普及、加入促進

・ボランティア活動保険 27件 443人

・ボランティア行事保険 1件 60人

・サロン保険 21件 389人

・上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 422人

ウ 養成研修、組織化

（ア）各種講座の開催

・初めて学ぶ手話講座

内容：手話に興味を持つ市民を対象に、あいさつ等を学ぶ講座を実施した。

開催日：1月19日（木）参加者 13人

1月26日（木）参加者 11人

講師：上田市聴覚障害者協会 宮下きよ美氏

アシスタント 丸子手話サークル「手のひらの会」

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

（ア）丸子ボランティア連絡協議会の活動支援

・会員交流事業

視察研修、定期交流会、多文化共生事業は中止

・地域交流事業

5月23日（月）ボランティア連絡協議会総会

8月7日（日）丸子ボランティア連絡協議会講演会

内容：落語家立川談慶氏の講演「老後は非マジメのすすめ～落語人生～」

青木智恵子氏（立川談慶氏母）「ハローちいチャン」紙芝居

参加者：40人

(イ) その他の活動支援

・丸子モチーフの会

モチーフのひざ掛け配布の準備支援（通知送付、包装作業）

寝たきりで70歳以上、80歳以上で独居の方等に民生児童委員を通じてひざ掛けを配布した。

配布数114枚（対象地区：長瀬・依田・塩川地区）

・Eキャップの会（やさしい帽子の会）

闘病生活を送るガン患者の方にタオルの帽子を提供

提供数630枚（信州上田医療センター、佐久医療センター及び個人病院等）

・傾聴ボランティアまるこ

傾聴の記述により話を聴いてほしい人に寄り添うボランティア活動

利用者（個人宅、高齢者施設）※現在訪問を休止している。

・丸子珈琲倶楽部

男性ボランティアグループの育成と地域交流スペースの活用、ボランティアセンターの活動周知を目的に月1回「珈琲サロンさざなみ」の開催や出張サロンの実施

オ 福祉教育の推進

(ア) 社会福祉普及校の指定

児童・生徒が体験を通して、社会福祉への理解と関心を高め、日頃から助け合いの気持ちを育むことを目的として指定した。普及校1校に対し活動費50,000円までの補助を行った。（小学校4校、中学校2校、高校1校）

(イ) 出前福祉体験事業

・車いす体験

開催日：7月14日（木）

内 容：基本的な取扱い方法を学び、学年ごと分かれて介助者・体験者を交代で行う。

対象者：丸子北中学校「福祉委員会」16人（全学年）

・アイマスク体験

開催日：9月13日（火）

内 容：目が不自由な方への理解を深め、自分たちにできることは何かを考える。身近な点字や、アクセシブルデザインについて学び、高齢者や障がい者が住みやすい社会について考える。

対象者：丸子中央小学校「手話・点字クラブ」10人（4、5年生）

(ウ) 講師派遣（ボランティア団体）

派遣先：丸子中央小学校「手話・点字クラブ」7月19日（火）、8月30日（火）

講 師：点訳ボランティア「ブライユ丸子」

派遣先：丸子中央小学校「手話・点字クラブ」9月27日（火）、10月25日（火）

講 師：丸子手話サークル「手のひらの会」 金沢明子 氏

派遣先：丸子中央小学校 4・5年生 10月14日（金）、10月28日（金）

講 師：丸子手話サークル「手のひらの会」 金沢明子 氏

(エ) 福祉体験プログラムの展開

「サマー体験ボランティア2022」

※新型コロナウイルス感染症拡大ため中止（事前研修のみ実施）

事前研修：7月16日

実施期間：7月28日～8月16日

参加申込：丸子中学校（17人）、丸子修学館高校（23人）

受入協力：ブライユ丸子（点訳）、お話を楽しむ会（音訳）、MBAC（マジックハルニアークラブ）丸子珈琲倶楽部、ゆうあいまるこ（日本語教室）、手話ダンスほほえみの和、まるこ福祉社会障害者福祉サービス事業所「きらり」、「とんぼハウス」

その他：ボランティアセンター企画として「ボッチャ体験教室」を計画

### (3) 真田ボランティア地域活動センター

#### ア ニーズの把握

##### (ア) 社会福祉施設、ボランティア団体、NPO法人の把握

- ・真田ボランティア地域活動センター登録団体へ新様式にてニーズ、状況把握を行った。
- ・ボランティア団体登録 13団体 個人ボランティア 5人

#### イ 広報、啓発

##### (ア) 福祉用具の学校への貸出

- ・アイマスク 20枚

##### (イ) ボランティア保険の普及と加入促進

ボランティア活動保険加入 10団体 156人、  
(うち 天災プラン 7人、特定感染症重点プラン 5人)

ボランティア行事用保険加入 32団体 1,543人

送迎サービス補償保険加入 0人

上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 58人

#### ウ 養成研修・組織化

##### (ア) 各種講座の開催

- ・ボランティア養成講座

関心があることから勉強していただき、家族、地域などの身近なところからボランティア活動をしていただけるように、基礎的な知識や技能を学んでいただき実践につなげることができた。

##### ① 手軽にできるハンドとリンパトリートメント

10月3日（月）、10月17日（月） 参加者 14人（延べ27人）

##### ② 福祉体験ボランティア講座（視覚障がいガイドヘルプを学ぼう）

11月7日（月）、11月21日（月） 参加者 7人（延べ12人）

受講者が後日福祉体験学習のボランティアとして参加し活用につながった。

##### (イ) ボランティア連絡協議会加入者数（団体13、施設2）

##### (ウ) サマーチャレンジボランティア

- ・真田中学校の生徒を対象に7月26日（火）～29日（金）、8月3日（水）～5日（金）に「夏休み 自由学習室」ボランティアを計画したが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

##### (エ) 第34回ふれあい広場inさなだ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

##### (オ) いきいきサロンへの協力

- ・いきいきサロンで使える資料を作成し活用していただいた。サロンの申し込みはあったもののコロナ禍の影響で実施は1件のみであった。

紹介件数 7件（実施：1件 中止：6件）

##### (カ) 地域清掃ハイキング

- ・第50回真田地域清掃ハイキング 5月28日（土） 中止

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、真田地域内の企業が自主活動として実施（参加者40人）

- ・第50回真田地域清掃ハイキング 10月8日（土） 実施  
参加者129人
- (キ) 真田ボランティア連絡協議会の活動支援
  - ・役員会、代議員会、各種事業等への協力
  - ・ボランティア連絡協議会視察研修  
7月7日（木） 上田城跡公園 参加者 16人
  - ・フリーマーケット開催 10月8日（土）
  - ・ボランティア連絡協議会交流会 10月22日（土） 参加者 10人
  - ・「もうすぐ春だよ。交流会 part2」 2月18日（土） 参加者 25人
- エ 福祉教育の推進
  - (ア) 社会福祉普及校の指定  
児童・生徒が体験を通して、社会福祉への理解と関心を高め、日頃から助け合いの気持ちを育むことを目的として指定した。普及校1校に対し活動費50,000円までの補助を行った。（小学校4校、中学校2校）
  - (イ) 小中学生の福祉体験学習（出前講座）
    - ・5月16日（月） 真田中学校 パラスポーツ体験（ボッチャ・シッティングバレー）
    - ・11月15日（火） 長小学校4年生 アイマスク体験
    - ・11月25日（金）、11月28日（月） 真田中学校1年生 パラスポーツ（ボッチャ）体験、アイマスク体験
    - ・12月7日（水） 長小学校 6年生 高齢者疑似体験
- オ ボランティア活動状況
  - (ア) 真田モチーフの会  
長（菅平含む）、本原地区の高齢者への手作りひざ掛け配布 46枚
- (4) 武石ボランティア地域活動センター
  - ア ニーズの把握
    - (ア) 相談活動によるニーズの把握
    - (イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズ把握 ニーズ件数 13件
    - (ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握
  - イ 広報・啓発
    - (ア) 住民参加のボランティア活動を計画し、開催した。
    - (イ) 書き損じ葉書、使用済み切手の回収についてPRした。
    - (ウ) ボランティア保険の普及、保険の加入促進
      - ・ボランティア活動保険 3件 88人
      - ・ボランティア行事用保険 11件 353人
 上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 87人
  - ウ 養成研修・組織化
    - (ア) ボランティア養成講座の開催
      - ・ボッチャ体験講座  
実施日 2月28日（火）  
講師 社協職員  
参加者 21人
    - (イ) 武石ボランティア連絡協議会加入者数  
団体 14団体 230人 個人 14人
- エ 社会資源活用、ネットワーク促進
  - (ア) シニアクラブ女性部による高齢者福祉施設での洗濯物たたみ  
5月～12月 月2回 延べ参加者 28人

- (イ) 個人による施設などへのボランティア活動
  - ・本の読み聞かせ、サククス演奏
- (ウ) 武石ボランティア連絡協議会活動支援
  - ・「おさんぽギャラリー」～古民家再生体験プログラムに参加  
10月29日(土)、30日(日) 古民家「たまりや」にて  
ふれあいカフェ武石によるドリップ珈琲の提供 延べ9人
  - ・武石の縁が輪  
4月～3月 (第2、第4木曜日) 17回 延べ340人
  - ・武石えん結びの会(武石えんカフェ)  
4月～3月 (第3土曜日) 8回 延べ153人
  - ・アレチウリ・セイヨウカラシナ駆除作業  
実施日 5月28日(土) 参加者31人
  - ・武石ボランティア連絡協議会講習会  
実施日 12月3日(土) 参加者20人  
防災講習会『地域の防災力をアップしよう』  
(マイ・タイムライン)
- (エ) 回収した書き損じ葉書を郵便局にて切手、葉書に交換し、活動に利用した。  
また、回収した使用済み切手を分類し、活動団体に寄付した。

カ 福祉教育の推進

(ア) 社会福祉普及校の指定

武石小学校、依田窪南部中学校を指定。児童・生徒が体験を通じて社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助、社会連帯の思想を浸透させることを目的に、1校当たり活動費50,000円(依田窪南部中学校は長和町社会福祉協議会と1/2ずつの負担)の補助を行う。

(イ) 福祉体験学習

実施日 10月19日(水)  
参加 依田窪南部中学校1年生51人  
内容 車いす体験、高齢者疑似体験

別表

(1) 上田地区センター

ア ボランティアニーズ状況(単位:件)

	施設	自治会	学校	団体	個人	合計
合計	18	13	1	13	41	86

(2) 丸子地区センター

ア ボランティアニーズ状況(単位:件)

	施設	自治会	学校	団体	個人	合計
合計	1	6	5	9	14	35

イ 丸子ボランティア地域活動センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用団体（団体）	8	12	17	18	13	15	
利用人数（人）	※54	※74	116	136	76	113	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用団体（団体）	19	15	14	12	13	21	177
利用人数（人）	124	85	86	66	86	137	1,153

※令和4年1月18日から5月15日まで貸館制限あり。

(3) 真田地区センター

ア ボランティアニーズ状況（単位：件）

	施設	自治会	学校	団体	個人	合計
合計	1	1	0	0	0	2

イ 真田ボランティア地域活動センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用団体（団体）	0	0	4	3	2	0	
利用人数（人）	0	0	13	12	5	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用団体（団体）	1	2	1	1	3	3	20
利用人数（人）	4	7	4	5	10	11	71

(4) 武石地区センター

ア ボランティアニーズ状況(単位：件)地区

	施設	自治会	学校	団体	個人	合計
合計	2	0	0	8	3	13

評価・課題

(1) 上田地区センター

令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年行っているイベントや会議等を中止する事となったが、その中でも行える活動、形式を模索しながら実施した。

例年行っている学生を対象とした長期休みを利用し、施設等でのボランティア活動を行うサマーチャレンジボランティアについては、「児童クラブ、児童センターボランティア」、社協職員による「ユニバーサルデザイン勉強会とボッチャ体験」、「認知症サポーター養成講座とボッチャ体験」を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、8月1日以降のサマーチャレンジボランティアについては中止とした。

また、令和2年度から始めた「おうちでボランティア」では、引き続き手紙や作品を募集したところ、令和4年度も高校の部活動や個人のボランティア活動として、作品が集まり、福祉施設へ送ることができた。福祉施設からもお礼の返事をいただけることがあり、つながり作りが行えた。

福祉教育の分野として、学校への個別訪問による意見交換の場を設けたことで、社協の事業を広く知っていただき、学校での困りごとのくみ上げや出前福祉体験の依頼にもつながった。

ボランティア連絡協議会との連携については、加入促進を図り、パンフレットの配布を行い、ボランティア連絡協議会の活動について周知を図った。

また、既存のボランティア連絡協議会加入者・団体へは、意見交換や交流を図ることを目的に、定期的に情報交換会の場を設けた。

引き続き、ボランティア関係者や福祉施設関係者へのニーズ把握を行い、新たな活動の開拓に努めていく。

#### (2) 丸子地区センター

コロナ禍での行動制限が徐々に緩和され明るい兆しは見えるものの、ボランティア団体の高齢化に伴う活動の縮小や長期間思うような活動ができないことによるモチベーション維持が問題となるなかで、どのように団体を支えていくかが課題となっている。

また、現在は、登録ボランティア団体同士の交流が現在無い状態であるので、交流により垣根を越えて事業協力できる分野があれば活用するよう努める。

#### (3) 真田地区センター

引き続き新型コロナウイルス感染症対策に配慮しつつ可能な範囲で活動に取り組んだ。

小中学校でのアイマスク体験や高齢者疑似体験、またパラスポーツ体験などを実施し、障がい者や高齢者についての理解を深めることにつなげた。

新たな試みとして視覚障がいガイドヘルプのボランティア講座を開催し、受講者が福祉体験学習のボランティアとして参加され活用に結びついた。

また、ボランティアの高齢化が進んでおり、若い世代の育成が今後の課題としてあげられる。ボランティア連絡協議会等と連携し取り組んでいきたい。

#### (4) 武石地区センター

ボランティア連絡協議会事業として「アレチウリ・セイヨウカラシナの駆除作業」、また、上田市武石地区赤十字奉仕団の共催により、「防災講習会」を開催することができた。全体の交流会は開催できなかったが、団体同士が連携して活動する様子が見受けられた。

若い世代の1団体の加入があったが、高齢化等により退会する方もあるため、全体の人数の大きな増加には至っていない。

ボランティア養成講座として「ボッチャ体験教室」を開催した。パラスポーツへの理解とともに地域活動等に広められるよう今後も継続的に開催したい。

## 19 地域子育て支援拠点事業【連携型、一般型】(市受託事業)

【令和4年度事業費】 7,895千円(連携型5,375千円、一般型2,520千円)

### 【事業概要】

未就園児の親子を対象に子育ての負担感の緩和を図り、安心して子育てができることを目的とした事業であり、上田市からの委託を受け、4か所の子育てひろば[連携型3か所(大星・神科・東塩田児童館内)、一般型1か所(清明子ども館)]を開設し運営している。

### 事業実績

地域における子育て支援拠点として、親子で遊んだり、他の親子と交流したり、子育ての悩みなどを相談できる場としてサービスの提供をしており、さまざまな遊具や遊びの他、保護者のための講座や親子で楽しめる遊びの講座を毎月1回以上実施した。

また、子育てひろばスタッフ研修会、救急法講習会、発達障がい研修会に参加し、職員の資質向上を図った。

会 場	開設曜日	開設時間
大星児童センター	火・木・金	午前9時30分～午後零時30分
神科児童センター	火・水・木	午前9時30分～午後零時30分
東塩田児童センター	月・火・水	午前9時30分～午後零時30分
清明子育てひろば	月・水・金	午前9時30分～午後2時30分

### 別表

#### (1) 平均利用者数 推移

##### ア 大星子育てひろば

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
平均利用者数(人)	6.0	8.2	8.1

##### イ 神科子育てひろば

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
平均利用者数(人)	8.1	7.8	9.1

##### ウ 東塩田子育てひろば

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
平均利用者数(人)	9.5	11.6	12.0

##### エ 清明子育てひろば

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
平均利用者数(人)	6.7	9.7	7.1

### 評価・課題

健康推進課、子育て子育て支援課と連携し、状況に応じて相談事業や少人数利用を行った。状況によって中止となった講座もあったが、方法や内容を工夫することで開催できた講座も多かった。講座開催を楽しみにしている親子も多く、新たに子育てひろばの存在を知り、利用にもつながるよう周知や内容等の充実を図っていきたい。

また、各研修会参加での学びに加え、ひろば同士の情報交換や課題の共有ができる機会を持ちながら職員の資質向上や職員同士の連携を進めていきたい。

## 20 上田市高齢者福祉センター管理事業（指定管理事業）

【令和4年度事業費】 36,340 千円

### 上田市高齢者福祉センター

#### 【事業概要】

市内に在住する60歳以上の高齢者の方の生きがいと健康づくりを目的として昭和56年に開設された。平成9年4月1日からは上田市社会福祉協議会が管理運営を行っている。

展望風呂を楽しみに来館される方が多く、各種同好会活動等も盛んに行われている。

他にも、高齢者介護課が主催する介護予防体操や自主事業として行っている初級パソコン教室があり、大勢の方々に利用していただいている。センター内では利用者の趣味を生かした各種クラブが23クラブあり、約500人の会員が積極的な活動を行い、特に高齢者文化祭や高齢者作品展での発表や作品展示に向けて仲間との交流を図りながら楽しんで取り組んでいる。

また、当センターを主会場に3年間の学習形態で上田市高齢者学園の授業が行われており、卒業後は各種同好会やクラブ活動をはじめ、学んだ知識を地域での活動に役立てている。

#### 事業実績

##### (1) 利用状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市の指示により5月中旬まで休館とし、その後開館はしたが感染レベルが5の場合はお風呂のみ休みとした。

##### (2) その他事業

高齢者文化祭 10月14日（金）、15日（土）2日間  
無観客で上田ケーブルビジョンによる撮影・放映のみ

##### (3) 利用人数

ア 教養クラブ活動(23クラブ)	参加者	13,147人
イ 高齢者初級パソコン教室(234回)	参加者	979人
ウ 実習生・ボランティア(13回)	参加者	43人

##### (4) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	87	1,138	3,830	3,262	1,553	2,122	
開館日数(日)	0	14	26	25	26	24	
1日平均利用者(人)	0	81.3	147.3	130.5	59.7	88.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	3,697	2,137	1,660	1,642	3,351	3,931	28,410
開館日数(日)	25	24	24	23	22	26	259
1日平均利用者(人)	147.9	89.0	69.2	71.4	152.3	151.2	109.7

##### (5) 上田市高齢者福祉センター利用状況の推移

	利用延べ人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
令和2年度	37,075	247	150.1
令和3年度	31,905	194	164.5
令和4年度	28,410	259	109.7

評価・課題
<p>5月中旬から開館したが、感染レベルが高い状況ではお風呂のみが休みとなり、トータルで半年程お風呂は休みとなった。高齢者文化祭は規模を縮小し無観客ではあったが、3年振りに開催することができた。感染状況が安定しないため利用者の増加にはつながらなかった。施設的环境整備面では、利用者が心地よく過ごしていただけるように努めているが、老朽化が年々進み、修繕箇所や設備の不具合が増えているのが課題となっている。</p>

## 高齢者学園事業（市受託事業）

### 【事業概要】

「仲間づくり、健康づくり、生きがいくくり」を行動指針に、3つの学習分野（より良い社会参加・健康と生きがいくくり・豊かな長寿社会の実現）を柱に、地域の中でも主体的に社会参加し、地域社会の発展に寄与することを目指して学習に取り組んでいる。

また、講義評価アンケートを実施するとともに、学生からのさまざまな要望や意見を取り入れ、学園生の自発的な学園運営に生かしている。

事業実績	
(1) 学生数	1年生 30人、2年生 28人、3年生 33人
(2) 講義回数	1年生 11回、2年生 11回、3年生 11回
(3) 交流会	1年生 真田方面（長谷寺・歴史館・海野宿） 2年生 諏訪方面（諏訪大社） 3年生 軽井沢（熊野皇大神社・白糸の滝）
(4) 1日研修	1年生 創造館 2年生 県立歴史館（千曲市） 3年生 善光寺・県立美術館（長野市）
(5) 研修旅行	1年生 小布施（日帰り） 2年生 新潟方面（一泊） 3年生 新潟方面（日帰り）
(6) クラブ活動	84回（6クラブ、年間7回） クラブ発表会 2月2日（木）（サントミュージゼ）
(7) 運営委員会	第1回運営委員会 11月15日 第2回運営委員会 2月15日
(8) その他	講義評価アンケートの実施
評価・課題	
<p>令和4年度は高齢者福祉センターが5月中旬まで感染拡大に伴い休館だったため、4月の講義は中止となった。その後、センターが開館し、感染対策を徹底しながら、講義及び交流会や研修を行うことができた。今年からクラブ発表会をサントミュージゼで行った。</p>	

## 2 1 上田市丸子老人福祉センター設置管理事業（市補助事業）

【令和4年度事業費】 16,990 千円

### 【事業概要】

高齢者の心身の健康の保持のため、健康相談、指導、入浴、休養、レクリエーションなどを行うとともに、文化教養の向上を図るため老人のクラブ活動等を行い、高齢者福祉に総合的に寄与することを目的に昭和54年に開設した。

開設当時から、老人クラブの活動や高齢者憩いの場所として多くの方に利用されている。

### 事業実績

#### (1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	0	167	1,047	974	218	384	
開館日数(日)	0	9	26	26	25	26	
1日平均利用者(人)	0	12.0	40.3	37.5	8.8	14.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	890	522	302	342	866	987	6,699
開館日数(日)	26	26	24	24	24	27	263
1日平均利用者(人)	34.3	20.1	12.6	14.3	36.1	36.6	22.3

#### (2) 上田市丸子老人福祉センター利用状況の推移

	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
令和2年度	11,585	262	44.2
令和3年度	9,096	203	44.8
令和4年度	6,699	263	22.3

### 評価・課題

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、センターの休館、入浴の中止、クラブ活動の中止等があり、令和4年度の開館日数は通年の8割程であったが利用者の減少が大きかった。

施設的环境整備面では、老朽化が進み年々修繕箇所や設備の不具合が増えている。また、施設の耐震化も未実施であることが課題である。

また、利用者が心地よく過ごしていただけるように努めているが、冷房設備がないため夏の温度管理に苦慮している。改善に向けて市に要望していきたい。

## 2 2 上田市真田老人福祉センター管理事業（指定管理事業）

【令和4年度事業費】 8,196 千円

### 【事業概要】

高齢者の健康相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションなど憩いの目的に利用されている。

事業実績							
(1) 上田市真田老人福祉センター利用状況							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	0	23	282	281	1	30	
開館日数(日)	0	5	26	27	24	26	
1日平均利用者(人)	0.0	4.6	10.8	10.4	0.1	1.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数(人)	288	85	0	8	324	385	1,707
開館日数(日)	26	26	24	24	24	27	259
1日平均利用者(人)	11.1	3.3	0.0	0.3	13.5	14.3	6.6
(2) 上田市真田老人福祉センター利用状況の推移							
	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)				
令和2年度	3,961	259	15.3				
令和3年度	2,501	166	15.1				
令和4年度	1,707	259	6.6				
評価・課題							
<p>市の指示による休館や管理施設の一部利用制限を行う中で高齢の方々が健康で生きがいのある生活を送るため、自由に来館し利用していただき、趣味を通じた仲間づくりなどの憩いの場となるよう施設運営に努めた。</p> <p>入浴利用の制限の影響もあり利用者数は前年の7割弱にとどまった。引き続き減少傾向への対応が課題。</p> <p>真田総合福祉センターと本施設統合による改築計画が市の実施計画に「項目計上」されているが、壁面からの雨水流入など深刻な事態も発生しており、建物老朽化の進行が懸念される。</p>							

## 23 真田ふれあいバス運行事業(市受託事業)

【令和4年度事業費】 3,755千円

### 【事業概要】

真田老人福祉センターへの利便を図るため、定期的なふれあいバスを運行している。公共のバス路線では対応できない地域に密着した路線を中心に運行している。

事業実績
(1) 定期運行 毎週 月、水、木、金曜日に真田地域巡回(菅平自治会は除く。)
(2) 25人乗りマイクロバス 迎え1回・送り2回の巡回
(3) 運休日 毎週 火、土、祝日、お盆(8月13日～16日) 年末年始(12月29日～1月3日)

別表							
(1) 真田ふれあいバス利用状況							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者(人)	169	137	183	136	96	106	
運行日数(日)	16	14	18	16	16	16	
1日平均利用者数(人)	10.6	9.8	10.2	8.5	6.0	6.6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数(人)	142	113	89	65	122	163	1,521
運行日数(日)	16	15	15	14	15	19	190
1日平均利用者数(人)	8.9	7.5	5.9	4.6	8.1	8.6	8.0
(2) 真田ふれあいバス利用状況の推移							
	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
利用者数(人)	2,035	2,302	1,521				
運行日数(日)	177	187	190				
一日平均利用者数(人)	11.5	12.3	8.0				
評価・課題							
<p>令和4年度も老人福祉センターの休館や一部利用制限があったものの、ふれあいさなだ館の営業が継続されたため、バスも通常の運行となった。これまで同様、高齢の方々の乗車に配慮し、新型コロナウイルス感染症対策はもとより安全運転、乗降時等の丁寧な誘導に努めた。</p> <p>バス利用者は、老人福祉センターの入浴利用制限の影響もあり昨年の7割弱にとどまった。引き続き減少傾向への対応が課題である。</p>							

## 24 上田市ふれあい福祉センター管理事業(指定管理事業)

【令和4年度事業費】 15,656千円

### 【事業概要】

旧上田郵便局舎を改修し、障がい者の社会参加の支援、市民のボランティア活動への参加を積極的に促進するとともに、市民と高齢者、ボランティアの交流を推進することを目的に平成11年11月15日にオープンし、福祉の拠点として多くの方が利用されている。

事業実績							
(1) 上田市ふれあい福祉センター利用状況							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	90	208	1,213	1,244	739	913	
開館日数(日)	30	30	30	30	31	30	
1日平均利用者(人)	3.0	6.9	40.4	41.5	23.8	30.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	1,492	1,193	1,004	908	1,164	1,349	11,517
開館日数(日)	31	29	28	23	26	31	349
1日平均利用者(人)	48.1	41.1	35.8	39.4	44.8	43.5	33.0

(2) 上田市ふれあい福祉センター推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用延べ人数(人)	11,616	10,342	11,517
1日平均利用者(人)	37.9	43.0	33.0

評価・課題

4月13日から5月上旬までの期間、空調機器改修工事を行ったため、一部の部屋を使用中止とした。7月には、駐車場出口付近の集水桝更新工事を行い、雨水が道路表面に溜まることのないようオーバーフローを防いだ。

また、PCB使用安定器を使用している照明器具を、全てLED照明に切り替えた。

建物が老朽化しているため、1月に大規模な高圧受電設備の改修工事と、エレベーター改修工事を行い、利用者の安全を確保した。建物等の老朽化から修繕費が年々増加傾向であり、令和5年度は外構工事の修繕に関して、対応できるよう上田市と協議していく。

## 25 上田市真田総合福祉センター管理事業(指定管理事業)

【令和4年度事業費】 4,255千円

【事業概要】

真田総合福祉センターは、地域の多くの方に利用していただいている。障がい者及び高齢者の社会参加を支援するとともに、市民のボランティア活動への参加を積極的に推進することを目的としている。

また、多くのクラブ活動に利用されている。

(1) 開館日：火曜日の夜間を除く毎日

(ただし、12月29日から1月3日を除く。)

(2) 開館時間：午前9時～午後9時30分

事業実績

(1) 真田総合福祉センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用延べ人数(人)	0	63	166	387	255	268		
開館日数(日)	0	16	30	31	31	30		
1日平均利用者(人)	0.0	3.9	5.5	12.5	8.2	8.9		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用延べ人数(人)	483	477	246	215	439	441	3,440	
開館日数(日)	31	30	28	28	28	31	314	
1日平均利用者(人)	15.6	15.9	8.8	7.7	15.7	14.2	11.0	

(2) 真田総合福祉センター推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用延べ人数(人)	2,714	3,134	3,440
1日平均利用者(人)	8.8	11.3	11.0

評価・課題

主に、真田地域のボランティア団体、福祉団体、各種クラブ等大勢の方に利用され、昼夜を問わず利用も活発で地域の活動拠点となっている。

令和4年度も、市の指示により会場貸し出しを一時中止しながら、本施設の設置目的に沿った利用者の視点に立った施設の運営と維持管理を行った。

例年、利用者数は規模の大きなイベント利用等の有無により大幅に増減するが、令和4年度は貸館中止等により例年の4分の1程度にとどまった。引き続き利用者数減少傾向への対応が課題である。

施設面では、幅広い年齢層に利用されているが、エレベーターがないため高齢の方、障がいのある方には、階段による昇降など利用上の不便さや築51年経過による老朽化の課題もある。

本施設と真田老人福祉センター統合による改築計画が市の実施計画に「項目計上」されていることから、指定管理者として協力していく。

## 26 上田市長瀬市民センター管理事業(指定管理事業)

【令和4年度事業費】 4,631千円

【事業概要】

市からの受託事業で、市民の福祉の増進に寄与することを目的として、会場の貸出し等の管理運営を行い、市民に広く利用されている。

事業実績

(1) 上田市長瀬市民センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	0	172	531	1,384	850	683	
開館日数(日)	0	10	21	25	19	24	
1日平均利用者(人)	0	17.2	25.2	55.3	44.7	28.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	786	698	665	556	615	516	7,456
開館日数(日)	26	24	22	23	22	23	239
1日平均利用者(人)	30.2	29.0	30.2	24.1	27.9	22.4	31.1

(2) 上田市長瀬市民センター推移(単位:人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用延べ人数	6,479	8,795	7,456
1日平均利用者	28.4	41.6	31.1

評価・課題

新型コロナウイルス特別警報(感染警戒レベル6)の発令に伴い、4月1日から5月15日まで閉館とした。再開後は多くの市民や団体が交流の場や活動拠点として利用していただいている。施設の利用については、人数制限や使用した机、椅子などの消毒徹底を利用者に依頼している。また、館内に入場する際は、検温と手指消毒を促し、感染対策に努めた。建物が老朽化しており修繕費が年々増加傾向である。利用者が安心・安全に利用できるよう、修繕に関して上田市と協議していく。

## 27 共同募金配分金事業



### 【事業概要】

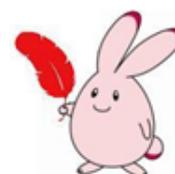
戦後の混乱した経済社会状況の中、「国民たすけあい」の精神を基に始められ赤い羽根共同募金運動は、民間社会福祉事業の経済的基礎を確立する上で大きく貢献してきた。

75年以上過ぎた今でも、共同募金にお寄せいただく皆様の善意は、民間社会福祉施設や団体にとって貴重な活動財源になっており、毎年10月1日から各都道府県共同募金会が主体となって全国一斉に展開される共同募金運動に積極的に協力している。

お寄せいただいた募金は、長野県共同募金会へいったん集約され、配分決定のあった民間社会福祉施設、団体に翌年度配分される。

令和4年度募金総額 24,103,797円(目標額 24,940,000円)

内訳	戸別募金	21,384,000円
	法人募金	1,556,815円
	学校募金	274,138円
	職域募金	179,700円
	街頭募金	596,122円
	その他	113,022円



### (1) 令和4年度内訳(単位:円)

	上田地区	丸子地区	真田地区	武石地区	合計
戸別募金	15,097,423	3,583,060	1,749,629	953,888	21,384,000
法人募金	1,203,108	269,707	74,000	10,000	1,556,815
学校募金	235,347	19,914	17,624	1,253	274,138
職域募金	132,249	22,831	14,258	10,362	179,700
街頭募金	481,414	69,034	25,659	20,015	596,122
その他	102,204	10,818	0	0	113,022
合計	17,251,745	3,975,364	1,881,170	995,518	24,103,797

## (2) 合計推移 (単位: 円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
戸別募金	24,033,552	23,165,536	21,384,000
法人募金	1,507,297	1,576,083	1,556,815
学校募金	268,548	322,144	274,138
職域募金	202,820	194,754	179,700
街頭募金	570,612	767,137	596,122
その他	28,838	128,075	113,022
合計	26,611,667	26,153,729	24,103,797

## 上田地区共同募金配分金事業

【令和4年度事業費】 10,918千円

(上田共募高齢者 1,418千円、上田共募障がい児・者 598千円、上田共募児童・青少年 1,608千円、  
上田共募住民全般 7,284千円、共募広域福祉活動事業 10千円)

事業実績			
(1) 経年推移 (単位: 円)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
戸別募金	16,873,031	16,346,958	15,097,423
法人募金	1,181,767	1,238,135	1,203,108
学校募金	208,998	256,128	235,347
職域募金	132,745	134,797	132,249
街頭募金	492,860	609,883	481,414
その他	8,838	127,566	102,204
合計	18,898,239	18,713,467	17,251,745

## 丸子地区共同募金配分金事業

【令和4年度事業費】 2,933千円

(丸子共募高齢者 190千円、丸子共募障がい児・者 278千円、丸子共募児童・青少年 610千円、  
丸子共募住民全般 1,855千円)

事業実績			
(1) 経年推移 (単位: 円)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
戸別募金	4,201,556	3,997,380	3,583,060
法人募金	266,530	273,948	269,707
学校募金	34,652	35,591	19,914
職域募金	44,470	29,582	22,831
街頭募金	48,625	130,016	69,034
その他	20,000	509	10,818
合計	4,615,833	4,467,026	3,975,364

## 真田地区共同募金配分金事業

【令和4年度事業費】 1,403千円

(真田共募高齢者 78千円、真田共募障がい児・者 39千円、真田共募児童・青少年 339千円、真田共募住民全般 947千円)

事業実績			
(1) 経年推移 (単位:円)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
戸別募金	1,999,465	1,864,186	1,749,629
法人募金	56,000	54,000	74,000
学校募金	15,522	26,530	17,624
職域募金	21,947	21,397	14,258
街頭募金	19,356	16,123	25,659
その他	0	0	0
合計	2,112,290	1,982,236	1,881,170

## 武石地区共同募金配分金事業

【令和4年度】 787千円

(武石共募高齢者 239千円、武石共募障がい児・者 32千円、武石共募児童・青少年 75千円、武石共募住民全般 441千円)

事業実績			
(1) 経年推移 (単位:円)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
戸別募金	959,500	957,012	953,888
法人募金	3,000	10,000	10,000
学校募金	2,651	3,895	1,253
職域募金	6,249	8,978	10,362
街頭募金	13,605	11,115	20,015
その他	0	0	0
合計	985,305	991,000	995,518

### 共同募金配分金事業 評価・課題

年度当初に、ここ数年の募金実績を考慮し、配分計画や目標額をたて共同募金運動を実施した。令和4年度も自治会役員の皆様をはじめ、多くの住民の方々に御協力をいただいた。

募金実績としては、戸別募金以外の法人募金、学校募金、職域募金、街頭募金及びその他募金で目標額を上回ることができたが、前年度比でみると、全ての種別の募金で減少となった。特に、戸別募金については、減少が著しかった。

その要因として、ロシアによるウクライナへの侵攻による、物価高と円安が生活に直撃したことや、新聞記事に共同募金に取り上げられたことなどに、強く影響を受けたことが考えられる。

引き続き、赤い羽根共同募金の使用用途の「見える化」に努め、広く住民に還元できるような事業を実施し、配分団体にも共同募金の使いみちについてPRしていただくよう働きかけていく必要がある。

## その他(高齢者事業)

## 共同募金配分金事業



### 事業実績

#### (1) 上田地区センター

##### ア 紙おむつ配布事業

民生委員・児童委員の協力を得て、在宅介護支援の一環として在宅で寝たきりの方、認知症高齢者、障がい者の方、必要としている方を対象に紙おむつまたは尿取りパッドを贈呈している。

##### (ア) 実施内容

10月に民生委員・児童委員定例会にて調査票の配布依頼、11月の民生委員・児童委員定例会にて調査票回収、翌年2月の民生委員・児童委員定例会にて配布、対象者宅にお届けいただいた。

##### (イ) 対象者

在宅で生活している寝たきりの方、認知症高齢者、障がい者の方、紙おむつや尿取りパッドを頻繁に利用している方

##### (ウ) 紙おむつ贈呈数

パンツタイプ 563人、テープ止めタイプ 54人、尿取りパッド188人 合計805人

##### イ サロン支援事業

上田市ふれあい福祉センターを地域の資源として活用し、周辺自治会のサロン開催につなげ、赤い羽根共同募金の配分金を地域の全世代の皆様還元できるよう体操教室を計画した。

##### (ア) ウォーキング教室

- ・10月22日(土) 参加者7人
- ・10月26日(水) 参加者5人
- ・11月10日(木) 参加者9人

##### (イ) 身体ぽかぽか体操教室

- ・3月2日(木) 参加者14人
- ・3月8日(水) 参加者16人
- ・3月11日(土) 参加者16人

#### (2) 丸子地区センター

##### ア みまもり(声かけ)訪問事業

丸子地区では少子高齢化に伴い、独居世帯増加の中で、健康に不安をかかえている高齢者世帯が、住み慣れた地域で孤立することなく、安心して暮らすことができるようボランティアによる、みまもり声かけ訪問を行った。

##### (ア) 実施内容

登録ボランティアが2人1組で月2回程度利用者宅を訪問し、玄関先や軒先で日常の話をお聞きした。訪問時に体調不安や心配ごとがあれば利用者の支援者(地域包括支援センター等)へつないでいる。令和4年4月・5月は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティアの訪問は行わず職員で対応した。

(イ) 対象者

65 歳以上の方のみの世帯、または同居されていても日中独りになる方で介護保険サービスを利用されていない方(登録利用者 3 人)

(ウ) 協力者

みまもり (声かけ) 訪問事業登録ボランティア (登録 12 人)

令和 5 年 3 月にボランティア継続希望の調査を行い、登録者の整理を行った。

イ みまもり(声かけ)訪問実績 (単位:人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
訪問件数	6	6	6	6	6	6	
訪問ボランティア	0	0	8	8	7	7	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
訪問件数	6	6	6	6	6	6	72
訪問ボランティア	6	8	7	6	4	7	68

(3) 真田地区センター

ア 真田地域一人暮らし高齢者親睦会

会員の親睦や交流を深めることを目的に、上田市内や近隣の市町村に出かけ、温泉入浴や食事、買い物などを楽しむ「ふれあいの旅」や「親睦会」などを実施している。

(ア) 実施内容

3 年ぶりの開催となる令和 4 年度のふれあいの旅では、青木村の「道の駅あおき」での買い物の他、塩田で松茸ご飯などきのこ料理を堪能し、生島足島神社で参拝。

(イ) 実施日: 10 月 13 日 (木) ふれあいの旅 参加者 17 人

11 月 17 日 (木) 秋の親睦会 コロナ感染拡大防止のため中止

3 月 3 日 (金) 春の親睦会 参加者 20 人

(ウ) 対象者: 真田地域に居住する 65 歳以上の独り暮らしの方

(4) 武石地区センター

ア 高齢者弁当配達事業

75 歳以上の独り暮らしの方を対象に、ふれあいを深め地域の絆を感じていただくとともに良い年を迎えていただきたいとの趣旨で、民生委員・児童委員の協力を得て年末に季節感あふれる弁当を無料でお配りした。

(ア) 実施日: 12 月 14 日 (水)

(イ) 配食数: 88 食

イ お茶オケサロン (27 回)、健康マーじゃん (52 回) を開催し、交流を深めた。

評価・課題

(1) 上田地区センター

上田地区の独自事業である「紙おむつ贈呈事業」は、民生委員・児童委員に希望調査をお願いしているが、調査が対象者訪問のきっかけになる一方で、時代の流れとともにプライベートなことは聞きづらい等の御意見をいただいていた。紙おむつを贈呈された高齢者等からは、大変喜ばれてきたが、いつも使っている製品でないと使いづらいとの声も上がっていた。そのため、令和 5 年度からは、事業を見直し、若い世代やひとり親世帯、生活にお困りの方にも還元できる内容にしていく予定である。

また、サロン支援事業のウォーキング教室については、上田市立第三中学校や地元の自治会長と連携して開催し、地域でのつながりづくりができた。身体ほかほか体操教室では、いろいろな内容の体操を取り入れ、サロン開催の参考となるようにしたところ、各地域からの参加があり、自治会で新たにサロンを開催したいという参加者もいるなど、目的が達成できた。

(2) 丸子地区センター

丸子地区の独自事業である「みまもり（声かけ）訪問事業」は、地域住民のボランティアによって支えられている。登録されている利用者は、自宅に引きこもりがちな方で地域との関わりが薄い方である。「地域コミュニティ」の中で孤立しないよう、関係者と連携して利用者を把握していきたい。利用している方は、訪問を待ち望んでいるので、引き続き実施していきたい。

(3) 真田地区センター

ふれあいの旅では、コロナ前と比べて行程を縮小して行ったが、参加者から負担にならない日程であるとの声が聞かれた。

新たな会員の加入に向けた、対象者への周知方法が課題となっている。

(4) 武石地区センター

ア 弁当配達事業は、武石地区民生委員・児童委員の御協力をいただき配布した。高齢者に喜んでいただいた。民生委員・児童委員協議会でも年末の重要な事業であると捉えていただいているので、引き続き実施したい。

イ お茶オケサロン、健康マージャンについては希望者が多く、交流を図る上で効果的な事業であるので、新型コロナウイルス感染症予防に十分配慮し、工夫しながら進めたい。

その他(児童福祉事業)

共同募金配分金事業



事業実績

子育て中の親を対象に、交流の場づくりとリフレッシュ、子育てに関わる学習会を目的とした事業。

- ・親子ピラティス
  - 9月15日(木) 参加者8組
  - 12月1日(木) 参加者4組
- ・ママカフェ(通年)
  - 6月7日(火) 参加者2組
  - 7月5日(火) 参加者2組
  - 10月4日(火) 参加者3組
  - 11月1日(火) 参加者3組
  - 12月6日(火) 参加者0組
  - 2月7日(火) 参加者0組
  - 3月7日(火) 参加者0組
- ・ママのためのリンパケア
  - 11月16日(水) 参加者3人
- ・親子で参加♪ KID'S ロディヨガ®教室
  - 2月19日(日) 参加者18人
  - 2月23日(木) 参加者16人

<p>・体操くらぶ（通年）</p> <p>6月14日（火） 参加者 14人</p> <p>7月12日（火） 参加者 16人</p> <p>9月13日（火） 参加者 11人</p> <p>10月11日（火） 参加者 12人</p> <p>11月8日（火） 参加者 10人</p> <p>12月20日（火） 参加者 7人</p> <p>1月10日（火） 参加者 5人</p> <p>2月14日（火） 参加者 7人</p> <p>3月7日（火） 参加者 8人</p>
評価・課題
<p>体操くらぶは、まいさぽ上田と協働で年間を通しての企画を開催した。子育て支援事業は、主に未就学児から低学年とその保護者を対象とした講座等を企画し開催した。また、イベントによっては、日曜祝日に開催したため参加者から好評だった。</p> <p>今後も、子育て中の保護者の居場所作りや、赤い羽根共同募金の周知の仕方などを検討しながら企画し開催していきたい。</p>

## その他(住民全般事業)

### 共同募金配分金事業



事業実績
<p>(1) 真田地区センター</p> <p>ア 清掃ハイキング</p> <p>真田地域を歩いて、美化活動をする目的で毎年春と秋に開催している。環境美化と共に、「地域を知ること」「誰でも声をかけ合えるまちづくり」を目指し、地域住民やボランティア、地元の企業がこぞって活動に参加している。</p> <p>(ア) 実施日</p> <p>5月28日（土） 春の清掃ハイキング コロナ禍のため中止</p> <p>10月8日（土） 秋の清掃ハイキング 参加者 129人</p>
評価・課題
<p>(1) 真田地区センター</p> <p>コロナ禍でさまざまな活動が制限されてきた中で、清掃ハイキングの再開によって再び多くの地域住民や地元企業が集まる機会が設けられ、参加者にとって良い活動の場や交流の場になったと受け止めている。</p> <p>令和4年度は、コロナ禍のため時間やコースを従前に比べ短縮して実施したことから、参加者からは物足りなさを感じたとの声も聞かれた。今後は新型コロナウイルス感染症対策にも配慮しながら参加者層を加味したコース設定等満足度を高める工夫もしていきたい。</p>

# 団体事業の育成

## 共同募金配分金事業



### 【事業概要】

各種福祉団体事業を推進するため、協力費として活動費を助成し、団体育成に努めている。

事業実績			
(1) 上田地区 活動費助成団体 (単位：円)			
団体名	助成金額	団体名	助成金額
上田地域福寿クラブ連合会	200,000	上田市聴覚障害者協会	70,000
上田市身体障害者福祉協会	210,000	うえだ市民ふれあい広場実行委員会	70,000
上田市赤十字奉仕団	80,000	上田地区保護司会	100,000
上田ボランティア連絡協議会	50,000	上小手話サークル	50,000
上田地区更生保護女性会 上田支部	40,000	チャイルドラインうえだ運営委員会	150,000
モチーフの会	50,000	長野県上田千曲高等学校生活福祉科	50,000
上田市子ども会育成連絡協議会	70,000	豊殿地区福祉車運営委員会	200,000
上田市視覚障がい者福祉協会	80,000	〇〇カフェやすらぎ	30,000
上田市肢体不自由児者父母の会	15,000	合計 17 団体	1,515,000
(2) 丸子地区 活動費助成団体 (単位：円)			
団体名	助成金額	団体名	助成金額
丸子地域高齢者クラブ連合会	190,000	上田市食生活改善推進協議会 丸子ブロック	27,000
丸子身体障害者福祉協会	200,000	Eーキャップの会	72,000
丸子ボランティア連絡協議会	120,000	上田市丸子地区赤十字奉仕団	18,000
傾聴ボランティア・まるこ	72,000	上田地区更生保護女性会 丸子支部	36,000
丸子モチーフの会	45,000	NPO 法人 子育て応援団ぱれっと	135,000
		合計 10 団体	915,000
(3) 真田地区 活動費助成団体 (単位：円)			
団体名	助成金額	団体名	助成金額
真田地域長寿会	30,000	おもちゃ図書館くるくるさなだ	30,000
上田市真田地区赤十字奉仕団	30,000	ミミールの会	15,000
大福会	20,000	真田地域ボランティア連絡協議会	70,000
上田市食生活改善推進協議会 真田ブロック	30,000	ふれあい広場実行委員会	70,000
おとぎの会	16,000	NPO 法人ほこほコネクト	33,000
さなだ支え合い会議	16,000	グリユックの会	16,000
上田地区更生保護女性会 真田支部	12,000	NPO 法人やまぼうし自然学校	15,000
		合計 14 団体	403,000

(4) 武石地区 活動費助成団体 (単位：円)			
団体名	助成金額	団体名	助成金額
武石シニアクラブ	80,000	武石ボランティア連絡協議会	10,000
武石もみじ会	40,000	武石えん結びの会	20,000
上田地区更生保護女性会 武石支部	10,000	ふれあいカフェ武石	10,000
武石身体障害者福祉協会	20,000	合計 7 団体	190,000

(5) 上田市全域 活動費助成団体 (単位：円)			
団体名	助成金額	団体名	助成金額
上田市自治会連合会	241,000	上田市民生委員・児童委員協議会	333,000
		合計 2 団体	574,000

## 28 地域包括支援センター事業(市受託事業)

### 【事業概要】

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員が配置され、地域の高齢者を中心に全ての地区住民が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施している。

- (1) 高齢者の実態把握及び介護予防支援計画、介護予防ケアマネジメント支援計画の作成
- (2) 高齢者や家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援
- (3) 高齢者虐待防止及び早期発見、消費者被害防止等の権利擁護事業
- (4) 支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- (5) 高齢者の社会参加や自立支援を促進するための地域活動への支援・啓発
- (6) 生活支援体制整備事業におけるコーディネート業務

### 神川地域包括支援センター事業

【令和4年度事業費】 30,637千円

事業実績
(1) 相談内容・人数(電話・来所・訪問) ※別表参照
(2) 事業内容 ※別表参照
(3) その他
ア 地域リハビリテーション活動支援事業の推進と活動拠点の定着を図ることができた。 (13自治会で実施)
イ 一般介護予防事業として、地域住民の健康と介護予防を目的に講座を開催した。 (5自治会で14回実施)
ウ 認知症への正しい理解を進め、地域での見守り活動へつなげてもらうために、地元中学校や高齢者学園の学生を対象に認知症サポーター養成講座を3回開催した。

- エ 地域の介護支援専門員が抱える困難な事例についての支援・アドバイスをはじめ、ネットワーク作り等、介護支援専門員の支援に努めた。
- オ 担当区域の民生委員・児童委員協議会定例会に出席し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と支援のための関係づくりに努めた。
- カ 地域包括ケアシステム構築の推進を目的に地域ケア会議開催した。(個別4回、推進1回)
- キ 実態把握調査を実施し、その後のニーズに対して連携を図りながら円滑に支援が行えるよう取り組んだ。
- ク オンライン機能等を活用しながら各種研修会に参加し、自己研鑽に努めた。
- ケ 夜間、休日等、勤務時間外は、携帯電話にて24時間緊急対応体制を取り対応を行った。
- コ 「神川包括だより」を年4回発行し、地域包括支援センターの役割、介護予防、電話でお金詐欺、免許返納について広報活動を行った。令和4年度から、自治会回覧に加え介護保険サービス事業所、薬局、金融機関、交番等に配布し地域を支える仕組みづくり、関係づくりに努めた。
- サ 生活支援体制整備事業においては、生活支援コーディネーターを中心に、住民主体の介護予防・生活支援サービス等の実施に向けた啓発や調査等に取り組んだ。特に隣接する生活圏域の3地域包括支援センターと協働し、住民主体の取組活動への支援を目的に「地域づくり講座」を開催した。
- シ 地域密着型施設の運営推進会議は主に書面開催であったが、利用者が安心して利用できるようサービス向上への取組に努めた。
- ス 看護学生の実習を受け入れ、人材育成に協力した。

別表

(1) 相談件数の推移 (単位: 件)

	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合 計
令和2年度	1,460	486	1,508	700	4,154
令和3年度	1,404	681	2,148	567	4,800
令和4年度	1,203	645	3,000	845	5,693

(2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	200	本人、家族、医療機関、事業所、地域住民等からの相談、緊急対応等
介護予防活動講演、実技等	103	地域リハビリテーション、健康広場、いきいきサロン、ふれあい事業、認知症サポーター養成講座
会議・研修等	121	民生委員・児童委員会、地域包括担当者会議、県・市主催の研修会、各施設運営推進会議、神川まちづくり委員会等
医療・関係機関との連携	401	認知症高齢者や精神疾患を抱える方、個別事例に対する入退院支援、医療機関から在宅へ向けての支援、高齢者虐待等における行政・警察・成年後見・関係機関等との連携、その他連携
介護支援員専門員に対する支援	24	支援困難ケースへの対応・支援、研修会の開催

高齢者実態把握	99	新規相談者並びに民生委員・児童委員からの同居台帳による訪問
介護予防プラン作成件数	2	配食サービス、訪問指導
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	2,648	事業対象者・要支援1・要支援2
評価・課題		
<p>(1) 地域包括支援センターの核となる総合相談支援業務においては、地域からのさまざまな相談に対して、可能な限り適切に対応できるよう各職種が関係機関との連携を図りながら迅速に取り組んだ。特に増加する認知症相談、退院支援相談等の新規相談においては早期訪問・早期対応を心掛けた。</p> <p>(2) 新規相談、介護予防ケアマネジメント件数が増加しており、高齢者世帯・おひとり暮らし台帳に基づいた実態把握訪問が十分に行えなかった。支援を必要としている住民の早期発見、地域の状況やニーズを把握するため今後努力したい。</p> <p>(3) 多重問題を抱えた家族の支援、支援困難ケース、親族の関りが無い方等の相談が増えており長期的、継続的に支援が必要なケースが増えている。</p> <p>(4) 地域リハビリテーション等を活用し、生活支援体制整備事業の周知、住民同士の支え合いについて一緒に考え、地域資源を知る機会とした。今後も住民との意見交換を積極的に行っていきたい。</p> <p>(5) 包括だよりを通じ、地域の関係機関と顔の見える関係づくりに取り組み、一緒に地域包括ケアシステム構築を推進していけるよう働きかけを行っていきたい。</p>		

## 丸子地域包括支援センター事業(市受託事業)

【令和4年度事業費】 29,915千円

事業実績	
(1) 相談内容・人数(電話・来所・訪問)	※ 別表参照
(2) 事業内容	※ 別表参照
(3) その他	<p>ア 29か所で開催される地域リハビリテーション事業の推進を目的に、包括だよりでの参加呼びかけを行いながら、介護予防・生きがい活動の場としての普及・啓発に努めた。</p> <p>イ 高齢者が増えていく中で、認知症の正しい理解をしていただき地域での見守り活動へつなげてもらうために、高齢者学園等の学生を対象に認知症サポーター養成講座を開き、啓発活動を行った。(1回)</p> <p>ウ 来所、電話等での新規相談が多く、必要に応じサービスや関係機関につなげた。緊急性が高いケースの依頼も多く、癌末期などターミナルケアの対応依頼もあり、早期対応に努めた。</p> <p>エ 支援困難ケースも多く、関係機関と連携を図りながら対応した。</p> <p>オ 高齢者世帯・おひとり暮らし台帳をはじめ、新規相談等をもとに実態把握を行った。</p> <p>カ web研修なども積極的に活用しながら各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。</p>

キ 勤務時間外は携帯電話による24時間緊急体制を取り対応を行った。時間外の電話対応件数が増えてきている。

ク 民生委員・児童委員協議会に出席し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と関係づくりに努めた。

ケ 地域ケア個別会議(4回)を開催し、さまざまなケースにおける課題解決に向けた取組や連携を図ると共に、地域包括ケアシステム構築の推進に努めた。

また、地域ケア推進会議(1回)を開催し、地域での支え合い、特に住民主体の地域づくりについて住民の皆さんと一緒に学び合いをした。

コ 丸子地域における地域密着型サービス事業所の運営推進会議に出席し、利用者が安心して利用できるようサービス向上への取組に努めた。

サ 生活支援体制整備事業においては、生活支援コーディネーターを配置し、第2層協議体の設置・連携を図りながら住民主体の介護予防・生活支援サービス等の実施に向けた啓発や調査等に取り組んだ。

また、居場所づくりとして、住民ボランティア団体が行うサロン活動や、認知症カフェへの継続支援を行った。(第2層協議体及び地域活動の支援27回)

シ 看護学生並びに医学部学生の実習や演習の受け入れを行い、人材育成に協力した。

ス 介護離職防止等に関する事業として、地元企業での社員研修の場を活用して、介護と仕事の両立に向けて介護保険制度の概要や利用方法、身近な相談窓口などの啓発を行った。

セ 年3回(6、10、2月)「丸子地域包括支援センターだより」を発行し、生活支援体制整備事業の紹介をはじめ、フレイル予防のための取り組みや特殊詐欺などの高齢者の消費者被害防止について啓発した。

また、地域包括支援センターに気軽に相談できるよう、総合窓口としての役割を紹介した。

### 別表

#### (1) 相談件数の推移 (単位: 件)

	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合計
令和2年度	2,078	339	5,298	838	8,553
令和3年度	1,796	254	4,832	726	7,608
令和4年度	2,525	750	3,616	850	7,741

#### (2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	142	介護相談、虐待相談、支援困難ケース対応、配食業者からの連絡対応等、勤務時間外は24時間携帯電話による緊急体制を取り対応したが、時間外の連絡が増えている。
介護予防活動講演、実技等	20	・地域サロン・地域リハビリテーションに出向き、介護予防や居場所作り等の啓発活動を行い地域の課題把握に努めた。 ・認知症の正しい理解を深めてもらうため、認知症サポーター養成講座を実施した。

会議・研修、その他活動等	430	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括担当者会議、介護保険運営協議会、地域密着型サービス運営推進会議、県・市主催の研修等に参加し、関係機関と状況共有した。</li> <li>・民生委員・児童委員協議会にて包括の活動内容を紹介し、関係作りに努めた。</li> <li>・家族介護者からの相談、介護者の離職防止に関する相談に対応した。</li> </ul>
医療・関係機関との連携	633	退院調整会議、ケースカンファレンス、行政機関や関係機関との訪問や会議に参加し、連携を図り対応した。
介護支援員専門員に対する支援	26	居宅・施設からの相談や支援困難ケースが増えており、関係機関と連携を図り対応した。
高齢者実態把握	110	民生委員・児童委員からの独居台帳をもとにおこなうが、相談業務が多く思うように訪問ができなかった。
介護予防プラン作成件数	17	生活支援型ヘルパー、配食サービス、生きがい対応型デイサービスのプラン作成
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	2,923	事業対象者・要支援1・要支援2
評価・課題		
<p>(1) 地域が広範囲に渡り、高齢者人口も多い丸子地域で、地域からのさまざまな日々の相談やケアマネジャー、市からの困難なケースへの対応依頼も増えており、関係機関との連携をはかり迅速・丁寧な対応に努めた。</p> <p>(2) 新規相談や、ターミナルケアなどの急な依頼も多く相談業務に追われて、高齢者世帯・おひとり暮らし台帳をもとにした訪問や実態把握は十分に実施できなかったが、新規相談を中心に、適切な支援・連携を図るための実態把握に努めることが出来た。</p> <p>(3) 丸子・武石地区合同の地域ケア会議を開催し、「誰もが安心して暮らし続けられる地域のために ～今、私たちができること～」をテーマに、「地域の現状」や「地域づくりの必要性」、また、「地域づくりの具体的な方法」や「地域での実践例」等について、共に考え学ぶ機会を設けた。個別支援の充実とともに、地域における支え合いの場としての地域づくりに向けて、参加者・関係者共に、課題や情報を共有することが出来た。</p>		

## 真田地域包括支援センター事業(市受託事業)

【令和4年度事業費】 24,948千円

事業実績	
(1) 相談内容・人数（電話・来所・訪問）	
※ 別表参照	
(2) 事業内容	※別表参照
(3) その他	

- ア 地域リハビリテーション事業の新規立ち上げに向け地域のサロン等で事業の広報活動に努めた。コロナ禍でも開催できる方法を助言し活動の継続に努めた（12 か所開催、内3 か所新規）
- イ 認知症の正しい理解をしてもらうため、認知症サポーター養成講座を開催した。小学生、中学生、高齢者学園等、幅広い世代を対象に講座を開催することができた。（3 回開催 82 人参加）
- ウ 地域ケア会議を開催し、地域包括ケアシステム構築の推進に努めた。（9 回開催）
- エ 真田地域包括支援センター独自事業として、運動教室（笑顔で元気）を開催し介護予防の推進と自立支援に努めた。男性の料理教室は講師と共にメニューや内容を検討し、8 人の参加希望があったが、直前で新型コロナウイルス感染症感染レベルが上がり中止した。令和 5 年度は調理以外の内容も検討し、開催したい。（運動教室：9 回開催 53 人参加）
- オ いきいきサロン等に参加し、介護予防・特殊詐欺防止の啓発と地域包括ケアシステムについて講座を開催した。
- カ 民生委員・児童委員協議会に出席し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と支援のための関係づくりに努めた。
- キ 真田地域における地域密着型施設の運営推進会議はコロナ禍により中止となったが、書面による情報共有や意見交換を適宜行った。
- ク 看護学生の実習受け入れを行い、人材育成に協力した。
- ケ 独居・高齢者世帯・認知症高齢者が増えている中、地域からの相談件数が増加している。関係機関とも連携を図り迅速な対応に心掛けた。
- コ 「包括支援センターだより」を年 3 回（5 月、9 月、2 月）に発行し、センターの活動や介護予防に関する広報活動に努めた。令和 3 年度から、真田地域全域への回覧の他、上田市のホームページへの掲載も開始した。
- サ 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- シ 生活支援体制整備事業においては、生活支援コーディネーターを主に第 2 層協議体を開催し住民主体の介護予防・生活支援サービス等の実施に向けた啓発や調査等に取り組んだ。
- ス 勤務時間外は携帯電話にて 24 時間緊急対応体制を取り対応を行った。

別表

(1) 相談件数の推移（単位：件）

	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合 計
令和 2 年度	1,682	192	2,454	533	4,861
令和 3 年度	1,406	209	2,599	526	4,740
令和 4 年度	2,405	419	2,094	529	5,447

(2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	115	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技等	83	いきいきサロン、ふれあい広場、地域リハビリテーション、運動教室（笑顔で元気）、認知症サポーター養成講座等
会議・研修等	460	民生委員・児童委員協議会、地域包括担当者会議、県・市主催の研修会、各施設運営推進会議等

医療・関係機関との連携	369	個別事例に対するサービス担当者会議開催支援、医療機関から在宅へ向けての支援（認知症独居高齢者の退院の支援について等）高齢者虐待等における行政・警察・成年後見・関係機関等との連携、その他の連携
介護支援員専門員に対する支援	164	支援困難ケースへの対応・支援、研修会の開催
高齢者実態把握	68	新規相談者並びに民生委員・児童委員からの独居台帳により訪問
介護予防プラン作成件数	7	配食サービス、訪問指導
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	1,868	事業対象者・要支援1・要支援2
評価・課題		
<p>(1) 高齢者に対する地域の総合相談窓口として、関係機関との連携を図りながら迅速な対応に心がけた。相談内容では認知症や虐待等、権利擁護に関する相談のほか、多重問題を抱えた家族の支援等、支援困難ケースに関する相談が増えており、3職種並びに行政や医療機関等、各関係機関との連携を心がけた。今後も関係機関との連携を図りながら対応していきたい。</p> <p>(2) 緊急を要する相談が増えており、独居・高齢者台帳に基づいた実態把握訪問が十分に行えなかった。支援を必要としている人の早期発見、地域住民のニーズ把握のため今後努力したい。</p> <p>(3) 真田包括独自事業として開催している「男性の料理教室」は、調整をしたがコロナ禍により開催できなかった。令和3年度実施した際のアンケートから、教室を継続してほしいという意見が多く、また独居世帯の増加や高齢者世帯における男性の介護者が増えている現状から今後も地域高齢者の介護予防・自立支援に向けた支援を提供していきたい。</p> <p>(4) 生活支援体制整備事業においては、住民主体活動の情報収集とニーズの把握に努め、それらの情報の可視化（ポスター作成）を行い、地域内外で活動する他団体と協力して発表と研修の場を設けた。その後、自治会単位での懇談会を開催し、身近な情報と課題を共有することで顔の見える関係づくりに努めた。</p> <p>また、各団体や自治会との横のつながりづくりを行い、ニーズとサービス及び各種活動のマッチングを行った。今後も生活支援体制整備事業の推進を図っていきたい。</p>		

## 武石地域包括支援センター事業(市受託事業)

【令和4年度決算額】 24,824千円

事業実績
(1) 相談内容・人数（電話・来所・訪問） ※ 別表参照
(2) 事業内容 ※ 別表参照

(3) その他

- ア 武石地域 7 か所、丸子地域 11 か所の地域リハビリテーションに参加し、介護予防の啓発活動を行った。また、新規立ち上げや継続に向けての支援を行った。
- イ 市の介護予防体操の運営に協力し住民の介護予防に努めた。
- ウ サロン等に出向き介護予防の必要性についての啓発活動や活動の支援を行った。
- エ 地域ケア個別会議を 1 回、「地域での支え合い」をテーマにした地域ケア推進会議を 2 回開催し、地域包括ケアシステムの構築の推進に努めた。
- オ オンライン機能を活用して、各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- カ 看護師実習生の受け入れを行い人材育成に協力した。
- キ 民生委員・児童委員協議会に参加し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と事例報告等を行い、情報提供と連携に努めた。また、民生委員・児童委員との懇談会を行い支援のための関係づくりに努めた。更に、民生委員・児童委員と同行訪問し高齢者世帯の生活の様子を伺った。
- ク 勤務時間外は携帯電話にて 24 時間緊急対応体制をとり対応した。
- ケ 「武石地域包括支援センターだより」を年 3 回発行し、包括センターの周知や、介護予防等に関する広報活動に努めた。
- コ 生活支援体制整備事業の第 2 層協議体に 9 回参加して、地域資源の資料をもとに、地域の現状や課題等について協議した。
- サ 認知症の正しい理解と地域での見守り活動の推進のために、認知症者ポーター養成講座を 3 回開催し啓発活動を行った。
- シ 地域の介護支援専門員が抱える困難な事例についての支援・アドバイスをを行い適切な支援につなげることに努めた。

別表

(1) 相談件数の推移 (単位：件)

	総合的な 相談・支援	権利擁護	介護予防 ケアマネジメント	包括的・継続的 ケアマネジメント	合 計
令和 2 年度	1,058	31	1,845	309	3,243
令和 3 年度	1,080	35	2,017	279	3,411
令和 4 年度	1,165	82	1,793	316	3,356

(2) 事業内容

	回数	内容
夜間緊急相談実績回数	26	介護保険について、介護相談、夜間の入院患者について等
介護予防活動講演、実技等	70	地域リハビリテーション、地域ふれあい事業、サロン、認知症サポーター養成講座開催等
会議、研修等	156	民生委員・児童委員協議会、地域包括担当者会議、包括所長会議、地域ケア会議、県・市主催の研修、生活支援コーディネータ協議体等

医療・関係機関との連携	80	入退院時の医療機関との連携、介護サービス事業所との連携、困難ケースにおける行政や関係機関との連携、
介護支援専門員に対する支援	10	困難支援ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	99	民生委員・児童委員からの台帳、当事者・高齢者支援係からの依頼により訪問
介護予防プラン作成件数	6	生配食サービス、生きがい対応型デイサービスのプラン作成、介護予防事業
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	1,832	事業対象者・要支援1・要支援2
<b>評価・課題</b>		
<p>(1) 権利擁護については、行政や成年後見支援センター等関係機関と連携し、本人が地域で暮らし続けられるよう必要なサービスにつなげることができた。</p> <p>(2) 地域リハビリでは、地域住民に立ち上げを働きかけた結果、2か所の立ち上げにつながった。また、事業が継続できるようにリーダーやメンバーに声掛け等の支援を行った。今後も介護予防の必要性の周知を図り、地域リハビリが継続できるよう支援を継続していく必要がある。</p> <p>(3) 生活支援体制整備事業においては、「地域での支え合い」をテーマに丸子地域包括支援センターと合同で地域ケア推進会議を開催し、「私たちに、今何ができるか」について考える機会を持つことができた。また、武石地域では自治会単位に「支え合いづくり懇談会」を開始し、普段の何気ない助け合いが、実はお互いの支え合いであることを再認識してもらう機会とした。今後は武石全地区で開催を目指し、地域の支え合いの現状を把握するとともに、支え合いの意識の向上を図る必要がある。</p> <p>(4) 担当する丸子地域の一部は、関係性構築ため、まずは民生委員との懇談会を開催するなど、地域の関係者とのネットワーク作りを行っていく必要がある。また、地域住民の集いの場や既存のサロン等に出向きその地域のニーズの把握に努める必要がある。</p>		

## 29 通所介護事業

### 【事業概要】

身体の障がい、虚弱等のため介護が必要な方が日中通所して、日常動作訓練・給食・入浴・レクリエーション等のサービスを受けることにより、心身機能の維持向上を図るとともに、社会的孤立感の解消・介護者の負担軽減を図ることを目的に実施している。

また、日常生活動作、特に立ち上がりや座る動作、階段昇降に使われる下肢筋力を意識して運動するように目的を明確化している。

## 中央デイサービスセンター事業

【令和年4度事業費】 43,276千円

事業実績							
(1) 利用者延べ人数(単位：人)							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者	418	434	455	443	437	401	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	446	420	263	315	325	394	4,751
(2) 1日平均利用者数(単位：人) ※1日の利用者定員25人							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和2年度	18.0	15.9	17.7	19.2	21.0	20.7	
令和3年度	18.2	16.8	17.3	17.0	17.7	18.3	
令和4年度	16.1	16.7	17.5	17.0	16.2	15.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用者平均
令和2年度	20.7	19.9	19.8	18.4	19.4	18.7	19.1
令和3年度	17.3	17.1	17.0	16.7	15.7	15.3	17.0
令和4年度	17.2	16.2	16.4	13.1	13.5	15.2	15.9
(3) 関わったボランティアの人数(単位：人)							
4月	5月	6月	7月	8月	9月		
0	0	0	0	0	0		
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
0	0	0	0	0	0	0	
(4) 主な行事							
ア	お花見	4月11日(月)～13日(水)	参加52人				
イ	水仙・花桃・鯉のぼり見学	4月21日(木)～27日(水)	参加38人				
ウ	藤見学	5月11日(水)	参加19人				
エ	つつじ見学	5月18日(水)	参加18人				
オ	バラ園見学	6月1日(水)～10日(金)	参加48人				
カ	ラベンダー見学	7月6日(火)	参加19人				
キ	蓮見学	7月22日(金)	参加10人				
ク	夏祭り	9月12日(月)	参加18人				
ケ	敬老会	9月19日(月)	参加19人				
コ	運動会	10月17日(月)～19日(水)	参加57人				
サ	紅葉見学	11月7日(月)～8日(火)	参加31人				
シ	節分豆まき	2月3日(木)	参加15人				
ス	ひな祭り	3月3日(木)	参加16人				
セ	桜見学	3月29日(水)	参加14人				
ソ	お誕生日会	随時					

評価・課題

コロナ禍で、従来のサービス提供が困難な中で、利用者が安心した雰囲気でご過ごせるよう職員一人ひとりが心掛け、新たなレクリエーションの企画や工夫をしながら業務に取り組んだ。

また、利用者やその家族、担当ケアマネージャーとの連絡を密にし、個別機能訓練計画や通所介護計画のための状況把握にも努めた。

課題として、職員間で利用者情報及びサービス提供に関しての意識について、その共有を図ってきたが、不十分なところがあるため、今後はミーティングの機会を増やし、申し送りの徹底や職員会を定期的を開催するなど努めていきたい。

神川デイサービスセンター事業

【令和4年度事業費】 42,631千円

事業実績

(1) 利用者延べ人数(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者	390	401	433	410	453	427	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	468	463	446	393	401	479	5164

(2) 1日平均利用者数(単位：人) ※1日の利用者定員25人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和2年度	13.7	12.9	13.7	12.9	12.8	12.2	
令和3年度	13.7	13.1	14.3	13.8	13.5	14.6	
令和4年度	15.5	15.6	16.7	15.8	16.9	16.7	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用者平均
令和2年度	13.9	15.3	15.3	12.9	12.0	14.0	13.4
令和3年度	14.7	15.5	15.5	14.6	14.6	15.6	13.9
令和4年度	18.3	17.8	17.7	16.8	16.7	18.4	16.9

(3) 関わったボランティアの人数(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	0	0	0	0	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	20	0	0	0	20

(4) 主な行事

ア 水仙見学	4月6日(水)、7日(木)	参加 31人
イ 鯉のぼり見学	5月2日(火)	参加 15人
ウ 藤見学	5月4日(水)、5日(木)、6日(金)	参加 44人
エ バラ見学	6月7日(火)、8日(水)、9日(木)	参加 52人
オ 蓮見学	7月20日(水)、21日(木)、22日(金)	参加 52人
カ 七夕	8月6日(土)	参加 17人
キ 夏祭り	8月11日(木)	参加 14人

ク	敬老会	9月19日(月)	参加	19人
ケ	運動会	10月19日(水)、20日(木)、21日(金)	参加	48人
コ	忘年会	12月14日(水)、15日(木)、16日(金)	参加	48人
サ	繭玉づくり	1月14日(土)	参加	13人
シ	節分	2月3日(金)	参加	14人
ス	お雛祭り	3月3日(金)	参加	17人
ソ	水仙見学	3月20日(月)、21日(火)	参加	39人
オ	誕生日会	随時		
評価・課題				
<p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の対策として、職員・利用者の体調確認やマスクの着用・手洗いの励行、送迎車及び施設・備品の消毒を徹底し、施設内での集団感染防止に努めてきた。</p> <p>職員全員が、常に笑顔を意識して利用者に接することができるよう、毎朝の朝礼で目標を確認し合い、利用者が楽しい雰囲気でも過ごせるよう心がけることにより、心がこもったサービスが提供できた。</p> <p>利用者の送迎においては、渋滞や工事などの道路情報を共有し、職員相互で具体的に安全運転を呼びかけた。継続してゆとりを持った運行ができるよう取り組んでいく。</p> <p>今後の課題として、個別機能訓練の実施にあたり、利用者の機能維持に重点を置いて対応していきたい。</p>				

### 30 居宅介護支援事業

#### 【事業概要】

可能な限り住み慣れた居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、心身の状況やおかれている環境等に応じた支援をする。地域との連携を図りながら、利用者に適した社会資源の活用や社会参加をすすめ、質の高いサービスの提供に努めている。

#### 介護相談センター事業

【令和4年度事業費】 25,222千円

事業実績						
(1) 利用者件数(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
130.5	132.5	130	131	129.5	125	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
124	120	117.5	112.5	109.5	108.5	1470.5
(2) 認定調査状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2	3	3	2	0	1	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	1	0	0	0	1	14

(3) ケアプラン作成状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
124.5	117.5	116	120	121.5	116	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
117.5	109	109.5	104.5	98.5	101.5	1356
(4) 介護予防支援受託状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
3	5	4	6	7	6	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7	8	7	7	7	7	74
(5) 住宅改修費理由書作成にかかる事務手続状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	0	0	0	0	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	1	0	0	0	0	1
(6) 推移(単位：件)						
	令和2年	令和3年	令和4年			
利用者件数	1892	1965.5	1470.5			
認定調査状況	33	31	14			
ケアプラン作成状況	1825	1662	1356			
介護予防支援状況	4	4	74			
評価・課題						
<p>毎朝のミーティングと事例検討により職員全員で利用者情報の共有を行い、支援困難ケースについては事業所全体で対応を検討しながら進めるよう対策をとった。</p> <p>利用者に対してアンケートを実施し、概ね良い評価をいただくことができた。</p> <p>また、年間の新規利用者件数は16件であり、地域包括支援センターや医療機関、地域の方からも新規依頼があり信頼をいただいている。一方で、新規依頼以上に亡くなる方や、施設入所される方が多く、全体利用者数は減少した。</p> <p>今後も、利用者数を増やせるよう介護予防プランも受けながら安定的な利用受託を図り、災害時における利用者への緊急対応なども見直して、職員同士で更に協力し、適正に事業を継続していきたい。</p>						

## 神川介護相談センター事業

【令和4年度事業費】 18,081千円

事業実績						
(1) 利用者件数(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
98	103	100	103	95	106	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
106	111	108	106	97	102	1,235

## (2) 認定調査状況(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	0	1	0	2	1	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	0	1	0	1	2	10

## (3) ケアプラン作成状況(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
93.5	102.5	95.5	97.5	100.5	101	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
98.5	103.5	102.5	100	90.5	94	1,179.5

## (4) 介護予防支援受託状況(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
3	3	3	3	3	4	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5	5	5	4	5	4	47

## (5) 住宅改修費理由書作成にかかる事務手続状況(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	0	1	1	1	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	0	0	3	1	0	9

## (6) 推移(単位：件)

	令和2年	令和3年	令和4年
利用者件数	1,228	1,110	1,235
認定調査状況	13	15	10
ケアプラン作成状況	1,116	1,046	1,179.5
介護予防支援状況	30	44	47

## 評価・課題

要介護度1、2の利用者の件数が約7割近くを占め、軽度利用の方が多い状況であった。

介護予防の件数については月平均3.9件で、前年度に比較して受託件数は増えた。

認知症の診断を受けている利用者が多い中、症状の進行に伴い、在宅困難となってグループホームや特養等施設への入所、または小規模多機能型サービスに移行していくケースが多かった。利用者の状態に応じ、適する施設やサービスに移行し安心して過ごせるように対応ができた。

病院や施設への入院、入所が多かった一方で、年間35件の新規利用の契約があり、全体として利用者増につながった。

入退院、入退所時において、病院や介護老人保健施設との連携を図り安定した在宅生活に戻れるよう、引き続き文書や電話等による情報提供を図り、連携を進めていく。

職員のスキルアップを目指し、オンラインでの研修等にも積極的に参加し、研鑽に努めた。

## 丸子介護相談センター事業

【令和4年度事業費】 16,992千円

事業実績						
(1) 利用者件数(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
103.5	111.5	111.5	110.5	114.5	114.5	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
104	105	110.5	109.5	111.5	106.5	1,313
(2) 認定調査状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1	0	3	1	2	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	0	0	2	1	0	12
(3) ケアプラン作成状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
89.5	96.5	95.5	95.5	91.5	98.5	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
95	96	95.5	96.5	95.5	89.5	1,135
(4) 介護予防支援受託状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
3	3	3	3	3	3	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	4	5	5	5	3	44
(5) 住宅改修費理由書作成にかかる事務手続状況(単位：件)						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	1	1	0	0	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	1	0	0	0	3
(6) 推移(単位：件)						
	令和2年	令和3年	令和4年			
利用者件数	1,218	1,260.5	1,313			
認定調査状況	9	12	12			
ケアプラン作成状況	1,169.5	1,176	1,135			
介護予防支援状況	26	32	44			
評価・課題						
令和4年度は、新規利用者確保に努力したが、ターミナル対応や施設への入所、入院が多かった。軽度者の方は訪問回数を多くして、信頼を得て、サービスにつなげるように各々で努力した。アンケート調査も令和3年度より良い結果が得られた。						

高齢、病気で亡くなるなどで、介護支援専門員一人当たりの担当者数が予定よりも減少した。介護度が高い方ほど体調を崩しやすく、入院や老健施設への入所が増え、ケアプラン作成件数が減少した結果となった。今後、利用者の確保に向けて、予防プランの受託を増やし、長期的な視野で臨んでいきたい。

また、質の高いケアプランを提供できるよう外部研修に参加し、自己研鑽に努めるとともに、市、包括、医療のなどの多職種との連携を図りながら職員一人ひとりが危機感と責任感を持って職務を遂行していきたい。

### 3 1 児童館・児童センター事業(指定管理事業)

【令和4年度事業費】 65,351千円

#### 上田地区児童館・児童センター事業

##### 【事業概要】

児童福祉法第40条に規定されている児童厚生施設として、上田市が設置した3児童館(朝日が丘・緑が丘・下丸子)・6児童センター(川辺町・秋和・東塩田・大星・神科・神川)を平成9年度から、下丸子児童館は、昭和58年から上田市社会福祉協議会が管理運営している。

地域の子どもたちに安心して遊べる場を提供し、いろいろな遊びや活動を通して、健康で情操豊かな子どもを育てることを目的としている。

(1) 開館時間：平日 午後1時～午後6時

土曜日や長期休み等小学校の休業日 午前9時～午後6時

※下丸子児童館のみ下記時間

平日 5月～10月 午後3時30分～午後5時30分

11月～4月 午後3時～午後5時

小学校の休業日 5月～10月 午後1時～午後5時30分

11月～4月 午後1時～午後5時

(2) 休館日：毎週日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、8月13日～8月16日、12月29日～翌年1月6日

※下丸子児童館のみ 毎週土曜日も休館

##### 事業実績

児童館の新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し取り組み、来館者の利用方法について利用者の理解と協力を得ながら、児童が安心安全で楽しく集える居場所となるよう努めた。

- (1) 地区懇談会 コロナ禍のため中止
- (2) 研修会への参加
  - ・ファミリー・サポート・センター講習会  
(支援を必要としている子どもへの対応等)
  - ・救急法講習会
  - ・放課後子ども総合プラン研修会
  - ・発達障がい児の支援のポイント

(3) 利用者アンケート

・令和4年12月から令和5年1月の期間に、児童館・児童センターを利用している方へのアンケートを実施した。

(4) その他

年間を通して、工作や手芸、ドッチボールや一輪車などの体育的活動を実施した。  
また、毎月児童館だよりを発行し小学校に配布した。

利用状況

(1) 上田地区児童館

ア 朝日が丘児童館

(ア) 令和4年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	536	525	562	696	676	432	
開館日数(日)	21	23	26	25	23	24	
1日平均利用者(人)	25.5	22.8	21.6	27.8	29.4	18.0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	439	323	416	327	411	474	5,817
開館日数(日)	25	24	24	20	22	26	283
1日平均利用者(人)	17.6	13.5	17.3	16.4	18.7	18.2	20.6

(イ) 推移

	利用者数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
令和2年度	6,892	287	24
令和3年度	7,069	287	24.6
令和4年度	5,817	283	20.6

イ 緑が丘児童館

(ア) 令和4年度利用状況

※西小休校に伴う5日間の休館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	292	255	310	233	205	230	
開館日数(日)	25	23	26	25	23	24	
1日平均利用者(人)	11.7	11.1	11.9	9.3	8.9	9.6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	255	218	246	151	183	177	2,755
開館日数(日)	25	24	24	20	22	26	287
1日平均利用者(人)	10.2	9.1	10.3	7.6	8.3	6.8	9.6

(イ) 推移

	利用者数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
令和2年度	4,957	287	17.3
令和3年度	4,228	282	15
令和4年度	2,755	287	9.6

ウ 川辺町児童センター

(ア) 令和4年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数(人)	1,466	1,594	2,142	1,865	1,672	1,617
開館日数(日)	25	23	26	25	23	24

1日平均利用者(人)	58.6	69.3	82.4	74.6	72.7	67.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	1,543	1,283	1,587	1,224	1,379	1,751	19,123
開館日数(日)	25	24	24	20	22	26	287
1日平均利用者(人)	61.7	53.5	66.1	61.2	62.7	67.3	66.6

(イ) 推移

	利用者数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
令和2年度	18,112	287	63.1
令和3年度	19,218	287	67
令和4年度	19,123	287	66.6

エ 秋和児童センター

(ア) 令和4年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	112	111	151	120	118	86	
開館日数(日)	25	23	26	25	23	24	
1日平均利用者(人)	4.5	4.8	5.8	4.8	5.1	3.6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	141	71	83	40	50	158	1,141
開館日数(日)	25	24	24	20	22	26	287
1日平均利用者(人)	5.6	3.0	3.5	2.0	2.3	6.1	4.3

(イ) 推移

	利用者数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
令和2年度	3,940	287	13.7
令和3年度	3,496	287	12.2
令和4年度	1,141	287	4.3

オ 東塩田児童センター

(ア) 令和4年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	521	625	635	481	328	437	
開館日数(日)	25	23	26	25	23	24	
1日平均利用者(人)	20.8	27.2	24.4	19.2	14.3	18.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	567	503	383	391	485	415	5,771
開館日数(日)	25	24	24	20	22	26	287
1日平均利用者(人)	22.7	21.0	16.0	19.6	22.0	16.0	20.1

(イ) 推移

	利用者数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
令和2年度	9,714	287	33.8
令和3年度	7,249	287	25.3
令和4年度	5,771	287	20.1

カ 大星児童センター

(ア)令和4年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	1,449	1,864	2,157	1,834	1,511	1,535	
開館日数(日)	25	23	26	25	23	24	
1日平均利用者(人)	58.0	81.0	83.0	73.4	65.7	64.0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	1,761	1,553	1,502	1,199	1,345	1,570	19,280
開館日数(日)	25	24	24	20	22	26	287
1日平均利用者(人)	70.4	64.7	62.6	60.0	61.1	60.4	67.2

(イ)推移

	利用者数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
令和2年度	14,185	287	49.4
令和3年度	17,697	287	61.7
令和4年度	19,280	287	67.2

キ 神科児童センター

(ア)令和4年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	1,906	2,081	2,353	1,587	1,938	1,771	
開館日数(日)	25	23	26	25	23	24	
1日平均利用者(人)	76.2	90.5	90.5	63.5	84.3	73.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	1,661	1,535	1,487	1,174	1,389	1,616	20,498
開館日数(日)	25	24	24	20	22	26	287
1日平均利用者(人)	66.4	64.0	62.0	58.7	63.1	62.2	71.4

(イ)推移

	利用者数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
令和2年度	17,599	287	61.3
令和3年度	24,261	287	84.5
令和4年度	20,498	287	71.4

ク 神川児童センター

(ア)令和4年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	640	1,013	1,040	986	917	950	
開館日数(日)	25	23	26	25	23	24	
1日平均利用者(人)	25.6	44.0	40.0	39.4	39.9	39.6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	726	907	944	774	923	898	10,718
開館日数(日)	20	24	24	20	22	26	282
1日平均利用者(人)	36.3	37.8	39.3	38.7	42.0	34.5	38.0

(イ)推移

	利用者数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
令和2年度	9,258	287	32.3
令和3年度	8,522	287	29.7
令和4年度	10,718	282	38.0

ケ 下丸子児童館

(ア) 令和4年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	0	6	97	37	0	0	
開館日数(日)	0	4	22	13	0	0	
1日平均利用者(人)	0	1.5	4.4	2.8	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	7	0	0	0	3	22	172
開館日数(日)	11	0	0	0	13	22	85
1日平均利用者(人)	0.6	0	0	0	0.2	1.0	2.02

(イ) 推移

	利用者数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
令和2年度	192	201	1.0
令和3年度	651	169	3.86
令和4年度	172	85	2.02

コ 児童館(9館)

(ア) 令和4年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(人)	6,922	8,068	9,350	7,802	7,365	7,058	
開館日数(日)	196	184	208	200	184	192	
1日平均利用者(人)	35.3	43.8	45.0	39.0	40.0	36.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
利用者数(人)	7,093	6,393	6,648	5,280	6,165	7,059	85,203
開館日数(日)	195	192	192	160	176	207	2,286
1日平均利用者(人)	36.4	33.3	34.6	33.0	35.0	33.9	37.3

(イ) 推移

	利用者数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者(人)
令和2年度	84,873	2,479	34.0
令和3年度	92,395	2,460	37.6
令和4年度	85,203	2,286	37.3

評価・課題

状況が変わるなか、利用される方の御理解と御協力をいただき、安全を確保しながら継続して開館することができた。

日々、感染対策を行い、可能な範囲で工夫し児童が友達と一緒にさまざまな体験や活動ができるよう進めてきた。

特性がある児童については、職員同士の共通理解を図り、個々に合った支援を心がけ、保護者や小学校と連携を取りながら対応した。

また、新たに上小圏域基幹相談支援センター(ウィング)の協力で「発達障がい等の特性を持つ子について」の研修を受けることができ、より具体的な事例をもとに学びを深めることができた。

就労家庭の直接利用の増加と並行した、自由来館の受け入れについて、児童館の規模や地域性に合わせた柔軟な対応を検討していきたい。

今後も利用者にとって信頼される児童館となるよう毎年現状を見直し、職員の資質向上に努め、児童や保護者の安心安全につなげていきたい。

## 32 その他の事業

### 団体事務局

#### (1) 上田地区センター

##### ア 上田市高齢者クラブ連合会

上田市高齢者クラブ連合会は4地域(上田、丸子、真田、武石)の活動の交流や長野県シニアクラブ連合会の事業への参加等を行っている。

(ア) 高齢者クラブ数 89 単位クラブ 会員 4,072 人

(イ) 長野県シニアクラブ連合会等主催行事への参加

- ・東信地区 ブロック研修会 6月6日(木) 24人参加  
上田地区 上室賀シニア会 活動報告する。
- ・関東ブロックリーダー研修会 6月23日(木)～24日(金) 柳沢副会長参加
- ・東信地区 女性指導者研修会 7月14日(木) 18人参加
- ・マレットゴルフ大会 北信濃ふるさとの森マレットゴルフ場  
9月22日(水) 8人参加
- ・第62回長野県シニアクラブ大会 10月22日(金) 27人参加  
上田地区 上室賀シニア会が活動賞を授与される。

(ウ) 大会、講習会等の合同開催について

- ・第40回 三世代ファミリースポーツ大会(ゲートボール)  
8月7日(日) 4チーム参加
- ・第15回マレットゴルフ大会 10月11日(火) 101人参加
- ・男性料理教室 12月1日(木) 12人参加
- ・シルバースポーツ教室 令和5年1月下旬から2月上旬 161人参加

(エ) 役員会の開催

- ・会計監査 4月20日(火)
- ・理事会 4月20日(火) 中止し書面表決とした。  
新正副会長、令和3年度の事業報告及び会計決算、令和4年度の事業計画及び予算、会則の申し合わせ事項の改定が書面表決により承認される。
- ・上田市長、上田市社会福祉協議会長へ表敬訪問 令和5年1月4日(水)
- ・正副会長、事務局会議 令和5年1月4日(水)  
議事事業報告、事業計画、新役員について、個人情報取扱規程について、会則の変更について

##### イ 上田地域福寿クラブ連合会

上田地域福寿クラブ連合会の活動は、健康長寿、フレイル予防、引きこもり防止のため各種シルバースポーツの推進、生きがいと健康づくりの推進の維持、継続を行なう。

(ア) 高齢者クラブ数 39 単位クラブ 会員 2,083 人

(イ) 正副会長関係

- ・令和3年度会計監査 4月1日(金)
- ・総務教養、女性部会議 4月4日(月) 中止し、書面決議とした。
- ・社会福祉、保健部会議 4月5日(火) 中止し、書面決議とした。
- ・理事会、代議員会 4月12日(火) 中止し、書面決議とした。
- ・表彰審査委員会(福寿クラブ会長表彰)  
4月26日(火) 中止し、書面決議とした。
- ・第38回福寿クラブ連合会定期大会 6月3日(金)
- ・県シニア連 東信地区ブロック研修会 6月6日(月) 24人参加
- ・福寿クラブ指導者(単位クラブ会長)研修会 6月22日(水)

- ・ 県シニア連 東信地区女性指導者研修会 7月15日(木) 17人参加
  - ・ 理事会 8月20日(金) 中止
  - ・ 第62回長野県シニアクラブ大会 10月20日(木) 27人参加
  - ・ 他県老連交流会 11月8日(火)～9日(水) 中止
  - ・ 人権を考える市民のつどい 10月13日(日) 5人参加
  - ・ 人権啓発担当者研修会 12月3日(土) 中止
  - ・ 正副会長会 令和5年1月18日(水)
  - ・ 理事会 令和5年2月14日(火)
  - ・ 通年事業：金婚祝賀事業(昭和46年結婚夫婦) 34組
  - お茶のみサロン設置事業 21クラブ
  - 新規加入会員募集 77人加入
- (ウ) 総務教養部関係
- ・ 総務教養部会 4月5日(月) 中止し、書面決議とした。
  - ・ 第38回福寿クラブ連合会定期大会 6月3日(金)
  - ・ 福寿だより編集委員会 8月31日(木)、9月7日(水)  
9月14日(水)
  - ・ 第86号「うえだ福寿だより」発行 10月1日(土)
  - ・ 第62回長野県シニアクラブ大会 10月20日(木) 27人参加
  - ・ 他県老連交流会 11月8日(火)～9日(水) 中止
  - ・ 人権を考える市民のつどい 10月13日(日) 5人参加
  - ・ 人権啓発担当者研修会 12月3日(土) 中止
  - ・ 福寿だより編集委員会 令和5年1月31日(火)、2月7日(火)
  - ・ 第87号「うえだ福寿だより」発行 令和5年3月1日(火)
- (エ) 保健部関係
- ・ 保健部会 4月5日(火) 中止し、書面決議とした。
  - ・ 第24回福寿連マレットゴルフ大会 4月19日(火) 97人参加
  - ・ 第5回福寿連グラウンド・ゴルフ大会 5月10日(火) 60人参加
  - ・ 第30回スマイルボウリング大会 6月10日(金) 178人参加
  - ・ 第40回ファミリーゲートボール大会 8月7日(日) 4チーム参加
  - ・ 第30回福寿連ゲートボール大会 9月2日(金) 5チーム参加
  - ・ 県シニア連 マレットゴルフ大会 9月21日(水) 8人参加
  - ・ 男性料理教室事前打合せ 9月29日(木)
  - ・ 第25回福寿連マレットゴルフ大会 10月4日(火) 96人参加
  - ・ 第15回市高齢者クラブ マレットゴルフ大会 10月11日(火) 101人参加
  - ・ 男性料理教室 12月1日(木) 12人参加
  - ・ シルバースポーツ教室 令和5年1月26日(木)～2月7日(火) 161人参加
  - ・ ファミリースマイルボウリング大会 令和5年3月21日(火) 125人参加
  - 通年事業：パソコン教室 前期4月開講 受講者25人  
後期10月開講 受講者29人
- (オ) 社会福祉部関係
- ・ 社会福祉部会 4月5日(火) 中止し、書面決議とした。
  - ・ 寝たきり老人調査依頼 6月下旬
  - ・ 前期ふれあい献金事業開始 9月～
  - ・ 寝たきり会員訪問活動(紙おむつ配布) 9月6日、7日 各支部指定場所 36人
  - ・ 第44回うえだ市民ふれあい広場 11月26日(土) 中止
  - ・ 後期ふれあい献金事業開始 令和5年2月～ 献金額 313,714円

- (カ) 女性部関係
- ・女性部会 4月5日(月) 中止し、書面決議とした。
  - ・県シニア連 東信地区女性指導者研修会 7月15日(木) 18人参加
  - ・男性料理教室事前打合せ 9月29日(木)
  - ・女性部会(ふれあい広場準備会) 10月4日(月) 中止
  - ・第44回うえだ市民ふれあい広場 11月26日(土) 中止
  - ・赤い羽根共同募金運動参加 10月10日(月) 6人参加
  - ・男性料理教室 12月1日(木) 12人参加

- (キ) 女性部 理事関係
- ・理事会 4月12日(火)
  - ・第37回福寿クラブ連合会定期大会 6月4日(金) 中止
  - ・県シニア連 東信地区女性指導者研修会 7月15日(木) 18人参加
  - ・理事会 8月20日(金) 中止
  - ・第61回長野県シニアクラブ大会 10月22日(金) 27人参加
  - ・他県老連交流会 11月8日(火)～9日(水) 中止
  - ・理事会 令和5年2月14日(水)

ウ 上田市遺族会

- (ア) 役員総会 4月22日(金)
- (イ) 全国戦没者追悼式 8月15日(月)
- (ウ) 外部研修(長野県護国神社参拝、満蒙開拓記念館視察) 9月20日(火)～9月21日(水)
- (エ) 第70回長野県戦没者遺族大会 10月14日(金)
- (オ) 令和4年度長野県戦没者追悼式 10月15日(土)
- (カ) 令和4年度上田市戦没者追悼式 11月30日(水)
- (キ) 第65回上田市戦没者遺族大会 11月30日(水)

(2) 丸子地区センター

ア 丸子地域高齢者クラブ連合会事務局

- (ア) 高齢者クラブ数 30単位クラブ 1,099人
- (イ) 会議、行事等
  - ・丸子地域高齢者クラブ連合会総会 4月21日(木) 中止し、書面決議とした。
  - ・県シニアクラブブロック研修会 6月6日(月)
  - ・県シニアクラブ女性指導者研修会 7月14日(木)
  - ・いきいきフェスティバル(シルバー作品展) 6月24日(金)、25日(土) 中止
  - ・第27回丸子地域シルバースポーツ大会 9月21日(水) 中止
  - ・上田市高連マレットゴルフ大会 10月11日(火)
  - ・第62回長野県シニアクラブ大会 10月20日(木)
  - ・女性部研修会 11月1日(火)
  - ・役員研修会(埼玉県) 11月10日(木)
  - ・冬季スポーツ交流会(全4回)
    - 1月19日(木) ボッチャ体験会、
    - 12月5日(月) 中止
    - 2月6日(月) 中止
    - 3月16日(木) 中止
    - 2月28日全体交流会開催(体操)
  - ・他 三役会、理事会、監査 5回開催

イ 上田市丸子地区赤十字奉仕団

- (ア) 炊き出し訓練  
丸子第1・第2地区対象の炊き出し訓練 8月29日(土) 中止
- (イ) 講習会  
上田市出前ときめき講座上田市の防災対策講座開催 10月13日(木)  
講師 上田市危機管理防災課 大林裕二氏 21人参加  
救急法講習会開催 6月22日(水) 21人参加、2月1日(水) 16人参加
- (ウ) 消費生活展参加 11月23日(水)
- ウ 上田市更生保護女性会丸子支部
- (ア) 社会を明るくする運動上田大会へ参加  
7月3日(日) 広報活動(丸子ツルヤ前) 役員4人参加
- (イ) 役員研修 8月 中止
- (ウ) 消費生活展参加 11月23日(水)
- (エ) 会員視察研修  
1月17日(火) 裾花寮視察・食事ボランティア活動 中止
- (オ) 会員研修(講演会) 更生保護女性会丸子支部学習会開催  
講師 長野保護観察所 小川美菜子保護観察官 38人参加

(3) 真田地区センター

ア 真田地域長寿会

- (ア) 高齢者クラブ数 10単位クラブ 会員459人
- (イ) 会議、行事等
- ・第63回 総代会 4月26日(火) 中止し、書面決議とした。
  - ・東信地区市町村シニアクラブブロック研修会 6月6日(月)
  - ・真田地域長寿会長杯マレットゴルフ大会 6月18日(金)
  - ・真田地域マレットゴルフ大会 7月29日(木)
  - ・シニアクラブ女性指導者研修会 7月14日(木)
  - ・金婚祝いお届け 9月10日(土)
  - ・第43回体育祭 11月2日(水)
  - ・第33回ふれあい広場 in さなだ 9月10日(土) 中止
  - ・さわやかゲートボール大会 10月4日(火)
  - ・ここここ健康教室 10月14日(水) 中止
  - ・第61回長野県シニアクラブ連合会大会(東御市) 10月20日(木)
  - ・第12回高齢者の健康を考えるつどい 2月10日(金) 中止  
代替：高齢者の健康に関する資料配布 2月10日(金)
  - ・視察研修 長野市長沼地区 6月21日(火)
  - ・他正副会長・相談役会、役員会、総会 7回開催
  - ・伝承広場の開催 菅平地区：6月17日(金)・長地区：7月12日(火)・傍陽地区：  
10月21日(金)・本原地区：11月3日(木)

(4) 武石地区センター

ア 武石シニアクラブ

- (ア) 地区高齢者クラブ 10単位クラブ 会員440人
- (イ) 会議・行事
- ・評議員会(総会) 4月13日(水)、3月29日(水)
  - ・上田市高齢者クラブ連合会理事会 4月20日(水) 中止し、書面決議とした。

・ともしび洗濯物たたみ奉仕活動	5月～12月（14回）	延べ28人参加
・マレットゴルフ大会	5月20日（金）33人、9月29日（金）	29人参加
・県シニアクラブ連合会東信ブロック研修会	6月6日（月）	3人参加
・県シニアクラブ連合会女性指導者研修会	7月14日（木）	4人参加
・ニュースポーツ大会	6月22日（木）	21人参加
・県シニアマレットゴルフ大会	9月21日（土）	3人参加
・上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会	10月11日（火）	12人参加
・第62回長野県シニアクラブ大会	10月20日（木）	4人参加
・役員研修旅行	11月4日（金）	12人参加
・上田市高齢者クラブ連合会正副会長会	1月4日（金）	会長参加
イ 武石もみじ会		
（ア）親睦会	7月22日（金）	10人参加
（イ）秋の研修会	10月27日（木）	9人参加
（ウ）総会	4月21日（金）	
ウ 武石身体障害者福祉協会		
（ア）第49回上小地区障がい者スポーツ大会	中止	
（イ）郡・市（町・村）身体障がい者福祉協会会長会議	中止	
（ウ）第17回人権を考える市民のつどい	10月13日（木）	2人参加
（エ）視察研修	10月27日（木）	2人参加
（オ）総会	4月27日（金）	
エ 武石遺族会		
（ア）役員会	6月10日（金）	
（イ）武石地区靖国霊社祭	11月21日（月）	

## 実行委員会事務局

### (1) 上田地区センター

#### ア うえだ市民ふれあい広場実行委員会

コロナ禍のため、うえだ市民ふれあい広場が中止となり、実行委員会は開催しなかった。

### (2) 丸子地区センター

#### ア いきいきフェスティバル実行委員会

コロナ禍のため、交流事業は中止し、慶祝集合写真撮影のみ実施した。

- ・6月23日（木）上田市丸子文化会館 小ホール
- ・慶祝集合写真（米寿：25人、白寿：2人、金婚式：2組）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年度に引き続き祭典方式は取らず、慶祝集合写真撮影のみの実施で縮小開催とした。

### (3) 真田地区センター

#### ア ふれあい広場 in さなだ実行委員会

- ・6月24日（金）第1回実行委員会開催 真田総合福祉センター（出席団体：15）
- ・7月27日（金）第2回実行委員会開催 真田総合福祉センター（実行委員9名）
- ・8月26日（金）実行委員会正副会長が集まり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえて検討し、開催中止とした。